

(様式第 10)

附総 第 7943 号
令和 3 年 10 月 4 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 公立大学法人 横浜市立大学
理事長 小山内 いづ美

公立大学法人横浜市立大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和 2 年度の業務に関して報告します。
記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2
氏 名	公立大学法人横浜市立大学 理事長 二見 良之

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

公立大学法人横浜市立大学附属病院

3 所在の場所

〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9
電話(045) 787 - 2800

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有 ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1呼吸器内科	2消化器内科
3循環器内科	4腎臓内科
5神経内科	6血液内科
7内分泌内科	8代謝内科
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科
11リウマチ科	
診療実績	

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科		有・無	
外科と組み合わせた診療科名			
1呼吸器外科	2消化器外科	3乳腺外科	4心臓外科
5血管外科	6心臓血管外科	7内分泌外科	8小児外科
診療実績			

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

(1)精神科	(2)小児科	(3)整形外科	(4)脳神経外科	(5)皮膚科	(6)泌尿器科	(7)産婦人科
8産科	9婦人科	(10)眼科	(11)耳鼻咽喉科	(12)放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科	(15)麻酔科	(16)救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名	
1小児歯科 2矯正歯科 3口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	呼吸器科	2	循環器科	3	消化器科	4	リハビリテーション科	5	形成外科
6	病理診断科	7	8	9	10	11	12		
13	14	15	16	17	18	19			
20	21								

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精 神	感染症	結 核	療 養	一 般	合 計
26床	0床	16床	0床	632床	674床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	459人	143人	484.9人	看 護 補 助 者	59人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	16人	2人	16.5人	理 学 療 法 士	16人	臨床検査技師	71人
薬 剤 師	51人	12人	60.1人	作 業 療 法 士	7人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	7人	そ の 他	0人
助 産 師	42人	1人	42.8人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	731人	42人	756.8人	臨 床 工 学 士	17人	医療社会事業従事者	10人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	17人
歯科衛生士	3人	4人	6.8人	歯 科 技 工 士	1人	事 務 職 員	213人
管理栄養士	9人	1人	9.8人	診療放射線技師	50人	そ の 他 の 職 員	2人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	83人	眼 科 専 門 医	8人
外 科 専 門 医	40人	耳鼻咽喉科専門医	10人
精 神 科 専 門 医	12人	放 射 線 科 専 門 医	19人
小 児 科 専 門 医	20人	脳神経外科専門医	10人
皮 膚 科 専 門 医	5人	整 形 外 科 専 門 医	17人
泌尿器科専門医	9人	麻 酔 科 専 門 医	30人
産婦人科専門医	15人	救 急 科 専 門 医	5人
		合 計	283人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (後藤 隆久) 任命年月日 令和2年4月1日

医療安全管理責任者（統括安全管理者）の経験を有する。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1 日 当 たり 平 均 入 院 患 者 数	508人	15人	523人
1 日 当 たり 平 均 外 来 患 者 数	1672人	75人	1747人
1 日 当 たり 平 均 調 剤 数	614 剤		
必要医師数	148人		
必要歯科医師数	2人		
必要薬剤師数	18人		
必要（准）看護師数	262人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施 設 名	床面積	主要構造	設 備	概 要
集中治療室	195m ²	鉄骨造	病 床 数	8 床
			人工呼吸装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 11.55~13.43 m ² [移動式の場合] 台 数 台		病床数	13 床
医 薬 品 情報管理室	[専用室の場合] 床 積 32 m ² [共用室の場合] 共用する室名			
化学検査室	1278m ²	鉄骨造	(主な設備) 生化学多項目自動分析装置 検体前処理・搬送システム	
細菌検査室	145m ²	鉄骨造	(主な設備) 自動細菌検査装置、全自動血液培養装置	
病理検査室	312m ²	鉄骨造	(主な設備) 自動免疫染色装置、電子顕微鏡	
病理解剖室	183m ²	鉄骨造	(主な設備) 解剖室、更衣室、安置室(冷蔵室)	
研 究 室	14,749m ²	鉄骨造	(主な設備) 動物実験センター、RI研究センター 臨床研究棟	
講 義 室	277m ²	鉄骨造	室数 1 室	収容定員 130 人
図 書 室	2,398m ²	鉄骨造	室数 室	蔵 書 数 15万2千 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率		76.0%	逆紹介率		73.0%
算出根拠	A：紹介患者の数			13,991人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数			14,656人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数			1,275人	
	D：初診の患者の数			20,079人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
相馬 孝博	千葉大学医学部 附属病院 医療安全管理部	○	医療に係る安全管理に 識見を有する者	有・ ☒ 無	1
水地 啓子	森法律事務所		医療に係る法律に識見 を有する者	有・ ☒ 無	1
足立 雅子	病院ボランティア ランパスの会		医療を受ける立場の者	有・ ☒ 無	2
益田 宗孝	本学医学部長		その他の学識経験を有 する者（内部委員）	☒ 有・無	1.
田中 靖	法人事務局副 局長		その他の医療従事者以 外の者（内部委員）	☒ 有・無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	☒ 有・無
委員の選定理由の公表の有無	☒ 有・無
公表の方法 病院のホームページ上で公開	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数
Birt—Hogg—Dubé(BHD)症候群の遺伝子診断 Birt—Hogg—Dubé(BHD)症候群又はBirt—Hogg—Dubé(BHD)症候群が疑われるもの	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数
LDLアフェレシス療法 閉塞性動脈硬化症(薬物療法に抵抗性を有するものであり、かつ、血行再建術及び血管内治療が困難なものであって、フォンタン分類ⅡB度以上のものに限る。)	4人
内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術 子宮頸がん(FIGOによる臨床進行期分類がⅠB期以上及びⅡB期以下の扁平上皮がん又はFIGOによる臨床進行期分類がⅠA2期以上及びⅡB期以下の腺がんであって、リンパ節転移及び腹腔内臓器に転移していないものに限る。)	0人
自家骨髄単核球移植による下肢血管再生治療 バージャ病(従来の治療法に抵抗性を有するものであって、フォンタン分類Ⅲ度又はⅣ度のものに限る。)	0人
ニボルマブ静脈内投与及びドセタキセル静脈内投与の併用療法 進行再発非小細胞肺癌(ステージⅢB期、ⅢC期若しくはⅣ期又は術後に再発したものであって、化学療法が行われたものに限る。)	0人
S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	結腸癌に対するロボット支援下結腸切除	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
現在、結腸癌に対する保険適応の技術は、腹腔鏡手術と開腹手術である。 しかし、腹腔鏡下手術については、腹腔外から鉗子を挿入し、操作するための習熟に時間を要する手術であり、開腹での結腸切除術は、出血量が増え、術後の腸閉塞のリスクが高いことが報告されている。一方、内視鏡手術支援ロボット(da Vinci Surgical System)は 1) 3-D画像下で10～15倍の拡大視効果 2) 手振れ防止機能 3) 多関節機能 などの特徴を有す。深く狭い領域での操作を要する直腸癌手術においては、本システムを使用することで、より安全で精緻な手術操作が可能となり、腹腔鏡下手術の特徴である低侵襲性を保ちつつ、癌手術の根治性の向上が期待できる。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾 患 名		患者数		疾 患 名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	5	56	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	1
2	筋萎縮性側索硬化症	24	57	下垂体前葉機能低下症	9
3	進行性核上性麻痺	11	58	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
4	パーキンソン病	73	59	サルコイドーシス	21
5	大脳皮質基底核変性症	5	60	特発性間質性肺炎	13
6	ハンチントン病	3	61	肺動脈性肺高血圧症	8
7	シャルコー・マリー・トウース病	1	62	慢性血栓性肺高血圧症	19
8	重症筋無力症	25	63	網膜色素変性症	16
9	先天性筋無力症候群	1	64	原発性胆汁性胆管炎	13
10	多発性硬化症／視神経脊髄炎	40	65	原発性硬化性胆管炎	1
11	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	10	66	自己免疫性肝炎	2
12	封入体筋炎	4	67	クローン病	17
13	多系統萎縮症	16	68	潰瘍性大腸炎	30
14	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	34	69	好酸球性消化管疾患	3
15	ライソゾーム病	4	70	慢性特発性偽性腸閉塞症	5
16	副腎白質ジストロフィー	1	71	全身型若年性特発性関節炎	17
17	ミトコンドリア病	2	72	非典型溶血性尿毒症症候群	1
18	もやもや病	12	73	筋ジストロフィー	4
19	HTLV-1関連脊髄症	1	74	脊髄空洞症	1
20	全身性アミロイドーシス	6	75	前頭側頭葉変性症	1
21	神経線維腫症	8	76	結節性硬化症	1
22	天疱瘡	6	77	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	2
23	膿疱性乾癬(汎発型)	5	78	修正大血管転位症	1
24	中毒性表皮壊死症	1	79	完全大血管転位症	1
25	高安動脈炎	14	80	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1
26	巨細胞性動脈炎	3	81	ファロー四徴症	1
27	結節性多発動脈炎	2	82	急速進行性糸球体腎炎	1
28	顕微鏡的多発血管炎	17	83	一次性ネフローゼ症候群	1
29	多発血管炎性肉芽腫症	8	84	オスラー病	1
30	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	9	85	偽性副甲状腺機能低下症	1
31	悪性関節リウマチ	5	86	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	2
32	バージャー病	5	87	筋型糖原病	1
33	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	88	慢性再発性多発性骨髄炎	1
34	全身性エリテマトーデス	96	89	強直性脊椎炎	4
35	皮膚筋炎／多発性筋炎	44	90	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	1
36	全身性強皮症	42	91	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1
37	混合性結合組織病	22	92	後天性赤芽球癆	2
38	シェーグレン症候群	14	93	IgG4関連疾患	3
39	成人スチル病	8	94	黄斑ジストロフィー	1
40	再発性多発軟骨炎	3	95	好酸球性副鼻腔炎	3
41	ベーチェット病	61	96	多発性多中心性キャッスルマン病	1
42	特発性拡張型心筋症	13	97		
43	肥大型心筋症	1	98		
44	拘束型心筋症	1	99		
45	再生不良性貧血	2	100		
46	特発性血小板減少性紫斑病	12	101		
47	原発性免疫不全症候群	11	102		
48	IgA 腎症	6	103		
49	多発性嚢胞腎	5	104		
50	黄色靱帯骨化症	1	105		
51	後縦靱帯骨化症	9	106		
52	特発性大腿骨頭壊死症	34	107		
53	下垂体性ADH分泌異常症	4	108		
54	下垂体性PRL分泌亢進症	2	109		
55	クッシング病	1	110		

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科点数表の初診料の注1に規定する施設基準	・歯科外来診療環境体制加算1
・特定機能病院入院基本料(一般病棟7対1、結核病棟7対1、精神病棟7対1)	・超急性期脳卒中加算
・診療録管理体制加算1	・救急医療管理加算
・医師事務作業補助体制加算1	・急性期看護補助体制加算
・看護職員夜間配置加算	・療養環境加算
・重症者等療養環境特別加算	・無菌治療室管理加算1
・無菌治療室管理加算2	・緩和ケア診療加算
・精神科身体合併症管理加算	・精神科リエゾンチーム加算
・摂食障害入院医療管理加算	・栄養サポートチーム加算
・医療安全対策加算1	・感染防止対策加算1
・感染防止対策地域連携加算	・抗菌薬適正使用支援加算
・患者サポート体制充実加算	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・ハイリスク妊娠管理加算	・ハイリスク分娩管理加算
・呼吸ケアチーム加算	・後発医薬品使用体制加算1
・病棟薬剤業務実施加算1	・病棟薬剤業務実施加算2
・データ提出加算	・入退院支援加算1
・せん妄ハイリスク患者ケア加算	・精神疾患診療体制加算
・精神科急性期医師配置加算	・地域医療体制確保加算
・特定集中治療室管理料1	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・新生児特定集中治療室管理料1	・小児入院医療管理料3
・入院時食事療養／生活療養(Ⅰ)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び 歯科治療時医療管理料	・ウイルス疾患指導料
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタ リング加算	・糖尿病合併症管理料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・がん患者指導管理料イ
・がん患者指導管理料ロ	・がん患者指導管理料ハ
・がん患者指導管理料ニ	・外来緩和ケア管理料
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・糖尿病透析予防指導管理料
・小児運動器疾患指導管理料	・乳腺炎重症化予防・ケア指導料
・婦人科特定疾患治療管理料	・腎代替療法指導管理料
・夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看 護体制加算1	・外来放射線照射診療料
・ニコチン依存症管理料	・がん治療連携計画策定料
・肝炎インターフェロン治療計画料	・ハイリスク妊産婦連携指導料1
・薬剤管理指導料	・医療機器安全管理料1
・医療機器安全管理料2	・医療機器安全管理料(歯科)
・精神科退院時共同指導料2	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看 護・指導料の注2	・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しな い持続血糖測定器を用いる場合)	・遺伝学的検査
・精密触覚機能検査	・骨髄微小残存病変量測定
・BRCA1/2遺伝子検査	・がんゲノムプロファイリング検査
・HPV核酸検出およびHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判 定)	・検体検査管理加算(Ⅰ)
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・国際標準検査管理加算
・遺伝カウンセリング加算	・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・胎児心エコー法
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・ヘッドアップティルト試験
・人工臓器検査、人工臓器療法	・長期継続頭蓋内脳波検査

・長期脳波ビデオ同時記録検査1	・脳波検査判断料1
・遠隔脳波診断	・単線維筋電図
・神経学的検査	・補聴器適合検査
・黄斑局所網膜電図	・全視野精密網膜電図
・ロービジョン検査判断料	・コンタクトレンズ検査料1
・内服・点滴誘発試験	・CT透視下気管支鏡検査加算
・画像診断管理加算1	・画像診断管理加算3
・ポジトロン断層撮影	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・コンピューター断層撮影(CT撮影)	・磁気共鳴コンピューター断層撮影(MRI撮影)
・冠動脈CT撮影加算	・心臓MRI撮影加算
・乳房MRI撮影加算	・頭部MRI撮影加算
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・外来化学療法加算1
・無菌製剤処理料	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・摂食機能療法の注3に掲げる摂食嚥下支援加算
・がん患者リハビリテーション料	・歯科口腔リハビリテーション料2
・児童思春期精神科専門管理加算	・認知療法・認知行動療法
・精神科ショート・ケア「小規模なもの」	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・医療保護入院等診療料	・硬膜外自家血注入
・エタノールの局所注入(甲状腺)	・エタノールの局所注入(副甲状腺)
・人工腎臓	・導入期加算2及び腎代替療法実績加算
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・下肢末梢動脈疾患指導管理加算
・CAD/CAM冠	・センチネルリンパ節加算
・四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。)))	・骨移植術(軟骨移植術を含む)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・椎間板内酵素注入療法	・脳刺激装置植込術(頭蓋骨内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)

・網膜再建術	・人工内耳植込術, 植込型骨導補聴器移植術および植込型骨導補聴器交換術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術
・内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	・乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術及び胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので、内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・経皮的中心隔心筋焼灼術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(心筋リードを用いるもの)
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・補助人工心臓
・植込型補助人工心臓(非拍動流型)	・経皮的下肢動脈形成術
・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開副腎摘出手術、腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・体外衝撃波胆石破碎術	・腹腔鏡下肝切除術

・生体部分肝移植術	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合を除く。)
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術	・人工尿道括約筋植込・置換術
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下仙骨腫固定術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)	・輸血管理料Ⅰ
・輸血適正使用加算	・コーディネート体制充実加算
・自己生体組織接着剤作成術	・自己クリオプレシピテート作製術(用手法)
・同種クリオプレシピテート作製術	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・歯周組織再生誘導手術
・広範囲顎骨支持型装置埋込手術	・麻酔管理料(Ⅰ)
・麻酔管理料(Ⅱ)	・放射線治療専任加算
・外来放射線治療加算	・高エネルギー放射線治療
・1回線量増加加算	・強度変調放射線治療(IMRT)
・画像誘導放射線治療(IGRT)	・体外照射呼吸性移動対策加算
・定位放射線治療	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・病理診断管理加算2	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・クラウン・ブリッジ維持管理料	・歯科矯正診断料
・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。))の手術前後における歯科矯正に係るもの)	・酸素の購入単価

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	・多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	31
剖 検 の 状 況	剖検症例数 31 例 / 剖検率 12 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
炎症性サイトカインを介したクローン造血の拡大機序に基づく新規白血病予防法の創成	國本博義	血液・免疫・感染症内科学	160万円	補 委 学術研究助成基金助成金 若手研究(2019年度-2020年度)
ケモカインシグナルを介したアポトーシス誘導機構に基づく新規クローン性造血制御法の創成	國本博義	血液・免疫・感染症内科学	100万円	補 委 2020年度日本血液学会研究助成金
高リスク染色体異常を有する新規白血病細胞株を応用した抗がん剤耐性機構の解明	國本博義	血液・免疫・感染症内科学	100万円	補 委 2020年度がん研究振興財団がん研究助成金
ミトコンドリアダイナミクスによる白血病幹細胞制御機構の解明と新規治療への応用	國本博義	血液・免疫・感染症内科学	50万円	補 委 学術研究助成基金助成金 基盤研究(B)(2020年度-2021年度)
成人白血病関連疾患に対する同種造血幹細胞移植の成績向上に関する研究	田中正嗣	血液・免疫・感染症内科学	50万円	補 委 令和2年度かながわ県立病院がん基金
高齢者に対する同種造血幹細胞移植の移植前リスク評価方法の確立	宮崎拓也	血液・免疫・感染症内科学	25.9万円	補 委 令和2年度かながわ県立病院がん基金研究助成
ミトコンドリアダイナミクスによる白血病幹細胞制御機構の解明と新規治療への応用	中島秀明	血液・免疫・感染症内科学	460万円	補 委 学術研究助成基金助成金 基盤研究(B)(2020年度-2021年度)
転写因子IRF5阻害剤による全身性エリテマトーデスの革新的治療法とそのコンパニオン診断法の開発	中島秀明	血液・免疫・感染症内科学	70万円	補 委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構, 日本医療研究開発機構研究費, 難治性疾患等実用化研究事業, 免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(免疫アレルギー疾患実用化研究分野) 【免疫アレルギー疾患領域】医薬品等開発研究(ステップ0, 1, 2) (免疫アレルギー疾患実用化研究事業)(2020年度-2022年度)
国内流行HIV及びその薬剤耐性株の長期的動向把握に関する研究	中島秀明	血液・免疫・感染症内科学	45万円	補 委 感染症実用化研究事業 エイズ対策実用化研究事業(2020年度-2022年度)
全身性エリテマトーデスにおける自己抗体の病的役割の解明と新規治療戦略の構築	中島秀明	血液・免疫・感染症内科学	5万円	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金基盤研究(C)(2019年度-2021年度)
パーチェット病のゲノムワイド変異解析によるエビデンス創出とレジストリー構築	中島秀明	血液・免疫・感染症内科学	5万円	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金基盤研究(B)(2019年度-2023年度)
全身性エリテマトーデスにおけるTRIMファミリーの役割について	神山玲光	血液・免疫・感染症内科学	91万円	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究(2018-2021年度)
M2マクロファージを標的としたルーブス腎炎新規治療法の開発	岸本大河	血液・免疫・感染症内科学	130万円	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究(2019-2021年度)
パーチェット病に関する調査研究	桐野洋平	血液・免疫・感染症内科学	120万円	補 委 厚生労働省 領域別基盤研究分野(2020-2022年度)

小計14件

パーチェット病の病態解明および治療法開発を目的とした全国レジストリの構築	桐野洋平	血液・免疫・感染症内科学	450万円	補委	日本医療研究開発機構研究費 難治性疾患実用化研究事業 (2020-2022年度)
パーチェット病のゲノムワイド亜型解析によるエビデンス創出とレジストリー構築	桐野洋平	血液・免疫・感染症内科学	338万円	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)(2019-2023年度)
全身性エリテマトーデスにおける自己抗体の病的役割の解明と新規治療戦略の構築	桐野洋平	血液・免疫・感染症内科学	5万円	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)(2019-2021年度)
全身性エリテマトーデスのB細胞機能異常におけるTRIM21の機能解析	國下洋輔	血液・免疫・感染症内科学	286万円	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業 研究活動スタート支援 (2019-2020年度)
全身性エリテマトーデスにおけるTRIM21機能とインフラマソームの関連性の検討	國下洋輔	血液・免疫・感染症内科学	429万円	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究(2020-2022年度)
関節リウマチにおける組織に蓄積するナトリウムイオンの機能解明	峯岸 薫	血液・免疫・感染症内科学	260万円	補委	学術研究助成基金助成金 若手研究(2020-2021年)
全身性エリテマトーデスにおける自己抗体の病的役割の解明と新規治療戦略の構築	吉見竜介	血液・免疫・感染症内科学	117万円	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C)(2019-2021年度)
全身性強皮症に伴う皮膚潰瘍に対する自家骨髄単核球移植を用いた血管再生療法に関する研究開発	吉見竜介	血液・免疫・感染症内科学	131万	補委	日本医療研究開発機構研究費 再生医療実用化研究事業 (2020-2022年度)
全身性エリテマトーデスにおける自己抗体の病原性について	吉見竜介	血液・免疫・感染症内科学	100万円	補委	先進医薬研究振興財団, 血液医学分野一般研究助成(2020-2021年)
IT社会の医療情報が医療トラストに与えるメカニズムの解明:若年膠原病を対象として	吉見竜介	血液・免疫・感染症内科学	5万円	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(B)(2019-2021年度)
パーチェット病のゲノムワイド亜型解析によるエビデンス創出とレジストリー構築	吉見竜介	血液・免疫・感染症内科学	5万円	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(B)(2019-2023年度)
膵癌における癌局所免疫が果たす役割の解明	遠藤 格	消化器・腫瘍外科学	118万円	補委	文部科学省科学研究費 基盤研究(C)(2019年度～2021年度)
膵癌における癌局所免疫が果たす役割の解明	松山隆生	消化器・腫瘍外科学	10万円	補委	文部科学省科学研究費 基盤研究(C)(2019年度～2021年度)
膵癌における癌局所免疫が果たす役割の解明	本間祐樹	消化器・腫瘍外科学	10万円	補委	文部科学省科学研究費 基盤研究(C)(2019年度～2021年度)
膵癌における癌局所免疫が果たす役割の解明	廣島幸彦	消化器・腫瘍外科学	22万円	補委	文部科学省科学研究費 基盤研究(C)(2019年度～2021年度)
排便時ガスによる大腸癌新規診断法の研究	石部敦士	消化器・腫瘍外科学	110万円	補委	文部科学省科学研究費 基盤研究(B)(2018年度～2021年度)
排便時ガスによる大腸癌新規診断法の研究	渡邊 純	消化器・腫瘍外科学	10万円	補委	文部科学省科学研究費 基盤研究(B)(2018年度～2021年度)
メチオニン制限による膵癌新規治療の開発	三宅謙太郎	消化器・腫瘍外科学	60万円	補委	文部科学省科学研究費 若手研究(2020年度～2023年度)

小計18件

AMPA受容体シグナル伝達系に着目した新規辟癌治療法の開発	佐原康太	消化器・腫瘍外科学	37万円	補委	公益財団法人 横浜学術教育振興財団研究助成金
癌抑制遺伝子FLCNの代謝および膜輸送制御に着目した腎腫瘍化機構の解析研究	蓮見壽史	泌尿器科学	429万円	補委	文部科学省科学研究補助基金 基盤研究(C)(2019年度－2021年度)
唾液腺腫瘍自然発生モデルマウスの確立とそのメカニズムの解明	蓮見壽史	泌尿器科学	30万円	補委	文部科学省科学研究補助基金 基盤研究(C)(2018年度－2020年度)
妊娠初期の感染性疾患スクリーニングが母子の長期健康保持増進に及ぼす影響に関する研究	宮城悦子	産婦人科学	670万円	補委	厚生労働科学研究費補助金(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業))(2018-2020)
卵巣明細胞癌の血液凝固異常・抗がん剤耐性に着目したトランスレショナリサーチ	宮城悦子	産婦人科学	55万円	補委	科学研究費助成事業/基盤研究(C)(2017-2019)
HPVワクチンの有効性の評価のための大規模疫学研究	宮城悦子	産婦人科学	242万円	補委	日本医療研究開発機構(AMED) 受託研究費(革新的がん医療実用化研究事業)(2017-2019)
子宮頸がん検診における細胞診とHPV検査併用の有用性に関する研究	宮城悦子	産婦人科学	60万円	補委	日本医療研究開発機構(AMED) 受託研究費(革新的がん医療実用化研究事業)(2017-2019)
先天異常モニタリングに関する研究	倉澤健太郎	産婦人科学	300万	補委	日本産婦人科医会おぎやー献金基金
日本の先天異常発生動向とその影響要因およびその解析方法に関する研究	倉澤健太郎	産婦人科学	702万円	補委	平成29年日本医療研究開発機構(AMED)・成育疾患克服等総合研究事業(2019-2021)
ワクチンで予防可能な疾病のサーベイランスとワクチン効果の評価に関する研究	倉澤健太郎	産婦人科学	100万円	補委	日本医療研究開発機構(AMED) 補助金(新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業)
子宮頸部上皮内病変(Cervical intraepithelial neoplasia: CIN)悪性化の機序解明と薬物療法の開発. 細胞極性蛋白atypical protein kinase C λ/ι (aPKC)のエクソサイトーシスを介した細胞浸潤能獲得	水島大一	産婦人科学	100万円	補委	平成30～31年度学長裁量事業 第2期学術的研究推進事業「研究奨励プロジェクト・カテゴリA(若手支援型)」(2018-2020)
多人種集団を対象としたパーチェット病の大規模遺伝子解析研究	竹内正樹	眼科学	299万円	補委	科研費若手研究
ゲノム医療実現化に向けたパーチェット病の人種横断的大規模遺伝子解析	竹内正樹	眼科学	200万円	補委	参天製薬創業者記念基金眼科研究基金
パーチェット病の病態解明および治療法開発を目的とした全国レジストリーの構築	水木信久	眼科学	676万円	補委	
パーチェット病に関する調査研究	水木信久	眼科学	30万円	補委	
難治性ぶどう膜炎疾患を対象としたエクソーム解析	水木信久	眼科学	480万円	補委	基盤研究(B)

小計16件

ペーチェット病の病因HLAと病因ペプチドの結合を阻害する医薬分子の特定	水木信久	眼科学	20万円	補 委	基盤研究◎
網膜格子状変性を対象とした分子遺伝学的発症機序の解明	水木信久	眼科学	10万円	補 委	基盤研究◎
強度近視の分子遺伝学的発症機序の解明	水木信久	眼科学	20万円	補 委	基盤研究◎
ペーチェット病のゲノムワイド亜型解析によるエビデンス創出とレジストリー構築	水木信久	眼科学	5万円	補 委	基盤研究(B)
ペーチェット病とサルコイドーシスを対象としたマルチオミックス解析	水木信久	眼科学	20万円	補 委	基盤研究◎
HLAリスク因子陰性のペーチェット病患者を対象としたゲノムワイド関連解析	水木信久	眼科学	10万円	補 委	基盤研究◎
ペーチェット病のゲノムワイド亜型解析によるエビデンス創出とレジストリー構築	水木信久	眼科学	5万円	補 委	基盤研究(B)
唾液腺腫瘍自然発生モデルマウスの確立とそのメカニズムの解明	折館伸彦	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	340万円	補 委	科学研究費補助金 基盤研究(C) (平成30～令和2年度)
痙攣性発声障害レジストリを活用した診断基準及び重症度分類のパリテーション評価研究	折館伸彦	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	30万円	補 委	AMED難治性疾患実用化事業 令和2年度
痙攣性発声障害疾患レジストリを利用した診断基準及び重症度分類の妥当性評価と改訂に関する研究	折館伸彦	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	39万円	補 委	厚労科研難治性疾患政策研究事業 令和2年度
研究開発プロジェクト:がん 難治がんの微小環境からみた新規バイオマーカーおよび治療法の開発	折館伸彦	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	100万円	補 委	横浜市立大学 第4期 戦略的研究推進事業 令和2年度
スーパーエンハンサーを介した遺伝子発現制御によるHPV関連中咽頭癌発癌機構の解明	佐野大佑	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	340万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 基盤研究(C) (令和1～3年度)
唾液腺腺様嚢胞癌と腫瘍関連神経を中心とした癌微小環境の相互作用の解明	高橋秀聡	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	65万円	補 委	科学研究費助成事業(科学研究費補助金) 基盤研究(C) (平成31～令和4年度)
癌微小環境における神経の役割の解明	高橋秀聡	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	100万円	補 委	横浜市立大学MDアンダーソンがんセンター国際共同研究推進事業費 2020年
がん関連神経を標的とした画期的治療法の開発	高橋秀聡	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	100万円	補 委	横浜市立大学令和2年度学術的研究推進事業 2020年
免疫チェックポイント阻害薬による副作用モニタリング	堀田信之	化学療法センター	20万円	補 委	大鵬薬品奨学寄附金(がん領域)
癌疾患における免疫チェックポイント阻害薬による副作用のリスク、発現パターンを解明するための研究	堀田信之	化学療法センター	30万円	補 委	第一三共奨学寄附金
新しいPET診断法開発	中村健	リハビリテーション科学	18万円	補 委	2020年度戦略的研究推進事業

小計18件

脊髄損傷後疼痛の発症にかかわる中枢神経系の機能的・構造的変化の探索	中村健	リハビリテーション科学	86万円	補 委	令和2年度AMED受託事業研究費
スモン患者の運動能力および筋量に関する研究	中村健	リハビリテーション科学	90万円	補 委	令和2年度厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業)
先天性血小板減少症・止血凝固異常症の遺伝的疾患病態の解明	内山由理	難病ゲノム診断科	429万円	補 委	日本学術振興会 若手研究(2019, 4.～2021, 3.)
極端な表現型に着目した新規自己炎症性疾患の原因遺伝子解明	土田奈緒美	難病ゲノム診断科	416万円	補 委	日本学術振興会 若手研究(2020, 4.～2022, 3.)
SLEの遺伝学的病態解明と治療法の開発	土田奈緒美	難病ゲノム診断科	200万円	補 委	2020年度GSKジャパン研究助成(2020, 8.～2022, 3.)
新規自己炎症性疾患原因遺伝子の検索	土田奈緒美	難病ゲノム診断科	100万円	補 委	公益財団法人日本リウマチ財団 令和元年度リウマチ性疾患調査・研究助成(2020, 4.～2025, 3.)
臨床研修医を対象とした自殺予防教育プログラムの開発に関する研究	井上佳祐	精神医学	30万円	補 委	文部科学省科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 若手研究(2019年-2022年)
認知症対策官民イノベーション実証基盤整備事業	小田原俊成	精神医学	4364万円	補 委	認知症予防を目指した多因子介入によるランダム化比較研究、令和2年度
アラキドン酸カスケードに着目した統合失調症患者の心血管性突然死の病態解明	服部早紀	精神医学	143万円	補 委	文部科学省科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)研究活動スタート支援、(令和2年度-令和3年度)
精神科医師、看護師におけるLGBT(Lesbian, Gay, Bisexual, Transgender)当事者への臨床態度の特徴と関連因子の検討	早川麻耶	精神医学	37万円	補 委	公益財団法人横浜学術教育振興財団研究助成
次元的アプローチによる精神疾患脳画像への深層学習の応用	山口博行	精神医学	104万円	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究(2019年-2022年)
有効性が示されている心理社会的介入プログラムの脳構造への影響	吉見明香	精神医学	494万円	補 委	文部科学省科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金(基盤研究(C)(一般)(平成29年))
訪問看護における精神疾患に関する心理社会的介入プログラムの導入に関する研究	吉見明香	精神医学	28万円	補 委	公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団 2020.年度(前期) 一般公募「在宅医療研究への助成」(令和2年)
ポリジェニックリスクスコアを用いた自殺リスクの予測と遺伝学的解明	菱本明豊	精神医学	611万円	補 委	文部科学省科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金基盤B(2021-2024年))
青年期のひきこもり者に対する遠隔健康医療相談の効果検証に関する研究	藤田純一	精神医学	403万円	補 委	学術研究助成基金助成金(基盤研究(C)(一般)(2021-2024年))
MMP-9は認知症の新たな早期診断バイオマーカーになり得るか？	阿部紀絵	精神医学	4,55万円	補 委	文部科学省科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 若手研究(2021年-2024年)

小計16件

トランスオミクス解析による統合失調症の心血管系突然死の病態解明	服部早紀	精神医学	4,55万円	補 委	文部科学省科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 若手研究(2021年-2024年)
障害者対策総合研究開発事業(慢性疼痛)研究課題:AMPA 受容体密度を指標とした慢性疼痛患者の痛み定量化バイオマーカー開発研究	菱本明豊	精神医学	480万円	補 委	2021年度AMED
喫煙・ギャンブル依存と自殺の遺伝的リスク関係の解明	菱本明豊	精神医学	200万円	補 委	公益財団法人喫煙科学研究財団 研究課題 令和3年度
口腔癌頸部リンパ節転移に対するICGラクトゾムを用いたセラノスティクス	光藤健司	口腔外科学	178万円	補 委	科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(2019-2021年度)
磁性造影剤と磁気プローブを用いた新しい口腔癌センチネルリンパ節同定法の確立	岩井俊憲	口腔外科学	200万円	補 委	科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(2018-2021年度)
化学放射線療法による口腔粘膜炎に対する治療法の開発	大橋伸英	口腔外科学	209万円	補 委	科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(2019-2021年度)
重症患者の全身・摂食嚥下機能に応じたリハビリテーションプログラム開発と効果検証	大橋伸英	口腔外科学	10万円	補 委	科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(B)
超小型磁気センサー内蔵のカテーテルナビゲーションシステムに関する研究	大屋貴志	口腔外科学	416万円	補 委	科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(B)(2020-2024年度)
温熱療法とIL-1R阻害薬の臨床応用に向けた併用療法の開発	小栗千里	口腔外科学	115万円	補 委	科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(2018-2021年度)
患者由来口腔がんモデルの臨床的有用性(不均一性)を生かした新規治療戦略の創出	來生 知	口腔外科学	611万円	補 委	科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(B)
口腔粘膜疾患の啓発	來生 知	口腔外科学	5万円	補 委	一般社団法人横浜市歯科医師会(受託研究), (2019-2022年度)
腫瘍治療電場(TTF)を用いた口腔癌に対する低侵襲治療の開発	小泉敏之	口腔外科学	90万円	補 委	科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(2017-2021年度)
造影超音波検査を用いた口腔癌頸部リンパ節転移の革新的早期診断法の確立	杉山聡美	口腔外科学	110万円	補 委	科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)研究活動スタート支援(2020-2021年度)
口腔癌に対する腫瘍選択性磁性体を用いたハイパーサーミアによる低侵襲的治療の開発	藤内 祝	口腔外科学	563万円	補 委	科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(B)(2020-2022年度)
aPKC λ/ι の口腔癌悪性度への関与-予後サロゲートマーカーとしての有用性-	馬場隼一	口腔外科学	130万円	補 委	科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(2018-2020年度)
病理像と血液循環核酸による口腔癌動注化学放射線療法の予後予測システムの開発	林 雄一郎	口腔外科学	180万円	補 委	科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(2020-2021年度)
口腔癌におけるCaveolin-1とIL-6の役割	光藤健司	口腔外科学	70万円	補 委	科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(2019-2021年度)
休止期腫瘍細胞特性と腫瘍不均一性及び癌幹細胞性との相互関連性解析と癌治療への応用	光藤健司	口腔外科学	5万円	補 委	科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(2019-2021年度)

小計18件

口腔扁平上皮癌の悪性化に伴う間葉系および骨髄系間質細胞の免疫制御と調節因子の変化	光藤健司	口腔外科学	5万円	補委	科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(2020-2022年度)
口腔癌におけるCaveolin-1とInterleukin-6による腫瘍免疫の研究など	光藤健司	口腔外科学	6万円	補委	第一三共株式会社(奨学給付金)(2020-2024年度)
口腔癌におけるCaveolin-1とTGF- β の役割	光藤健司	口腔外科学	6万円	補委	大鵬薬品株式会社(奨学給付金)(2020-2024年度)
口腔癌に対するインドシアニングリーンラクトソームを用いた研究	光藤健司	口腔外科学	6万円	補委	大鵬薬品株式会社(奨学給付金)(2019-2023年度)
進行口腔癌に対する動注養子免疫療法と免疫チェックポイント阻害剤併用療法の開発	來生 知	口腔外科学	226万円	補委	科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(2018-2021年度)
睡眠時無呼吸症患者の咽頭気道抵抗発生のメカニズムの解明	矢島康治	口腔外科学	50万円	補委	一般財団法人横浜総合医学振興財団わかば研究助成
顎変形症患者の気流音から睡眠呼吸障害のリスクを予測する	矢島康治	口腔外科学	29万円	補委	横浜国立大学学術的研究推進事業
新生児黄疸治療最適化のためのスマート光線治療器の開発	伊藤秀一	遺伝子診療科	800万円	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)研究費(免疫アレルギー疾患等実用化研究事業)(R2-R5年度)
転写因子IRF5阻害剤による全身型エリテマトーデスの革新的治療法とそのコンパニオン診断法の開発	伊藤秀一	遺伝子診療科	70万円	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)研究費(免疫アレルギー疾患等実用化研究事業)(R2-R4年度)
自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備、移行医療体制の構築、診療ガイドライン確立に関する研究	伊藤秀一	遺伝子診療科	60万円	補委	厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)(R2-R4年度)
小児腎領域の希少・難治性疾患群の診療・研究体制の発展	伊藤秀一	遺伝子診療科	50万円	補委	厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)(R2-R4年度)
エコチル調査(環境省 子どもの健康と環境に関する全国調査)	伊藤秀一	遺伝子診療科	9,778万円	補委	環境省 子どもの健康と環境に関する全国調査(H29-R8年度)
マルチバイタル柔軟センサと多次元機械学習の連携による予測医療に向けたスマートネットワーク基盤の構築	伊藤秀一	遺伝子診療科	80万円	補委	総務省(関東総合通信局)戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)(H31-R2年度)
ロングリードシーケンサーを用いた神経筋疾患の原因探索と病態解明	宮武聡子	遺伝子診療科	150万円	補委	科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)(R2-R4年度)
AYA世代および成人T細胞性急性リンパ性白血病の小児型治療適用における限界年齢と新規バイオマーカー探索に関する研究	山崎悦子	臨床検査部	26万円	補委	AMED(R2.4.1-R5.3.31)
小児から成人をシームレスに対象としたB前駆細胞性急性リンパ性白血病に対する前方視的臨床試験による標準治療の開発研究	山崎悦子	臨床検査部	29万円	補委	AMED(2019.4.1-2022.3.31)
収縮機能の保持された心不全におけるSGLT2阻害薬のカルシウム過負荷および左室スティフネスへの影響と心不全発症抑制効果の検討	上村大輔	臨床検査部	50万円	補委	公益財団法人朝日生命成人病研究所 成人病研究助成
収縮性の保持された心不全におけるオステオプロテジェリンの役割と治療ターゲットとしての可能性の探索	上村大輔	臨床検査部	37万円	補委	横浜学術教育振興財団研究助成金

小計18件

てんかん患者の自律神経活動に影響を及ぼす臨床的要因の検討	白石洋子	臨床検査部	50万円	補委	ノバルティスファーマ研究助成(2017年～2022年)
体幹部放射線治療における呼吸性移動ー四次元アルゴリズム解析と治療法の標準化ー	幡多政治	放射線治療学	42万円	補委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)
放射線治療計画における撮像条件が標的描出に与える影響	幡多政治	放射線治療学	40万円	補委	GEヘルスケアファーマ奨学寄附プログラム
難治性がんに対する治療戦略:集学的治療による至適治療法の解明と標準化, 新規治療法の開発に関する研究	幡多政治	放射線治療学	50万円	補委	第一三共奨学寄付プログラム
アニサキスアレルギーの低アレルギー化による再発予防法の確立	猪又直子	皮膚科学	120万円	補委	令和2年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究◎
創傷治癒および全身性強皮症の血管障害における単球マクロファージの病態的関与	山口由衣	皮膚科学	100万円	補委	令和2年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究◎
薬剤性間質性肺炎・重症薬疹に関するバイオマーカー候補の適格性確認と規制要件案の作成に関する研究	山口由衣	皮膚科学	455万円	補委	令和2年度日本医療研究開発機構研究費(医薬品等規制調和・評価研究事業)
重症多形滲出性紅斑に関する調査研究	山口由衣	皮膚科学	100万円	補委	令和2年度厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業)
心臓弁膜症がもたらす心筋壁運動と血流異常に関するCTベクトル機能解析と臨床応用	宇都宮大輔	放射線診断学	26万円	補委	科学研究補助金事業基盤(C)(2016-2020)
冠動脈CTにおける流体練成解析法を用いた冠血流予備量比の基礎的・臨床的検討	宇都宮大輔	放射線診断学	54万円	補委	科学研究補助金事業基盤(C)(2018-2021)
造影CTでのヨード増強効果がもたらす新たな線量増加の影響に関する研究	宇都宮大輔	放射線診断学	43万円	補委	科学研究補助金事業基盤(C)(2018-2022)
遠隔画像診断・非曝露撮影機能を実装するCT検診車を用いた院外療養中の感染者における新型コロナウイルス肺炎の早期診断の有用性に関する実証研究	山城恒雄	放射線診断学	1億5,080万円	補委	日本医療研究開発機構令和2年度ウイルス等感染症対策技術開発事業(実証・改良研究支援)(2020)
ヴァーチャル・リアリティ(VR)を用いた呼吸器・循環器動態画像の解析	山城恒雄	放射線診断学	247万円	補委	科学研究費助成事業若手研究(2020-2021)
高解像度遅延造影MRIによる左房線維化評価:心房細動, 心不全における臨床的意義	加藤真吾	放射線診断学	130万円	補委	科学研究補助金事業基盤 若手研究(2019-2021)
心臓MRIの高次元画像特徴量と機械学習を用いた非虚血性心筋症の新たなリスク因子の探索	加藤真吾	放射線診断学	50万円	補委	一般財団法人横浜総合医学振興財団 わかば研究助成
深層学習モデルを用いた脳核医学検査の画質改善および撮像時間短縮の検討	石渡義之	放射線診断学	286万円	補委	科学研究費助成事業若手研究(2020-2022)
1H-MRS法を用いた脳内代謝物の測定に関する研究	相田典子	放射線診断学	26万円	補委	神奈川県立病院小児医療基金研究助成金
頭部MRI arterial spin labeling(ASL)画像を用いた小児の画像診断に関する研究	藤田和俊	放射線診断学	21万円	補委	神奈川県立病院小児医療基金研究助成金

小計18件

新技術を用いた小児脳幹部MRI画像診断に関する研究	藤井裕太	放射線診断学	23万円	補委	神奈川県立病院小児医療基金研究助成金
AIによる臨床画像診断を目指すための複合ディープラーニングネットワークの開発研究	相田典子	放射線診断学	10万円	補委	科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)(一般)(2017-2020)
MRSIによる小児脳内代謝物濃度の自動診断解析システムの開発	相田典子	放射線診断学	40万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(一般)(2019-2021)
呼吸器系先天異常疾患の診療体制構築とデータベースおよび診療ガイドラインに基づいた医療水準向上に関する研究	野澤久美子	放射線診断学	30万円	補委	厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業)応用研究(2020-2022)
小児およびAYA世代の横紋筋肉腫患者に対するリスク層別化臨床試験実施による標準的治療法の開発	野澤久美子	放射線診断学	20万円	補委	AMED革新的がん医療実用化研究事業(2020-2022)
リンパ浮腫における炎症性サイトカインに関する解析と新規治療法の開発	矢吹雄一郎	形成外科学	416万円	補委	科学研究費補助金事業基盤(C)(R2-R5)
リンパ浮腫におけるBiotubeを用いた新規治療法の開発	北山晋也	形成外科学	351万円	補委	科学研究費補助金事業基盤(C)(H31-R3)
がん性髄膜炎における免疫チェックポイント阻害薬の抗腫瘍効果およびその機序の解明	大島聡人	脳神経外科学	20万円	補委	2020年度神奈川県立がんセンター病院・臨床研究所共同研究課題
てんかん性異常放電が脳機能ネットワークに与える影響の検討	池谷直樹	脳神経外科学	160万円	補委	公益財団法人てんかん治療研究財団(2018年-2021年)
患者腫瘍移植モデルを用いたmTOR経路とてんかん性異常の関連の解明	池谷直樹	脳神経外科学	80万円	補委	文部科学省研究基盤(若手研究)(2019年-2022年)
IL-4誘導のM2ミクログリアは、中枢神経の直接縫合法で神経再生を促進する	末永 潤	脳神経外科学	130万円	補委	文部科学省基盤研究(C)(2019年-2021年)
頭頸部CST(Cadaver Surgical Training)に適した固定法の開発	末永 潤	脳神経外科学	50万円	補委	医学教育研究助成(2019年-2020年)
新たな神経炎症経路に着目したくも膜下出血後認知機能障害の病態解明と治療応用	高瀬 創	脳神経外科学	208万円	補委	文部科学省基盤研究(C)(2020年-2023年)
正常圧水頭症における新規神経炎症機構の役割:神経索路画像と分子生物学的アプローチを用いたトランスレーショナル研究	高瀬 創	脳神経外科学	100万円	補委	公益財団法人大樹生命厚生財団 第53回医学研究助成(2020年-2022年)
脳震盪における生物学的予後診断マーカーの開発とその意義	高瀬 創	脳神経外科学	85万円	補委	一般社団法人日本損害保険協会 交通事故医療研究助成(2020年-2022年)
脳震盪と神経血管炎症:長期的認知機能診断マーカーの開発と治療への展開	高瀬 創	脳神経外科学	100万円	補委	一般社団法人 JA共済総合研究所 JA共済 交通事故医療研究助成(2020年-2021年)
難治性悪性脳腫瘍に対する日本発放射線薬剤64Cu-ATSMによる新治療法開発-早期承認を目指す第1相拡大コホート試験の実施	立石健祐	脳神経外科学	60万円	補委	革新的がん医療実用化研究事業(AMED)
中枢神経系悪性リンパ腫の腫瘍内多様性と微小環境解析による病態発生の解明と治療開発	立石健祐	脳神経外科学	40万円	補委	文部科学省基盤研究(B)(2020年-2024年)

小計18件

マルチオミクスを活用した新規プロテオーム解析技術の創出と脳腫瘍バイオマーカー探索	立石健祐	脳神経外科学	80万円	補委	文部科学省基盤研究(B)(2020年－2024年)
IDH1変異神経膠腫に対するDNA高変異に起因する悪性化回避を目指した治療法の開発	立石健祐	脳神経外科学	100万円	補委	文部科学省基盤研究(C)(2019年－2022年)
NF-κB経路を標的とした中枢神経原発悪性リンパ腫治療法開発に向けたトランスレーショナル研究	立石健祐	脳神経外科学	250万円	補委	横浜市立大学学長裁量事業(かもめプロジェクト)(2018-2020)
外傷性脳損傷に対する新規治療:造血サイトカイン脳室内投与療法の有効性の検討	村田英俊	脳神経外科学	100万円	補委	日本損害保険協会
COVID-19患者層別化による医療資源の最適分配とアウトカム向上	竹内一郎	救急医学	500万円	補委	平成31年(令和元年)度「新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業」(2次公募)1年
活動性心筋炎による難治性重症心不全に対する新たな治療法の開発	竹内一郎	救急医学	429万円	補委	平成31年度文部科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)3年
コクサッキーAデノウイルス受容体膜外ドメインの自己免疫性心筋炎における治療的意義	西井基継	救急医学	429万円	補委	平成31年度文部科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)3年
ARDSの喫煙・炎症因子関連分子メカニズムの解明と新規治療法の確立	小川史洋	救急医学	416万円	補委	平成31年度文部科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究3年
急性呼吸促進症候群(ARDS)の喫煙・炎症因子関連分子メカニズムの解明と新規治療法の確立	小川史洋	救急医学	200万円	補委	2019年度喫煙科学財団若手助成金 2年
神経再生機能分子LOTUS によるALSの治療法開発	田中章景	神経内科学・脳神経外科学	50万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年－令和2年)
プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	田中章景	神経内科学・脳神経外科学	110万円	補委	令和2年度厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等政策研究事業)
運動失調症の医療水準、患者QOLの向上に資する研究	田中章景	神経内科学・脳神経外科学	70万円	補委	令和2年度厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等政策研究事業)
成人SMA患者レジストリの整備、成人期SMAの臨床的検討	田中章景	神経内科学・脳神経外科学	37万円	補委	日本医療研究開発機構受託研究費(AMED)
運動学習に着目した新規脳機能評価法を活用したエビデンス創出	田中章景	神経内科学・脳神経外科学	40万円	補委	日本医療研究開発機構受託研究費(AMED)
難治性神経疾患における免疫病態の解明と診断・治療法開発	田中章景	神経内科学・脳神経外科学	50万円	補委	令和2年度精神・神経疾患研究開発事業費
神経核内封入体病(NIID)の疾患概念確立および診断基準作成に関する研究	田中章景	神経内科学・脳神経外科学		補委	令和2年度厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等政策研究事業)
生体恒常性センサーである単球系細胞の制御に基づく神経変性疾患の画期的な治療法開発	田中章景	神経内科学・脳神経外科学	15万円	補委	(平成30年－令和2年)・文科省科学研究費基盤研究(C)
脊髄小脳失調症新規モデルマウスを用いた病態解明と治療法開発	田中章景	神経内科学・脳神経外科学	20万円	補委	(平成30年－令和2年)・文科省科学研究費基盤研究(C)

小計18件

Loss of functionモデルに基づいたUBQLN2の機能解析	田中章景	神経内科学・脳神経外科学	10万円	補委	(平成30年―令和2年)．文科省科学研究費基盤研究(C)
孤発性ALS病態形成におけるDEAD box RNA helicaseの役割解明	田中章景	神経内科学・脳神経外科学	15万円	補委	(平成31年―令和3年)．文科省科学研究費基盤研究(C)
神経核内封入体病(NIID)の原因遺伝子同定と病態解明	田中章景	神経内科学・脳神経外科学	10万円	補委	(令和1年―令和3年)．文科省科学研究費基盤研究(B)
LOTUSによる神経変性と炎症の制御に基づく多発性硬化症の画期的な治療法開発	田中章景	神経内科学・脳神経外科学	20万円	補委	(令和2年―令和4年)．文科省科学研究費基盤研究(C)
VRと運動学習転移を用いたパーキンソン病における新しい運動訓練の開発	田中章景	神経内科学・脳神経外科学	50万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)
生体恒常性センサーである単球系細胞の制御に基づく神経変性疾患の画期的な治療法開発	竹内英之	神経内科学・脳神経外科学	70万円	補委	(平成30年―令和2年)．文科省科学研究費基盤研究(C)
神経再生機能分子LOTUS によるALSの治療法開発	竹内英之	神経内科学・脳神経外科学	20万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C) (平成30年―令和2年)
脊髄小脳失調症新規モデルマウスを用いた病態解明と治療法開発	竹内英之	神経内科学・脳神経外科学	15万円	補委	(平成30年―令和2年)．文科省科学研究費基盤研究(C)
Loss of functionモデルに基づいたUBQLN2の機能解析	竹内英之	神経内科学・脳神経外科学	20万円	補委	(平成30年―令和2年)．文科省科学研究費基盤研究(C)
孤発性ALS病態形成におけるDEAD box RNA helicaseの役割解明	竹内英之	神経内科学・脳神経外科学	15万円	補委	(平成31年―令和3年)．文科省科学研究費基盤研究(C)
LOTUSによる神経変性と炎症の制御に基づく多発性硬化症の画期的な治療法開発	竹内英之	神経内科学・脳神経外科学	20万円	補委	(令和2年―令和4年)．文科省科学研究費基盤研究(C)
二次進行型多発性硬化症新規動物モデルの樹立と炎症性クリアを標的とした進行型多発性硬化症治療薬開発	竹内英之	神経内科学・脳神経外科学	77万円	補委	(令和1年-令和2年)．AMED 難治性疾患実用化研究事業
脊髄小脳失調症新規モデルマウスを用いた病態解明と治療法開発	土井 宏	神経内科学・脳神経外科学	45万円	補委	(平成30年―令和2年)．文科省科学研究費基盤研究(C)
神経再生機能分子LOTUS によるALSの治療法開発	土井 宏	神経内科学・脳神経外科学	20万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C) (平成30年―令和2年)
生体恒常性センサーである単球系細胞の制御に基づく神経変性疾患の画期的な治療法開発	土井 宏	神経内科学・脳神経外科学	15万円	補委	(平成30年―令和2年)．文科省科学研究費基盤研究(C)
Loss of functionモデルに基づいたUBQLN2の機能解析	土井 宏	神経内科学・脳神経外科学	20万円	補委	(平成30年―令和2年)．文科省科学研究費基盤研究(C)
孤発性ALS病態形成におけるDEAD box RNA helicaseの役割解明	土井 宏	神経内科学・脳神経外科学	15万円	補委	(平成31年―令和3年)．文科省科学研究費基盤研究(C)
孤発性ALS病態形成におけるDEAD box RNA helicaseの役割解明	多田美紀子	神経内科学・脳神経外科学	55万円	補委	(平成31年―令和3年)．文科省科学研究費基盤研究(C)

小計18件

パーキンソン病の仮面様顔貌と認知症発症の関連についての検討:前向きコホート研究	東山雄一	神経内科学・脳神経外科学	200万円	補委	(令和2年-令和4年). 文科省科学研究費若手研究
先進的脳画像解析によるパーキンソン病の認知機能低下予測バイオマーカーの開発	東山雄一	神経内科学・脳神経外科学	50万円	補委	横浜医学財団(令和2年)
Loss of functionモデルに基づいたUBQLN2の機能解析	田中健一	神経内科学・脳神経外科学	20万円	補委	(平成30年-令和2年). 文科省科学研究費基盤研究(C)
LOTUSによる神経変性と炎症の制御に基づく多発性硬化症の画期的な治療法開発	高橋慶太	神経内科学・脳神経外科学	90万円	補委	(令和2年-令和4年). 文科省科学研究費基盤研究(C)
神経再生機能分子LOTUSによるALSの治療法開発	高橋慶太	神経内科学・脳神経外科学	20万円	補委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成30年-令和2年)
T型カルシウムチャネル異常が引き起こす神経細胞死の病態機序解明症の画期的な治療法開発	国井美紗子	神経内科学・脳神経外科学	130万円	補委	(平成31年-令和2年). 文科省科学研究費若手研究
脊髄小脳失調症新規モデルマウスを用いた病態解明と治療法開発	国井美紗子	神経内科学・脳神経外科学	10万円	補委	(平成30年-令和2年). 文科省科学研究費基盤研究(C)
日本の集中治療臨床情報を基盤として人工知能を用いた本邦発の重症度予測モデルの開発とパネルデータ活用環境の醸成	高木俊介	麻酔科学	618万円	補委	令和二年度 厚生労働科学研究費 補助金(臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業)
細胞外弾性線維による臓器連関を介した代謝制御機構	奥山朋子	内分泌・糖尿病内科学	416万円	補委	科学研究費若手研究(B)(R2-R3年度)
細胞外マトリックスタンパクを介したインスリン感受性制御機構の解明	奥山朋子	内分泌・糖尿病内科学	100万円	補委	公益財団法人MSD生命科学財団研究助成 生活習慣病領域 追加助成(R2-R3年)
弾性線維関連蛋白Fibulin-5によるインスリン抵抗性制御機構の解明	奥山朋子	内分泌・糖尿病内科学	50万円	補委	公益財団法人日本応用酵素協会Front Runner of Future Diabetes Researchに関する研究助成(FFDR)(H29年-)
プロテアーゼインヒビターによるインスリン分泌制御とインスリン抵抗性形成機構の解明	折目和基	内分泌・糖尿病内科学	416万円	補委	科学研究費助成事業 若手研究
糖脂脂肪毒性下の膵島ミトコンドリア機能障害・炎症の病態解明と治療法の創出	寺内康夫	内分泌・糖尿病内科学	715万円	補委	科学研究費基盤研究(B)
子供の研究と環境に関する全国調査(エコチル)	伊藤秀一	小児科学	9,778万円	補委	環境省(エコチル)(H29年度～R8年度)
新生児黄疸治療最適化のためのスマート光線治療器の開発	伊藤秀一	小児科学	800万円	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)免疫アレルギー疾患実用化研究事業(R2年度～R5年度)
転写因子IRF5阻害剤による全身型エリテマトーデスの革新的治療法とそのコンパニオン診断法の開発	伊藤秀一	小児科学	70万円	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)免疫アレルギー疾患実用化研究事業(R2年度～R4年度)
自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備, 移行医療体制の構築, 診療ガイドライン確立に関する研究	伊藤秀一	小児科学	60万円	補委	厚労省科学研究費補助金(難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患性疾患政策事業)(R2年度～R4年度)
小児腎領域の希少・難治性疾患群の診療・研究体制の発展	伊藤秀一	小児科学	50万円	補委	厚労省科学研究費補助金(難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患性疾患政策事業)(R2年度～R4年度)

小計18件

マルチバイタル柔軟センサと多次元機械学習の連携による予測医療に向けたスマートネットワーク基盤の構築	伊藤秀一	小児科学	80万円	補委	総務省(関東総合通信局)戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)(H31年度～R2年度)
NK細胞機能に着目した全身型若年性特発性関節炎の病態解析	大宅 喬	小児科学	234万円	補委	科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 若手研究.(2020年度～2022年度)
母体へのベタメタゾン追加投与が動脈管閉鎖へ与える効果の検討	鋤持孝博	小児科学	429万円	補委	科学研究費助成事業 平成31年度若手研究
難治性小児急性骨髄性白血病のエピゲノム機構の解明	柴 徳生	小児科学	1430万円	補委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)
小児急性骨髄性白血病におけるEpigenetics 制御メカニズムの解明	柴 徳生	小児科学	200万円	補委	公益財団法人 武田振興財団2020年度「医学系研究助成」がん領域(2020～2023年度)
再発難治小児急性骨髄性白血病のエピゲノム解析に基づいた新規治療法の開発	柴 徳生	小児科学	50万円	補委	公益財団法人 日本血液学会研究助成(2020年度)
RARB転座陽性急性前骨髄球性白血病の病態解明及び新規標的薬の開発	辻本信一	小児科学	416万円	補委	2019年度科学研究費助成事業 若手研究(2019年度～2020年度)
RUNX1-RUNX1T1陽性小児急性骨髄性白血病における細胞表面抗原とゲノム解析及び予後との関連の検討	辻本信一	小児科学	200万円	補委	2019年度成育医療研究開発費(2019年度～2020年度)
再発難治小児急性骨髄性白血病におけるDOCK1阻害剤を用いた新規治療法の開発	辻本信一	小児科学	50万円	補委	日本血液学会助成(2020年度)
持続可能な母乳率調査方法の開発～メールを使った前向き調査の全国展開に向けて～	西巻 滋	小児科学	180万円	補委	令和2年度科学研究費補助金基盤研究C(代表)(2020年～2022年)
ドナーミルクを安定供給できる母乳バンクを整備するための研究	西巻 滋	小児科学	30万円	補委	厚生労働科学費補助金成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業)(2020年～2021年)
全身性エリテマトーデスの革新的治療法のための転写因子IRF5阻害剤の開発	伊藤秀一	小児科学	2470万円	補委	日本医療研究開発機構研究費(免疫アレルギー疾患等実用化研究事業(免疫アレルギー疾患実用化研究分野))(令和2年度～令和5年度)
オンラインProblem based learning (PBL)を用いた臨床実習の取り組み	原 悠	呼吸器病学	50万円	補委	一般財団法人横浜総合医学振興財団 先導的教育事業助成(令和2年度)
COVID-19肺炎に対する予防と薬物治療:システマティックレビュー	堀田信之	呼吸器病学	37万円	補委	公立財団法人横浜学術教育振興財団研究助成(令和2年度)
「咳嗽・喀痰の診療ガイドライン2019」喀痰総論の改定に向けたエビデンスの構築	金子 猛	呼吸器病学	60万円	補委	令和2年度学術研究助成基金助成金基盤研究(C)(一般)(R2-R5年度)
「咳嗽・喀痰の診療ガイドライン2019」喀痰総論の改定に向けたエビデンスの構築	原 悠	呼吸器病学	10万円	補委	令和2年度学術研究助成基金助成金基盤研究(C)(一般)(R2-R5年度)
「咳嗽・喀痰の診療ガイドライン2019」喀痰総論の改定に向けたエビデンスの構築	堀田信之	呼吸器病学	10万円	補委	令和2年度学術研究助成基金助成金基盤研究(C)(一般)(R2-R5年度)
腎エネルギー代謝に着目した糖尿病性腎臓病の病態生理解明および新規治療法開発	小豆島健護	循環器・腎臓・高血圧内科学	50万円	補委	一般財団法人横浜総合医学振興財団令和2年度わかば研究助成

小計18件

糖尿病性腎臓病における腎エネルギー代謝の意義	小豆島健護	循環器・腎臓・高血圧内科学	200万円	補 委	上原記念生命科学財団, 2020年度研究奨励金
高血圧症における皮膚レニン-アンジオテンシン系の病態生理学的意義の解明	小豆島健護	循環器・腎臓・高血圧内科学	143万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)研究活動スタート支援(令和2年度-令和3年度)
腸内細菌と脾臓B2細胞に着目した, 動脈硬化症の分子病態の解明	荒川健太郎	循環器・腎臓・高血圧内科学	169万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(令和2年度-令和4年度)
動脈硬化症のバイオマーカーの開発	石上友章	循環器・腎臓・高血圧内科学	100万円	補 委	学長裁量事業LIP, 横浜推進プロジェクト
『興奮・転写連関』に着目した高血圧症の食塩感受性の尿細管性機序の分子病態の解明	石上友章	循環器・腎臓・高血圧内科学	169万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(令和2年度-令和4年度)
重症患者の全身・摂食嚥下機能に応じたリハビリテーションプログラム開発と効果検証	石上友章	循環器・腎臓・高血圧内科学	10万円	補 委	文部科学省:科学研究費補助金基盤研究(B)(平成29年度-令和3年度)
高リスク心筋梗塞に対する運動介入効果による加齢への影響と組織再生能評価	石上友章	循環器・腎臓・高血圧内科学	10万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦的研究(萌芽)(平成30年度-令和2年度)
腸内細菌と脾臓B2細胞に着目した, 動脈硬化症の分子病態の解明	石上友章	循環器・腎臓・高血圧内科学	30万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(令和2年度-令和4年度)
白血球・免疫細胞における受容体結合因子の病態生理学的意義	畠田一司	循環器・腎臓・高血圧内科学	143万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(平成31年度-令和3年度)
受容体結合性機能選択的制御蛋白の新機能に着目した腎性老化の機序解明と制御治療開発	畠田一司	循環器・腎臓・高血圧内科学	10万円	補 委	科学研究費補助金 基盤研究(B)(平成30年度-令和3年度)
高解像度遅延造影MRIによる左房線維化評価:心房細動, 心不全における臨床的意義	加藤真吾	循環器・腎臓・高血圧内科学	143万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(平成31年度-令和3年度)
心臓MRIの高次元画像特徴量と機械学習を用いた非虚血性心筋症の新たなリスク因子の探索	加藤真吾	循環器・腎臓・高血圧内科学	50万円	補 委	一般財団法人横浜総合医学振興財団 わかば研究助成
糖尿病性腎臓病・慢性腎臓病における新規血管新生因子の病態生理学的意義の検討	金岡知彦	循環器・腎臓・高血圧内科学	143万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(平成31年度-令和3年度)
中枢神経系における受容体結合性因子の病態生理学的意義	金口 翔	循環器・腎臓・高血圧内科学	143万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)研究活動スタート支援(令和元年度-令和2年度)
収縮機能の保持された心不全におけるSGLT2阻害薬のカルシウム過負荷および左室スティフネスへの影響と心不全発症抑制効果の検討	上村大輔	循環器・腎臓・高血圧内科学	50万円	補 委	公益財団法人朝日生命成人病研究所成人病研究助成
収縮性の保持された心不全におけるオステオプロテグリンの役割と治療ターゲットとしての可能性の探索	上村大輔	循環器・腎臓・高血圧内科学	37万円	補 委	横浜学術教育振興財団研究助成金
心筋障害後の年齢・時間的变化による免疫細胞の役割	木野旅人	循環器・腎臓・高血圧内科学	200万円	補 委	上原記念生命科学財団海外留学助成リサーチフェローシップ
腎尿細管における受容体随伴性プロレニン(RAP)系による循環調節の解明	木野旅人	循環器・腎臓・高血圧内科学	208万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(平成31年度-令和2年度)

小計18件

高血圧感受性遺伝子ATP2B1と動脈硬化の直接的関連の病態解明並びに治療戦略開発	小林雄祐	循環器・腎臓・高血圧内科学	104万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(平成31年度-令和3年度)
アンジオテンシン受容体機能調節因子による高血圧の新規治療戦略	小林 竜	循環器・腎臓・高血圧内科学	208万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(平成31年度-令和2年度)
受容体結合性機能選択的制御蛋白の新機能に着目した腎性老化の機序解明と制御治療開発	小林 竜	循環器・腎臓・高血圧内科学	10万円	補 委	科学研究費補助金 基盤研究(B)(平成30年度-令和3年度)
高齢心不全患者のフレイルに対する運動療法の効果に影響する因子の検討	小西正紹	循環器・腎臓・高血圧内科学	169万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(平成31年度-令和2年度)
皮膚組織の受容体結合性機能制御蛋白による心血管腎臓病の新規病態連関制御機構の解明	田村功一	循環器・腎臓・高血圧内科学	260万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦的研究(萌芽)(令和2年度-令和4年度)
受容体結合性機能選択的制御蛋白の新機能に着目した腎性老化の機序解明と制御治療開発	田村功一	循環器・腎臓・高血圧内科学	377万円	補 委	科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)(平成30年度-令和3年度)
高血圧-脳心血管病-腎臓病の病態関連の機序解明と新規治療開発をめざした研究	田村功一	循環器・腎臓・高血圧内科学	150万円	補 委	学長裁量事業「かもめプロジェクト」(平成30-令和5年度)
精緻な疾患レジストリーと遺伝・環境要因の包括的解析による糖尿病性腎臓病,慢性腎臓病の予後層別化と最適化医療の確立	田村功一	循環器・腎臓・高血圧内科学	240万円	補 委	日本医療研究開発機構(AMED)受託研究費
難治性副腎疾患の診療に直結するエビデンス創出	田村功一	循環器・腎臓・高血圧内科学	30万円	補 委	日本医療研究開発機構(AMED)受託研究費
COVID-19に関連した多剤併用の重症化・予後への影響の調査	田村功一	循環器・腎臓・高血圧内科学	150万円	補 委	日本医療研究開発機構(AMED)受託研究費
糖尿病性腎症,慢性腎臓病の重症化抑制に資する持続的・自律的エビデンス創出システムの構築と健康寿命延伸・医療最適化への貢献	田村功一	循環器・腎臓・高血圧内科学	100万円	補 委	日本医療研究開発機構(AMED)受託研究費
Post-corona/with-corona時代における持続可能な腎臓病・療養の堅牢な体制構築	田村功一	循環器・腎臓・高血圧内科学	80万円	補 委	厚生労働科学特別研究事業(厚生労働科学研究費補助金)
ドーパミン神経伝達物質機構の心不全および急性腎障害における解析	田村功一	循環器・腎臓・高血圧内科学	10万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(平成30年度-令和2年度)
糖尿病性腎臓病・慢性腎臓病における新規血管新生因子の病態生理学的意義の検討	田村功一	循環器・腎臓・高血圧内科学	10万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(平成31年度-令和3年度)
老化関連脳心血管病における受容体結合因子の病態生理学的意義	田村功一	循環器・腎臓・高血圧内科学	5万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(令和2年度-令和4年度)
病院前12誘導心電図の有用性の検証とその普及-神奈川循環器救急レジストリー研究-	田村功一	循環器・腎臓・高血圧内科学	1万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(令和2年度)
MMPやエクソソームによる心房細動進行の予測マーカーの探索	成川雅俊	循環器・腎臓・高血圧内科学	143万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)研究活動スタート支援(令和元年度-令和2年度)
致死的不整脈におけるSCN5A-Nedd4-2系の分子メカニズム解明	峯岸慎太郎	循環器・腎臓・高血圧内科学	247万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(令和2年度-令和3年度)

小計18件

老化関連脳心血管病における受容体結合因子の病態生理学的意義	涌井広道	循環器・腎臓・高血圧内科学	143万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C) (令和2年度-令和4年度)
受容体結合性機能選択的制御蛋白の新機能に着目した腎性老化の機序解明と制御治療開発	涌井広道	循環器・腎臓・高血圧内科学	10万円	補 委	科学研究費補助金 基盤研究(B) (平成30年度-令和3年度)
糖尿病性腎臓病・慢性腎臓病における新規血管新生因子の病態生理学的意義の検討	涌井広道	循環器・腎臓・高血圧内科学	10万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C) (平成31年度-令和3年度)
高血圧-脳心血管病-腎臓病の病態関連の機序解明と新規治療開発をめざした研究	涌井広道	循環器・腎臓・高血圧内科学	90万円	補 委	学長裁量事業「かもめプロジェクト」(平成30年度-令和5年度)
人工知能を用いた人工股関節全置換術における最適なインプラント設置に関する研究	稲葉 裕	整形外科学	429万円(65万円)	補 委	科学研究費補助金 基盤研究(C)
筋骨格・骨のイメージベース力学解析の有機的連携構築と骨疾患の治療戦略抽出への展開	稲葉 裕	整形外科学	1,360万円(30万円)	補 委	科学研究費補助金 基盤研究(B)
人工関節周囲感染における新しい診断の開発	稲葉 裕	整形外科学	364万円(52万円)	補 委	科学研究費補助金 基盤研究(C)
特発性大腿骨頭壊死症の医療水準及び患者のQOL向上に関する大規模多施設研究(H29-難治等(難)---般-053)	稲葉 裕	整形外科学	706万円(10万円)	補 委	厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)
大腿骨寛骨臼インピンジメントを含む股関節疾患の多施設疫学調査	稲葉 裕	整形外科学	350万円	補 委	日本整形外科学会プロジェクト研究
LIP.横浜推進プロジェクト	稲葉 裕	整形外科学	200万円	補 委	ライフイノベーション分野学連携等推進事業費補助金
人工関節周囲感染の診断と治療における人工知能(AI)によるアルゴリズム開発	稲葉 裕	整形外科学	500万円	補 委	ライフイノベーション分野学連携等推進事業費補助金「LIP.横浜推進プロジェクト」
mobile motion visualizer鑑(Akira)を用いた動作解析による運動器疾患の遠隔診断法の開発	崔 賢民	整形外科学	100万円	補 委	Lip横浜トライアル助成金(公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団)
全自動リアルタイムPCRおよび次世代シーケンサーを用いた人工股関節周囲感染の診断と病態の解明	崔 賢民	整形外科学	70万円	補 委	股関節研究助成(公益財団法人日本股関節研究振興財団)
自家心膜のグルタルアルデヒド処理と抗石灰化処理に関する研究	益田宗孝	外科治療学	55万円	補 委	文部科学省科学研究費 基礎研究(C), 2020年度
甲状腺未分化癌患者由来オルガノイドによる新規薬剤感受性予測とバイオマーカーの確立	菅沼伸康	外科治療学	70万円	補 委	文部科学省科学研究費 基礎研究(C), 2020年度
HCV感染とNASH病態進展の違い「C型肝炎の直接作用型抗ウイルス薬による治療後の病態変化に影響を及ぼす宿主因子等の同定を旨としたゲノムワイド研究」	中島 淳	肝胆膵消化器病学	70万円	補 委	令和2年度日本医療研究開発機構(AMED)受託研究費(R1-R3)
消化器疾患に関する専門的助言, 大学病院との連携「事業場において治療と仕事の両立を支援するための配慮とその決定プロセスに関する研究」	齋藤 聡	肝胆膵消化器病学	40万円	補 委	令和2年度厚生労働科学研究費補助金(労災疾病臨床研究事業費補助金)
ヒルシュブルング病類縁疾患(慢性特発性偽性腸閉塞症(CIIP), 成人期・移行期対応「難治性小児消化器疾患の医療水準向上および移行期・成人期のQOL向上に関する研究」	中島 淳	肝胆膵消化器病学	20万円	補 委	令和2年度厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等政策研究事業)

小計18件

ステージ別のNASH臨床検体の取得と臨床情報の解析「ヒト肝オルガノイドモデルを用いた内分泌系の破綻と炎症・線維化機構の解明」	中島 淳	肝胆膵消化器病学	180万円	補 委	令和2年度 革新的先端研究開発支援事業 (AMED-CREST, PRIME) (R2-R7)
バイオマーカーの体外診断薬承認に必要な血液検体の集積「タンパク質・ペプチド修飾解析による早期がん・リスク疾患診断のための血液バイオマーカーの開発」	加藤真吾	肝胆膵消化器病学	50万円	補 委	令和2年度 日本医療研究開発機構受託研究費 (AMED) 受託研究費
非アルコール性脂肪性肝炎のFocal cirrhosisと肝細胞癌の関連解明	米田正人	肝胆膵消化器病学	117万円	補 委	学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) (H30-R2年度 総額330万円)
オルガノイドを用いた大腸腫瘍化学予防効果の網羅的解析システムの開発	日暮琢磨	肝胆膵消化器病学	32万円	補 委	2019年度学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) (H30-R2年度 総額340万円)
メトホルミンによる膵がん化学予防の検討	細野邦広	肝胆膵消化器病学	100万円	補 委	学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) (H30-R2年度 総額340万円)
通常型膵癌に腫瘍浸潤T細胞を増加させる新規免疫療法の開発	加藤真吾	肝胆膵消化器病学	275万円	補 委	学術研究助成基金助成金 若手研究 (H31-R2年度 総額320万円)
非B非C肝発癌に対する腸内細菌を用いた予防効果の検討	結束貴臣	肝胆膵消化器病学	146万円	補 委	学術研究助成基金助成金若手研究 (H31-R2年度 総額320万円)
慢性偽性腸閉塞症の新規診断法: カラーマップMRIの開発	冬木晶子	肝胆膵消化器病学	308万円	補 委	学術研究助成基金助成金 若手研究 (H31-R2年度総額320万円)
非アルコール性脂肪性肝疾患を背景にした肝癌研究(新規モデルの作成および化学予防)	本多 靖	肝胆膵消化器病学	115万円	補 委	学術研究助成基金助成金 若手研究 (H30-R3年度総額320万円)
歯周病と口腔内細菌叢に着目した非アルコール性脂肪性肝炎-肺がん発症予防法の確立	中島 淳	肝胆膵消化器病学	13万円	補 委	基盤研究 (C) (神奈川歯科大 三辺正人(代)) (R1-R3年度 総額30万円)
歯周病と口腔内細菌叢に着目した非アルコール性脂肪性肝炎-肺がん発症予防法の確立	結束貴臣	肝胆膵消化器病学	13万円	補 委	基盤研究 (C) (神奈川歯科大 三辺正人(代)) (R1-R3年度 総額15万円)
大腸がんの転移におけるFusobacteriumの役割解明を目指した萌芽的研究	中島 淳	肝胆膵消化器病学	325万円	補 委	学術研究助成基金助成金 挑戦的研究(萌芽) (R1-R2年度 総額500万円)
メトホルミンとアスピリンを用いた大腸癌化学予防の開発	日暮琢磨	肝胆膵消化器病学	1,170万円	補 委	学術研究助成基金助成金 国際共同研究加速基金 国際共同研究強化(A) (R2-R3年度)
超音波内視鏡下エラストグラフィによる膵実質硬度測定方法の確立	佐藤高光	肝胆膵消化器病学	270万円	補 委	学術研究助成基金助成金 若手研究 (R2-R4年度 総額330万円)
膵IPMNにおける膵液オルガノイドを用いた診断法と創薬研究への応用	栗田裕介	肝胆膵消化器病学	100万円	補 委	学術研究助成基金助成金 若手研究 (R2-R4年度 総額280万円)
口腔内フローラを指標としたAI技術による全身疾患発症リスク予測システムの確立	結束貴臣	肝胆膵消化器病学	30万円	補 委	基盤研究 (B) (島根大 和田孝一郎(代)) (R元年-R2年度 総額60万円)
口腔内フローラを指標としたAI技術による全身疾患発症リスク予測システムの確立	中島 淳	肝胆膵消化器病学	40万円	補 委	基盤研究 (B) (島根大 和田孝一郎(代)) (R元年-R2年度 総額60万円)
肝細胞死により誘導される癌幹細胞化と癌悪性化のメカニズム	前田 慎	消化器内科学	195万円	補 委	令和元年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 基盤研究 (C) (令和元年-3年度)

小計18件

上皮-間葉転換を介した膵臓癌進展メカニズムと治療標的への可能性の検討			208万円	補 委	令和元年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(令和元年-3年度)
臨床検体の網羅的遺伝子解析による胃癌不均一性メカニズムの解明			117万円	補 委	令和元年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(令和元年-3年度)
エピジェネティックな変化を基盤とする新規胃発癌モデルの構築			195万円	補 委	令和元年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(令和元年-3年度)
新規PI3K亢進型肝内胆管癌マウスモデルの構築と、PI3K阻害薬の臨床応用に向けた基盤研究			50万円	補 委	一般財団法人横浜総合医学振興財団 わかば研究助成, 2020(令和2年度)
内視鏡検体と新規マウスモデルを用いた十二指腸腫瘍の統合的解析			50万円	補 委	一般財団法人横浜総合医学振興財団 わかば研究助成, 2020(令和2年度)

小計5件

合計303件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Akahoshi Y, Igarashi A, Fukuda T, Uchida N, Tanaka M, Ozawa Y, Kanda Y, Onizuka M, Ichinohe T, Tanaka J, Atsuta Y, Kako S	血液・免疫・感染症内科学	Adult Acute Lymphoblastic Leukemia Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation: Impact of graft-versus-host disease and graft-versus-leukemia effect based on minimal residual disease in Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia	Br J Haematol, 190(1):84-92, 2020	Original Article
2	Akahoshi Y, Nishiwaki S, Arai Y, Harada K, Najima Y, Kanda Y, Shono K, Ota S, Fukuda T, Uchida N, Shiratori S, Tanaka M, Tanaka J, Atsuta Y, Kako S	血液・免疫・感染症内科学	Reduced-intensity conditioning is a reasonable alternative for Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia among elderly patients who have achieved negative minimal residual disease: a report from the Adult Acute Lymphoblastic Leukemia Working Group of the JSHCT	Bone Marrow Transplant, 55(7):1317-1325, 2020	Case report
3	Ando T, Fujisawa S, Teshigawara H, Matsumura A, Sakuma T, Suzuki T, Teranaka H, Ogusa E, Ishii Y, Miyashita K, Takahashi H, Nakajima Y, Miyazaki T, Hagihara M, Matsumoto K, Yamazaki E, Nakajima H	血液・免疫・感染症内科学	Computed Tomography-Defined Sarcopenia: Prognostic Predictor of Nonrelapse Mortality After Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation: A Multicenter Retrospective Study	Int J Hematol, 112:46-56, 2020	Original Article
4	Ando T, Suzuki T, Ishiyama Y, Koyama S, Tachibana T, Tanaka M, Kanamori H, Nakajima H	血液・免疫・感染症内科学	Impact of Cytomegalovirus Reactivation and Natural Killer Reconstitution on Outcomes after Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation	A Single-Center Analysis. Biol Blood Marrow Transplant, 26(1): 171-177, 2020	Original Article
5	Ando T, Tachibana T, Tanaka M, Suzuki T, Ishiyama Y, Koyama S, Ogusa E, Numata A, Matsumoto K, Kanamori H, Nakajima H	血液・免疫・感染症内科学	Impact of graft sources on immune reconstitution and survival outcomes following allogeneic stem cell transplantation	Blood Adv, 4: 408-419, 2020	Original Article
6	Arima N, Kanda J, Yabe T, Morishima Y, Tanaka J, Kako S, Sakaguchi H, Kato M, Ohashi K, Ozawa Y, Fukuda T, Ota S, Tachibana T, Onizuka M, Ichinohe T, Atsuta Y, Kanda Y	血液・免疫・感染症内科学	Increased Relapse Risk of Acute Lymphoid Leukemia in Homozygous HLA-C1 Patients after HLA-Matched Allogeneic Transplantation: A Japanese National Registry Study	Biol Blood Marrow Transplant, 26(3):431-437, 2020	Original Article
7	Imahashi N, Terakura S, Kondo E, Kako S, Uchida N, Kobayashi H, Inamoto Y, Sakai H, Tanaka M, Ishikawa J, Kozai Y, Matsuoka KI, Kimura T, Fukuda T, Atsuta Y, Kanda J	血液・免疫・感染症内科学	Donor/Source Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation: Comparison of reduced-intensity/toxicity conditioning regimens for umbilical cord blood transplantation for lymphoid malignancies	Bone Marrow Transplant, 55(11): 2098-2108, 2020	Original Article
8	Ishida T, Kimura H, Ozaki S, Kubo K, Sunami K, Takezako N, Fujita H, Hayashi T, Kiguchi T, Ohashi K, Yamamoto S, Takamatsu H, Kosugi H, Ohta K, Sakai R, Handa H, Kondo S, Abe Y, Omoto E, Mitani K, Morita S, Murakami H, Shimizu K	血液・免疫・感染症内科学	Continuous lenalidomide treatment after bortezomib-melphalan-prednisolone therapy for newly diagnosed multiple myeloma	Ann Hematol, 99(5): 1063-1072, 2020	Original Article
9	Ito A, Kim SW, Matsuoka KI, Kawakita T, Tanaka T, Inamoto Y, Toubai T, Fujiwara SI, Fukaya M, Kondo T, Sugita J, Nara M, Katsuoka Y, Imai Y, Nakazawa H, Kawashima I, Sakai R, Ishii A, Onizuka M, Takemura T, Terakura S, Iida H, Nakamae M, Higuchi K, Tamura S, Yoshioka S, Togitani K, Kawano N, Suzuki R, Suzumiya J, Izutsu K, Teshima T, Fukuda T	血液・免疫・感染症内科学	Safety and efficacy of anti-programmed cell death-1 monoclonal antibodies before and after allogeneic hematopoietic cell transplantation for relapsed or refractory Hodgkin lymphoma: a multicenter retrospective study	Int J Hematol, 112(5): 674-689, 2020	Original Article
10	Iwasaki H, Toda S, Murayama D, Takahashi H	血液・免疫・感染症内科学	Three Cases of Anaplastic Thyroid Carcinoma Transformation and Leukocytosis during Lenvatinib Treatment	Case Rep Endocrinol, 2020: 6667237, doi: 10.1155/2020/6667237. eCollection 2020	Case report

小計10件

11	Fujita H, Ishikawa Y, Yokoyama Y	血液・免疫・感染症内科学	JSH practical guidelines for hematological malignancies, 2018: 1. Leukemia-2. Acute promyelocytic leukemia (APL)	Int J Hematol, 111(6): 747-760, 2020	Original Article
12	Hino M, Matsumura I, Fujisawa S, Ishizawa K, Ono T, Sakaida E, Sekiguchi N, Tanetsugu Y, Fukuhara K, Ohkura M, Koide Y, Takahashi N	血液・免疫・感染症内科学	Phase 2 Study of Bosutinib in Japanese Patients With Newly Diagnosed Chronic Phase Chronic Myeloid Leukemia	Int J Hematol, 112; 24-32, 2020	Original Article
13	Kaito S, Nakajima Y, Hara K, Toya T, Nishida T, Uchida N, Mukae J, Fukuda T, Ozawa Y, Tanaka M, Ikegame K, Katayama Y, Kuriyama T, Kanda J, Atsuta Y, Ogata M, Taguchi A, Ohashi K	血液・免疫・感染症内科学	Heterogeneous impact of cytomegalovirus reactivation on nonrelapse mortality in hematopoietic stem cell transplantation	Blood Adv, 4(6):1051-1061, 2020	Original Article
14	Kaito S, Najima Y, Harada K, Fukuda T, Noguchi Y, Ikegame K, Tanaka M, Ozawa Y, Yoshida S, Sawa M, Ota S, Inoue Y, Tanaka J, Ichinohe T, Atsuta Y, Kako S	血液・免疫・感染症内科学	Adult Acute Lymphoblastic Leukemia Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation: Allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for adult patients with B-cell acute lymphoblastic leukemia harboring t(1;19)(q23;p13. 3); comparison with normal karyotype	Bone Marrow Transplant, 55(7): 1337-1346, 2020	Original Article
15	Kako S, Kanda Y, Onizuka M, Aotsuka N, Usuki K, Tachibana T, Kobayashi T, Kato J, Yano S, Shimizu H, Shono K, Tanaka M, Tsukamoto S, Mori T, Yamazaki E, Najima Y, Hangaishi A, Hoshino T, Watanabe R, Matsumoto K, Okamoto S; for Kanto Study Group for Cell Therapy (KSGCT)	血液・免疫・感染症内科学	Allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for aplastic anemia with pre-transplant conditioning using fludarabine, reduced-dose cyclophosphamide, and low-dose thymoglobulin: A KSGCT prospective study	Am J Hematol, 95(3): 251-257, 2020	Original Article
16	Kanda J, Ando T, Kimura SI, Fujiwara SI, Imada K, Fujisawa S, Tachibana T, Atsuta Y, Kanda Y	血液・免疫・感染症内科学	Hematopoietic Stem Cell Transplantation From a Related Donor with Human Leukocyte Antigen 1-Antigen Mismatch in the Graft-Versus-Host Direction Using Low-dose Anti-thymocyte Globulin	Cell Transplant, 29: 1-12, 2020	Original Article
17	Kanda Y, Kimura SI, Iino M, Fukuda T, Sakaida E, Oyake T, Yamaguchi H, Fujiwara SI, Jo Y, Okamoto A, Fujita H, Takamatsu Y, Saburi Y, Matsumura I, Yamanouchi J, Shiratori S, Gotoh M, Nakamura S, Tamura K	血液・免疫・感染症内科学	Japan Febrile Neutropenia Study Group: D-Index-Guided Early Antifungal Therapy Versus Empiric Antifungal Therapy for Persistent Febrile Neutropenia: A Randomized Controlled Noninferiority Trial	J Clin Oncol, 38(8): 815-822, 2020	Original Article
18	Kawashima N, Ishikawa Y, Atsuta Y, Sawa M, Ozawa Y, Hayashi M, Kohno A, Tomita A, Maeda T, Sakaida E, Usuki K, Hagihara M, Kanamori H, Matsuoka H, Kobayashi M, Asou N, Ohtake S, Matsumura I, Miyazaki Y, Naoe T, Kiyoi H	血液・免疫・感染症内科学	Japan Adult Leukemia Study Group (JALSG): Allogeneic hematopoietic stem cell transplantation at the first remission for younger adults with FLT3-internal tandem duplication AML: The JALSG AML209-FLT3-SCT study	Cancer Sci, 111(7): 2472-2481, 2020	Original Article
19	Kato H, Takahashi H, Sano K, Nakajima H	血液・免疫・感染症内科学	Corynebacterium bacteremia in patients with hematological malignancies and other medical conditions	Clinical Infection in Practice, 7-8: 100040, 2020	Original Article
20	Kimura SI, Kanda Y, Iino M, Fukuda T, Sakaida E, Oyake T, Yamaguchi H, Fujiwara SI, Jo Y, Okamoto A, Fujita H, Takamatsu Y, Saburi Y, Matsumura I, Yamanouchi J, Shiratori S, Gotoh M, Nakamura S, Tamura K; Japan Febrile, Neutropenia Study Group	血液・免疫・感染症内科学	Efficacy and safety of micafungin in empiric and D-index-guided early antifungal therapy for febrile neutropenia; A subgroup analysis of the CEDMIC trial	Int J Infect Dis, 100: 292-297, 2020	Original Article
21	Kimura SI, Fujita H, Handa H, Hiramoto N, Hosono N, Minamiguchi H, Takahashi T, Kato H, Ono T, Kanda Y, Kiyoi H, Matsumura I, Miyazaki Y; Japan Adult Leukemia Study Group (JALSG)	血液・免疫・感染症内科学	Real-world management of infection during chemotherapy for acute leukemia in Japan: from the results of a nationwide questionnaire-based survey by the Japan Adult Leukemia Study Group	Int J Hematol, 112(3): 409-417, 2020	Original Article

小計11件

22	Konuma T, Kondo T, Mizuno S, Doki N, Aoki J, Teranaka H, Kato I, Miyazaki T, Enaka M, Ozawa Y, Morishige S, Matsuoka KI, Ichinohe T, Onizuka M, Kanda J, Atsuta Y, Yanada M	血液・免疫・感染症内科学	Adult Acute Myeloid Leukemia Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation: Conditioning Intensity for Allogeneic Hematopoietic Cell Transplantation in Acute Myeloid Leukemia Patients with Poor-Prognosis Cytogenetics in First Complete Remission	Biol Blood Marrow Transplant, 26(3): 463-471, 2020	Original Article
23	Kunimoto H, Fukuchi Y, Murakami K, Ikeda J, Teranaka H, Kato I, Miyazaki T, Enaka M, Mitsuhashi T, Yamazaki E, Kameyama K, Murata M, Okamoto S, Nakajima H	血液・免疫・感染症内科学	Establishment of a high-risk MDS/AML cell line YCU-AML1 and its xenograft model harboring t(3;3) and monosomy 7	HemaSphere, 4(5): e469, 2020	Original Article
24	Kurosawa S, Shimomura Y, Tachibana T, Ishiyama K, Ota S, Kobayashi T, Uchida N, Fukushima K, Ashida T, Matsuoka KI, Kanda J, Ichinohe T, Atsuta Y, Murata M, Aoki J	血液・免疫・感染症内科学	Outcome of Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation in Patients with Myelodysplastic/Myeloproliferative Neoplasms-Unclassifiable: A Retrospective Nationwide Study of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation	Biol Blood Marrow Transplant, 26(9):1607-1611, 2020	Original Article
25	Kusumoto S, Tanaka Y, Suzuki R, Watanabe T, Nakata M, Sakai R, Fukushima N, Fukushima T, Moriuchi Y, Itoh K, Nosaka K, Choi I, Sawa M, Okamoto R, Tsujimura H, Uchida T, Suzuki S, Okamoto M, Takahashi T, Sugiura I, Onishi Y, Kohri M, Yoshida S, Kojima M, Takahashi H, Tomita A, Atsuta Y, Maruyama D, Tanaka E, Suzuki T, Kinoshita T, Ogura M, Ueda R, Mizokami M	血液・免疫・感染症内科学	Ultra-high sensitivity HBsAg assay can diagnose HBV reactivation following rituximab-based therapy in patients with lymphoma	J Hepatol, 73(2): 285-293, 2020	Original Article
26	Matsumura A, Miyazaki T, Tachibana T, Ando T, Koyama M, Koyama S, Ishii Y, Takahashi H, Nakajima Y, Numata A, Yamamoto W, Motohashi K, Hagihara M, Matsumoto K, Fujisawa S, Nakajima H	血液・免疫・感染症内科学	Predictive values of early suppression of tumorigenicity 2 for acute GVHD and transplant-related complications after allogeneic stem cell transplantation: prospective observational study	Turk J Haematol, 20: 20-29, 2020	Original Article
27	Minamiguchi H, Fujita F, Atsuta Y, Asou N, Sakura T, Ueda Y, Sawa M, Dobashi N, Taniguchi Y, Suzuki R, Uchino Y, Tomita A, Tamaki S, Hagihara M, Fujimaki K, Yanada M, Maeda Y, Iwanaga M, Usui N, Kobayashi Y, Ohtake S, Kiyoi H, Matsumura I, Miyazaki Y, Naoe T, Akihiro A	血液・免疫・感染症内科学	Japan Adult Leukemia Study Group: Predictors of early death, serious hemorrhage, and differentiation syndrome in Japanese patients with acute promyelocytic leukemia	Ann Hematol, 99: 2787-2800, 2020	Original Article
28	Miyao K, Terakura S, Kimura F, Konuma T, Miyamura K, Yanada M, Kako S, Morishima S, Uchida N, Toya T, Ozawa Y, Fukuda T, Tanaka M, Sawa M, Takada S, Yoshida S, Kimura T, Ichinohe T, Atsuta Y, Kanda J	血液・免疫・感染症内科学	Donor/Source Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation: Updated Comparison of 7/8 HLA Allele-Matched Unrelated Bone Marrow Transplantation and Single-Unit Umbilical Cord Blood Transplantation as Alternative Donors in Adults with Acute Leukemia	Biol Blood Marrow Transplant, 26(11): 2105-2114, 2020	Original Article
29	Miyazaki K, Asano N, Yamada T, Miyawaki K, Sakai R, Igarashi T, Nishikori M, Ohata K, Sunami K, Yoshida I, Yamamoto G, Takahashi N, Okamoto M, Yano H, Nishimura Y, Tamaru S, Nishikawa M, Izutsu K, Kinoshita T, Suzumiya J, Ohshima K, Kato K, Katayama N, Yamaguchi M	血液・免疫・感染症内科学	DA-EPOCH-R combined with high-dose methotrexate in patients with newly diagnosed stage II-IV CD5-positive diffuse large B-cell lymphoma: a single-arm, open-label, phase II study	Haematologica, 105(9): 2308-2315, 2020	Original Article
30	Nakajima K, Kato H, Yamashiro T, Izumi T, Takeuchi I, Nakajima H, Utsunomiya D	血液・免疫・感染症内科学	COVID-19 Pneumonia: Infection Protection and Protocol at CT Suite	Jpn J Radiol, 38(5): 391-393, 2020	Original Article
31	Nagasawa R, Hara Y, Miyazaki T, Murohashi K, Watanabe H, Kaneko T	血液・免疫・感染症内科学	An autopsy case of ventilator-associated tracheobronchitis caused by Corynebacterium species complicated with diffuse alveolar damage	Respir Med Case Rep, 31: 101208, 2020	Original Article
32	Ohwada C, Sakaida E, Igarashi A, Kobayashi T, Doki N, Mori T, Kato J, Koda Y, Kanamori H, Tanaka M, Tachibana T, Fujisawa S, Nakajima Y, Numata A, Toyosaki M, Aoyama Y, Onizuka M, Hagihara M, Koyama S, Kanda Y, Nakasone H, Shimizu H, Kato S, Watanabe R, Shono K, Sakai R, Saito T, Nakaseko C, Okamoto S	血液・免疫・感染症内科学	A Prospective, Longitudinal Observation of the Incidence, Treatment, and Survival of Late Acute and Chronic Graft-versus-host disease by National Institutes of Health Criteria in a Japanese cohort	Biol Blood Marrow Transplant, 26: 162-170, 2020	Original Article

小計11件

33	Sato E, Iriyama N, Tokuhira M, Takaku T, Ishikawa M, Nakazato T, Sugimoto KJ, Fujita H, Kimura Y, Fujioka I, Asou N, Komatsu N, Kizaki M, Hatta Y, Kawaguchi T	血液・免疫・感染症内科学	The EUTOS long-term survival score predicts disease-specific mortality and molecular responses among patients with chronic myeloid leukemia in a practice-based cohort	Cancer Med, 9(23): 8931-8939, 2020	Original Article
34	Suzuki M, Muroi A, Nojima M, Numata A, Takasaki H, Sakai R, Yokose T, Miyagi Y, Koshikawa N	血液・免疫・感染症内科学	Utility of a Reverse Phase Protein Array to Evaluate Multiple Biomarkers in Diffuse Large B-Cell Lymphoma	Proteomics Clin Appl, 14(1): e1900091, 2020	Original Article
35	Tachibana T, Kanda J, Ishizaki T, Najima Y, Tanaka M, Doki N, Fujiwara SI, Kimura SI, Onizuka M, Takahashi S, Saito T, Mori T, Fujisawa S, Sakaida E, Matsumoto K, Aotsuka N, Gotoh M, Watanabe R, Shono K, Usuki K, Tsukada N, Kanamori H, Kanda Y, Okamoto S; Kanto Study Group for Cell Therapy (KSGCT)	血液・免疫・感染症内科学	Outcomes and prognostic factors for patients with relapsed or refractory acute lymphoblastic leukemia who underwent allogeneic hematopoietic cell transplantation: a KSGCT multicenter analysis	Biol Blood Marrow Transplant, 26:998-1004, 2020	Original Article
36	Tachibana T, Ishizaki T, Takahashi S, Najima Y, Kimura SI, Sakaida E, Onizuka M, Mori T, Fujisawa S, Fujiwara SI, Saito T, Hagihara M, Aotsuka N, Gotoh M, Usuki K, Tsukada N, Kanda J, Kanamori H, Kanda Y, Okamoto S; Kanto Study Group for Cell Therapy (KSGCT)	血液・免疫・感染症内科学	Allogeneic hematopoietic cell transplantation in patients with untreated acute myeloid leukemia: a KSGCT multicenter retrospective analysis	Bone Marrow Transplant, 55:1497-1501, 2020	Original Article
37	Tachibana T, Najima Y, Akahoshi Y, Hirabayashi S, Harada K, Doki N, Uchida N, Fukuda T, Sawa M, Ogata M, Takada S, Tanaka M, Matsuhashi Y, Tanaka J, Onizuka M, Ichinohe T, Atsuta Y, Kako S; Adult ALL Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation	血液・免疫・感染症内科学	The impacts of BCR-ABL1 mutations in patients with Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia who underwent allogeneic hematopoietic cell transplantation	Ann Hematol, 99(10): 2393-2404, 2020	Original Article
38	Takeshita A, Asou N, Atsuta Y, Furumaki H, Sakura T, Ueda Y, Sawa M, Dobashi N, Taniguchi Y, Suzuki R, Nakagawa M, Tamaki S, Hagihara M, Fujimaki K, Minamiguchi H, Fujita H, Yanada M, Maeda Y, Usui N, Kobayashi Y, Kiyoi H, Ohtake S, Matsumura I, Naoe T, Miyazaki Y	血液・免疫・感染症内科学	The Japan Adult Leukemia Study Group: Impact of CD56 Continuously Recognizable as Prognostic Value of Acute Promyelocytic Leukemia: Results of Multivariate Analyses in the Japan Adult Leukemia Study Group (JALSG)-APL204 Study and a Review of the Literature	Cancers, 12: 1444, 2020	Original Article
39	Tomita S, Kikuti Y, Carreras J, Sakai R, Takata K, Yoshino T, Bea S, Campo E, Missiaglia E, Bouilly J, Letourneau A, de Leval L, Nakamura N	血液・免疫・感染症内科学	Monomorphic Epitheliotropic Intestinal T-Cell Lymphoma in Asia Frequently Shows SETD2 Alterations	Cancers (Basel), 12(12): 3539, 2020	Original Article
40	Yamasaki S, Aoki J, Mori J, Mizuno S, Uchida N, Ohashi K, Fukuda T, Ikegame K, Eto T, Ogawa Y, Tanaka M, Hidaka M, Iwato K, Sawa M, Ichinohe T, Kanda Y, Atsuta Y, Yanada M, Yano S	血液・免疫・感染症内科学	Adult Acute Myeloid Leukemia Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation: Better disease control before allogeneic stem cell transplantation is crucial to improve the outcomes of transplantation for acute myeloid leukemia patients with extramedullary disease	Bone Marrow Transplant, 55(1): 249-252, 2020	Original Article
41	Yamasaki S, Mori J, Kanda J, Imahashi N, Uchida N, Doki N, Tanaka M, Katayama Y, Eto T, Ozawa Y, Takada S, Onizuka M, Hino M, Kanda Y, Fukuda T, Atsuta Y, Yanada M	血液・免疫・感染症内科学	Effect of allogeneic HCT from unrelated donors in AML patients with intermediate- or poor-risk cytogenetics: a retrospective study from the Japanese Society for HCT	Ann Hematol, 99(12): 2927-2937, 2020	Original Article
42	Yanada M, Konuma T, Yamasaki S, Kuwatsuka Y, Masuko M, Tanaka M, Ozawa Y, Toya T, Fukuda T, Ota S, Sawa M, Uchida N, Nakamae H, Eto T, Kanda J, Takanashi M, Kanda Y, Atsuta Y, Yano S	血液・免疫・感染症内科学	Time-Varying Effects of Graft Type on Outcomes for Patients with Acute Myeloid Leukemia Undergoing Allogeneic Hematopoietic Cell Transplantation	Biol Blood Marrow Transplant, 26(2): 307-315, 2020	Original Article
43	Yanada M, Takami A, Yamasaki S, Arai Y, Konuma T, Uchida N, Najima Y, Fukuda T, Tanaka M, Ozawa Y, Ikegame K, Takanashi M, Ichinohe T, Okamoto S, Atsuta Y, Yano S	血液・免疫・感染症内科学	Allogeneic hematopoietic cell transplantation for adults with acute myeloid leukemia conducted in Japan during the past quarter century	Ann Hematol, 99(6): 1351-1360, 2020	Original Article

44	Yanada M, Fukuda T, Tanaka M, Ota S, Toya T, Mori T, Uchida N, Ozawa Y, Nakamae H, Kanda Y, Ichinohe T, Atsuta Y, Yano S	血液・免疫・感染症内科学	Long-term results of reduced-intensity conditioning allogeneic hematopoietic cell transplantation for older patients with acute myeloid leukemia: a retrospective analysis of 10-year follow-up data	Bone Marrow Transplant, 55(10): 2008–2016, 2020	Original Article
45	Yokoyama H, Morishima Y, Fuji S, Uchida N, Takahashi S, Onizuka M, Tanaka M, Yuju O, Eto T, Ozawa Y, Takada S, Takanashi M, Kato K, Kanda Y, Ichinohe T, Atsuta Y, Kanda J; HLA Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation	血液・免疫・感染症内科学	Impact of HLA Allele Mismatch at HLA-A, -B, -C, and -DRB1 in Single Cord Blood Transplantation	Biol Blood Marrow Transplant, 26(3): 519–528, 2020	Original Article
46	Yokoyama H, Takenaka K, Nishida T, Seo S, Shinohara A, Uchida N, Tanaka M, Takahashi S, Onizuka M, Kozai Y, Yasuhiro S, Ozawa Y, Katsuoka Y, Doki N, Sawa M, Kimura T, Kanda J, Fukuda T, Atsuta Y, Nakasone H	血液・免疫・感染症内科学	Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation Transplantation-Related Complication Working Group: Favorable Effect of Cytomegalovirus Reactivation on Outcomes in Cord Blood Transplant and Its Differences Among Disease Risk or Type	Biol Blood Marrow Transplant, 26(7): 1363–1370, 2020	Original Article
47	Kato H, Takahashi H, Sano K, Nakajima H	血液・免疫・感染症内科学	Corynebacterium bacteremia in patients with hematological malignancies and other medical conditions	Clinical Infection in Practice, 7-8: 100040, 2020	Original Article
48	Kunimoto H, Fukuchi Y, Murakami K, Ikeda J, Teranaka H, Kato I, Miyazaki T, Enaka M, Mitsuhashi T, Yamazaki E, Kameyama K, Murata M, Okamoto S, Nakajima H	血液・免疫・感染症内科学	Establishment of a high-risk MDS/AML cell line YCU-AML1 and its xenograft model harboring t(3;3) and monosomy 7	HemaSphere, 4(5): e469, 2020	Original Article
49	Nakajima H	血液・免疫・感染症内科学	Molecular Pathogenesis and Treatment of Myelodysplastic Syndromes	Intern Med. 2021 Jan 1;60(1):15–23. doi: 10.2169/internalmedicine.4214-19. Epub 2020 Feb 1	Original Article
50	Asano S, Mikami T, Matsubara S, Maegawa J, Wakui H, Tamura K, Yoshimi R	血液・免疫・感染症内科学	Preliminary report: the relevance of tumor necrosis factor- α in acquired primary lymphedema — a histopathological investigation	Lymphat Res Biol, 18(3): 232–238, 2020	Original Article
51	Furukawa H, Oka S, Kawasaki A, Hidaka M, Shimada K, Kondo Y, Ihata A, Matsushita T, Matsumoto T, Hashimoto A, Matsumoto I, Komiya A, Kobayashi K, Osada A, Katayama M, Okamoto A, Setoguchi K, Kono H, Hamaguchi Y, Matsui T, Fukui N, Tamura H, Takehara K, Nagaoka S, Sugii S, Sumida T, Tsuchiya N, & Tohma S	血液・免疫・感染症内科学	Human leukocyte antigen in Japanese patients with idiopathic inflammatory myopathy	Modern Rheumatology, 30(4): 696–702, 2020	Original Article
52	Kunishita Y, Yoshimi R, Kamiyama R, Kishimoto D, Yoshida K, Hashimoto E, Komiya T, Sakurai N, Sugiyama Y, Kirino Y, Ozato K, Nakajima H	血液・免疫・感染症内科学	TRIM21 Dysfunction Enhances Aberrant B-Cell Differentiation in Autoimmune Pathogenesis	Frontiers in Immunology, 11(98):2020	Original Article
53	Mizuki Y, Horita N, Horie Y, Takeuchi M, Ishido T, Mizuki R, Kawagoe T, Shibuya E, Yuda K, Ishido M, Minegishi K, Yoshimi R, Kirino Y, Kato S, Arimoto J, Fukumoto T, Kurosawa M, Kitaichi N, Takeno M, Kaneko T, Mizuki N	血液・免疫・感染症内科学	The influence of HLA-B51 on clinical manifestations among Japanese patients with Behçet's disease: a nationwide survey	Mod Rheumatol, 30(4): 708–714, 2020	Original Article
54	Mitsuhashi M, Yoshimi R, Kishimoto D, Hidekawa C, Iizuka Y, Sakurai N, Kamiyama R, Kirino Y, Mizuki N, Nakajima H	血液・免疫・感染症内科学	Refractory optic perineuritis related to granulomatosis with polyangiitis treated with intensive immunosuppressive therapy combined with plasma exchange	Mod Rheumatol Case Rep, 4(1): 84–89, 2020	Original Article

小計11件

55	Nagaoka S, Katayama K, Kasama T, Sato M, Ohno S, Amasaki Y, Kataoka H, Furusaki A, Kon Y, Okamoto M, Sasano M, Sagawa A	血液・免疫・感染症内科学	Weekly split-dose regimen for oral methotrexate reduced polyglutamation in red blood cells in patients with rheumatoid arthritis compared with single-dose regimen: Results from a multicentered randomized control trial	Int J Rheum Dis, 23(10): 1328-1336, 2020	Original Article
56	Sugiyama Y, Yoshimi R, Takeno M, Kunishita Y, Kishimoto D, Kamiyama R, Kirino Y, Ohno S, Nakajima H	血液・免疫・感染症内科学	miR-1 is a novel biomarker for polymyositis/dermatomyositis-associated interstitial lung disease	Mod Rheumatol, 30(5): 878-883, 2020	Original Article
57	Tanaka Y, Oba K, Koike T, Miyasaka N, Mimori T, Takeuchi T, Hirata S, Tanaka E, Yasuoka H, Kaneko Y, Murakami K, Koga T, Nakano K, Amano K, Ushio K, Atsumi T, Inoo M, Hatta K, Mizuki S, Nagaoka S, Tsunoda S, Dobashi H, Horie N, Sato N	血液・免疫・感染症内科学	Sustained discontinuation of infliximab with a raising-dose strategy after obtaining remission in patients with rheumatoid arthritis: the RRRR study, a randomised controlled trial	Ann Rheum Dis, 79(1): 94-102, 2020	Original Article
58	Yamashita K, Kawasaki A, Matsushita T, Furukawa H, Kondo Y, Okiyama N, Nagaoka S, Shimada K, Sugii S, Katayama M, Hirohata S, Okamoto A, Chiba N, Suematsu E, Setoguchi K, Migita K, Sumida T, Tohma S, Hamaguchi Y, Hasagawa M, Sato S, Kawaguchi Y, Takehara K, Tsuchiya N	血液・免疫・感染症内科学	Association of functional(GA)n microsatellite polymorphism in the FLI1 gene with susceptibility to human systemic sclerosis	Rheumatology, 59(11):3553-3562, 2020	Original Article
59	Doi Y, Hibino M, Hase R, Yamamoto M, Kasamatsu Y, Hirose M, Mutoh Y, Homma Y, Terada M, Ogawa T, Kashizaki F, Yokoyama T, Koba H, Kasahara H, Yokota K, Kato H, Yoshida J, Kita T, Kato Y, Kamio T, Kodama N, Uchida Y, Ikeda N, Shinoda M, Nakagawa A, Nakatsumi H, Horiguchi T, Iwata M, Matsuyama A, Banno S, Koseki T, Teramachi M, Miyata M, Tajima S, Maeki T, Nakayama E, Taniguchi S, Lin CK, Saijo M, Imai T, Yoshida H, Kabata D, Shintani A, Yuzawa Y, Kondo M	血液・免疫・感染症内科学	A prospective, randomized, open-label trial of early versus late favipiravir in hospitalized patients with COVID-19	Antimicrob Agents Chemother, 64(12):e01897-2, 2020	Original Article
60	Ogawa F, Kato H, Nakajima K, Nakagawa T, Matsumura R, Oi Y, Sakai K, Uchiyama M, Ohyama Y, Abe T, Takeuchi I	血液・免疫・感染症内科学	Therapeutic Strategy for Severe COVID-19 Pneumonia from Clinical Experience	European Journal of Inflammation, 18: 1-10, 2020	Original Article
61	Ogawa F, Kato H, Sakai K, Nakamura K, Ogawa M, Uchiyama M, Nakajima K, Ohyama Y, Abe T, Takeuchi I	血液・免疫・感染症内科学	Environmental maintenance with effective and useful zoning to protect patients and medical staff from COVID-19 infection	Acute Med Surg, 7(1):e536, 2020	Original Article
62	Kimura S, Fujita H, Handa H, Hiramoto N, Hosono N, Minamiguchi H, Takahashi T, Kato H, Ono T, Kanda Y, Kiyoi H, Matsumura I, Miyazaki Y; Japan Adult Leukemia Study Group (JALSG)	血液・免疫・感染症内科学	Real-world management of infection during chemotherapy for acute leukemia in Japan: from the results of a nationwide questionnaire-based survey by the Japan Adult Leukemia Study Group	Int J Hematol, 112(3): 409-417, 2020	Original Article
63	Kato H, Shimizu H, Shibue Y, Hosoda T, Iwabuchi K, Nagamine K, Saito H, Sawada R, Oishi T, Tsukiji J, Fujita H, Furuya R, Masuda M, Akasaka O, Ikeda Y, Sakamoto M, Sakai K, Uchiyama M, Watanabe H, Yamaguchi N, Higa R, Sasaki A, Tanaka K, Toyoda Y, Hamaoka S, Miyazawa N, Shimizu A, Fukase F, Iwai S, Komase Y, Kawasaki T, Nagata I, Nakayama Y, Takei T, Kimura K, Kunisaki R, Kudo M, Takeuchi I, Nakajima H	血液・免疫・感染症内科学	Clinical Course of 2019 Novel Coronavirus Disease (COVID-19) in Individuals Present During the Outbreak on the Diamond Princess Cruise Ship	J Infect Chemother, 26(8): 865-869, 2020	Original Article
64	Grein J, Grein J, Ohmagari N, Shin D, Diaz G, Asperges E, Castagna A, Feldt T, Green G, Green ML, Lescure FX, Nicastri E, Oda R, Yo K, Quiros-Roldan E, Studemeister A, Redinski J, Ahmed S, Bernetti J, Chelliah D, Chen D, Chihara S, Cohen SH, Cunningham J, D'Arminio Monforte A, Ismail S, Kato H, Lapadula G, L'Her E, Maeno T, Majumder S, Massari M, Mora-Rillo M, Mutoh Y, Nguyen D, Verweij E, Zoufaly A, Osinusi AO, DeZure A, Zhao Y, Zhong L, Chokkalingam A, Elboudwarej E, Telep L, Timbs L, Henne I, Sellers S, Cao H, Tan SK, Winterbourne L, Desai P, Mera R, Gagar A, Myers RP, Brainard DM, Childs R, Flanigan T	血液・免疫・感染症内科学	Compassionate Use of Remdesivir for Patients with Severe Covid-19	New Engl J Med, 382(24): 2327-2336, 2020	Original Article

65	Nakajima K, Kato H, Yamashiro T, Izumi T, Takeuchi I, Nakajima H, Utsunomiya D	血液・免疫・感染症内科学	COVID-19 pneumonia: infection control protocol inside computed tomography suites	Japanese Journal of Radiology, 38(5): 391-393, 2020	Original Article
66	Watanabe Y, Yamaguchi Y, Watanabe Y, Asami M, Takamura N, Watanabe T, Kato H, Aihara M	血液・免疫・感染症内科学	HIV-associated psoriasis with fasciitis and arthritis successfully treated using antiretroviral therapy	J Dermatol, 47(11): e386-e387, 2020	Original Article
67	Nakajima K, Ogawa F, Sakai K, Uchiyama M, Oyama Y, Kato H, Takeuchi I	血液・免疫・感染症内科学	A Case of Coronavirus Disease 2019 Treated With Ciclesonide	Mayo Clin Proc, 95(6): 1296-1297, 2020	Original Article
68	Endo I, Watanabe J: Hospital volume, failure to rescue, and surgeon skills	消化器・腫瘍外科学	What is a good indicator of a quality hospital?	Ann Gastroenterol Surg, 4(6): 606-607, 2020	Original Article
69	Matsuyama R, Yabusita Y, Homma Y, Kumamoto T, Endo I	消化器・腫瘍外科学	Essential updates 2019/2020: Surgical treatment of gallbladder cancer	Ann Gastroenterol Surg, 5(2): 152-161, 2021	Original Article
70	Matsuyama R, Matsuo K, Mori R, Sugita M, Yamaguchi N, Kubota T, Kameda K, Mochizuki Y, Takagawa R, Kadokura T, Matsuda G, Kamiya N, Endo I	消化器・腫瘍外科学	Incidental Gallbladder Cancer on Cholecystectomy: Strategy for Re-resection of Presumed Benign Diseases from a Retrospective Multicenter Study by the Yokohama Clinical Oncology Group	In Vivo, 35(2): 1217-1225, 2021	Original Article
71	Ishibe A, Watanabe J, Suwa Y, Suzuki S, Nakagawa K, Suwa H, Ozawa M, Ota M, Fujii S, Ike H, Ichikawa Y, Endo I	消化器・腫瘍外科学	Oncological outcomes of lateral lymph node dissection (LLND) for locally advanced rectal cancer: is LLND alone sufficient?	Int J Colorectal Dis, 36(2): 293-301, 2021	Original Article
72	Yamada A, Suzuki C, Shima H, Kida K, Adachi S, Yamamoto S, Narui K, Tanabe M, Shimizu D, Taniguchi R, Oshi M, Takabe K, Miyagi Y, Ichikawa Y, Ishikawa T, Endo I	消化器・腫瘍外科学	Aldehyde Dehydrogenase 1-related Genes in Triple-negative Breast Cancer Investigated Using Network Analysis	Anticancer Res, 40(12): 6733-6742, 2020	Original Article
73	Yamada A, Narui K, Satake T, Adachi S, Tanabe M, Shimizu D, Ishikawa T, Endo I	消化器・腫瘍外科学	Long-Term Outcomes of Immediate Autologous Breast Reconstruction for Breast Cancer Patients	J Surg Res, 251: 78-84, 2020	Original Article
74	Yamada A, Nakazawa K, Akazawa K, Narui K, Endo I, Hasegawa Y, Kohno N, Ishikawa T; JONIE STUDY GROUP	消化器・腫瘍外科学	Impact of the Relative Dose Intensity of Neoadjuvant Chemotherapy With Anthracycline Followed by Taxane on the Survival of Patients With Human Epidermal Growth Factor Receptor 2-negative Breast Cancer: The JONIE1 Study	Anticancer Res, 41(2): 1063-1068, 2021	Original Article
75	Fukuoka H, Fukunaga Y, Minami H, Miyanari S, Suzuki S, Nagasaki T, Akiyoshi T, Konishi T, Fujimoto Y, Nagayama S, Ueno M	消化器・腫瘍外科学	Needlescopic surgery for very low rectal cancer with no abdominal skin incision	Asian J Endosc Surg, 13(2): 180-185, 2020	Original Article
76	Oshi M, Katsuta E, Yan L, Ebos JML, Rashid OM, Matsuyama R, Endo I, Takabe K	消化器・腫瘍外科学	A Novel 4-gene Score to Predict Survival, Distant Metastasis and Response to Neoadjuvant Therapy in Breast Cancer	Cancers (Basel), 12(5) : 1148, 2020	Original Article
77	Oshi M, Tokumaru Y, Patel A, Yan L, Matsuyama R, Endo I, Katz MHG, Takabe K	消化器・腫瘍外科学	A Novel Four-Gene Score to Predict Pathologically Complete (R0) Resection and Survival in Pancreatic Cancer	Cancers (Basel), 12(12): 3635, 2020	Original Article
78	Oshi M, Asaoka M, Tokumaru Y, Angarita FA, Yan L, Matsuyama R, Zsiros E, Ishikawa T, Endo I, Takabe K	消化器・腫瘍外科学	Abundance of Regulatory T Cell (Treg) as a Predictive Biomarker for Neoadjuvant Chemotherapy in Triple-Negative Breast Cancer	Cancers (Basel), 12(10): 3038, 2020	Original Article

小計14件

79	Oshi M, Asaoka M, Tokumaru Y, Yan L, Matsuyama R, Ishikawa T, Endo I, Takabe K	消化器・腫瘍外科学	CD8 T Cell Score as a Prognostic Biomarker for Triple Negative Breast Cancer	Int J Mol Sci, 21(18): 6968, 2020	Original Article
80	Oshi M, Tokumaru Y, Angarita FA, Yan L, Matsuyama R, Endo I, Takabe K	消化器・腫瘍外科学	Degree of Early Estrogen Response Predict Survival after Endocrine Therapy in Primary and Metastatic ER-Positive Breast Cancer	Cancers (Basel), 12(12): 3557, 2020	Original Article
81	Oshi M, Takahashi H, Tokumaru Y, Yan L, Rashid OM, Matsuyama R, Endo I, Takabe K	消化器・腫瘍外科学	G2M Cell Cycle Pathway Score as a Prognostic Biomarker of Metastasis in Estrogen Receptor (ER)-Positive Breast Cancer	Int J Mol Sci, 21(8): 2921, 2020	Original Article
82	Oshi M, Newman S, Tokumaru Y, Yan L, Matsuyama R, Endo I, Katz MHG, Takabe K	消化器・腫瘍外科学	High G2M Pathway Score Pancreatic Cancer is Associated with Worse Survival, Particularly after Margin-Positive (R1 or R2) Resection	Cancers (Basel), 12(10): 2871, 2020	Original Article
83	Oshi M, Newman S, Tokumaru Y, Yan L, Matsuyama R, Endo I, Nagahashi M, Takabe K	消化器・腫瘍外科学	Intra-Tumoral Angiogenesis Is Associated with Inflammation, Immune Reaction and Metastatic Recurrence in Breast Cancer	Int J Mol Sci, 21(18): 6708, 2020	Original Article
84	Oshi M, Newman S, Murthy V, Tokumaru Y, Yan L, Matsuyama R, Endo I, Takabe K	消化器・腫瘍外科学	ITPKC as a Prognostic and Predictive Biomarker of Neoadjuvant Chemotherapy for Triple Negative Breast Cancer	Cancers (Basel), 12(10): 2758, 2020	Original Article
85	Oshi M, Tokumaru Y, Asaoka M, Yan L, Satyananda V, Matsuyama R, Matsuhashi N, Futamura M, Ishikawa T, Yoshida K, Endo I, Takabe K	消化器・腫瘍外科学	M1 Macrophage and M1/M2 ratio defined by transcriptomic signatures resemble only part of their conventional clinical characteristics in breast cancer	Sci Rep, 10(1): 16554, 2020	Original Article
86	Oshi M, Newman S, Tokumaru Y, Yan L, Matsuyama R, Kalinski P, Endo I, Takabe K	消化器・腫瘍外科学	Plasmacytoid Dendritic Cell (pDC) Infiltration Correlate with Tumor Infiltrating Lymphocytes, Cancer Immunity, and Better Survival in Triple Negative Breast Cancer (TNBC) More Strongly than Conventional Dendritic Cell (cDC)	Cancers (Basel), 12(11): 3342, 2020	Original Article
87	Oshi M, Takahashi H, Tokumaru Y, Yan L, Rashid OM, Nagahashi M, Matsuyama R, Endo I, Takabe K	消化器・腫瘍外科学	The E2F Pathway Score as a Predictive Biomarker of Response to Neoadjuvant Therapy in ER+/HER2- Breast Cancer	Cells, 9(7): 1643, 2020	Original Article
88	Oshi M, Angarita FA, Tokumaru Y, Yan L, Matsuyama R, Endo I, Takabe K	消化器・腫瘍外科学	High Expression of NRF2 Is Associated with Increased Tumor-Infiltrating Lymphocytes and Cancer Immunity in ER-Positive/HER2-Negative Breast Cancer	Cancers, 12(12): 3856, 2020	Original Article
89	Gandhi S, Elkhanany A, Oshi M, Dai T, Opyrchal M, Mohammadpour H, Repasky EA, Takabe K	消化器・腫瘍外科学	Contribution of Immune Cells to Glucocorticoid Receptor Expression in Breast Cancer	Int J Mol Sci, 21(13): 4635, 2020	Original Article
90	Oshi M, Kim TH, Tokumaru Y, Yan L, Matsuyama R, Endo I, Cherkassky L, Takabe K	消化器・腫瘍外科学	Enhanced DNA Repair Pathway is Associated with Cell Proliferation and Worse Survival in Hepatocellular Carcinoma (HCC)	Cancers (Basel), 13(2): 323, 2021	Original Article
91	Oshi M, Huyser MR, Le L, Tokumaru Y, Yan L, Matsuyama R, Endo I, Takabe K	消化器・腫瘍外科学	Abundance of Microvascular Endothelial Cells Is Associated with Response to Chemotherapy and Prognosis in Colorectal Cancer	Cancers (Basel), 13(6): 1477, 2021	Original Article
92	Oshi M, Tokumaru Y, Mukhopadhyay S, Yan L, Matsuyama R, Endo I, Takabe K	消化器・腫瘍外科学	Annexin A1 Expression Is Associated with Epithelial-Mesenchymal Transition (EMT), Cell Proliferation, Prognosis, and Drug Response in Pancreatic Cancer	Cells, 10(3): 653, 2021	Original Article

小計14件

93	Takahashi T, Kawaji H, Murakawa Y, Hayashizaki Y, Murakami T, Yabushita Y, Homma Y, Kumamoto T, Matsuyama R, Endo I	消化器・腫瘍外科学	Significance of HMGA2 expression as independent poor prognostic marker in perihilar and distal cholangiocarcinoma resected with curative intent	Eur J Surg Oncol, 47(2): 394–400, 2021	Original Article
94	Abe Y, Kumamoto T, Nakayama G, Miyake K, Yabushita Y, Sawada Y, Homma Y, Takeda K, Matsuyama R, Endo I	消化器・腫瘍外科学	A case of triple digestive tract reconstruction in chronic pancreatitis complicated with bile ductal stenosis, duodenal stenosis, and portal vein stenosis: a case report	Surg Case Rep, 6(1): 116, 2020	Case report
95	Matsuki H, Hiroshima Y, Miyake K, Murakami T, Homma Y, Matsuyama R, Morioka D, Kurotaki D, Tamura T, Endo I	消化器・腫瘍外科学	Reduction of gender-associated M2-like tumor-associated macrophages in the tumor microenvironment of patients with pancreatic cancer after neoadjuvant chemoradiotherapy	J Hepatobiliary Pancreat Sci, 28(2): 174–182, 2021	Original Article
96	Yamamoto J, Murata T, Tashiro Y, Higuchi T, Sugisawa N, Nishino H, Inubushi S, Sun YU, Lim H, Miyake K, Hongo A, Nomura T, Saitoh W, Moriya T, Tanino H, Hozumi C, Bouvet M, Singh SR, Endo I, Hoffman RM	消化器・腫瘍外科学	A Triple-negative Matrix-producing Breast Carcinoma Patient-derived Orthotopic Xenograft (PDOX) Mouse Model Is Sensitive to Bevacizumab and Vinorelbine, Regressed by Eribulin and Resistant to Olaparib	Anticancer Res, 40(5): 2509–2514, 2020	Original Article
97	Yamamoto J, Sugisawa N, Hamada K, Nishino H, Miyake K, Matsuyama R, Inubushi S, Tanino H, Bouvet M, Endo I, Hoffman RM	消化器・腫瘍外科学	A Universal Gelfoam 3-D Histoculture Method to Establish Patient-derived Cancer Cells (3D-PDCC) Without Fibroblasts from Patient-derived Xenografts	Anticancer Res, 40(12): 6765–6768, 2020	Original Article
98	Yamamoto J, Murata T, Sugisawa N, Higuchi T, Tashiro Y, Nishino H, Inubushi S, Sun Y, Lim H, Miyake K, Shimoya K, Nomura K, Kurebayashi J, Tanino H, Hozumi C, Bouvet M, Singh SR, Endo I, Hoffman RM	消化器・腫瘍外科学	Eribulin Regresses a Cisplatin-resistant Rare-type Triple-negative Matrix-producing Breast Carcinoma Patient-derived Orthotopic Xenograft Mouse Model	ANTICANCER RESEARCH, 40(5): 2475–2479, 2020	Original Article
99	Yamamoto J, Han Q, Inubushi S, Sugisawa N, Hamada K, Nishino H, Miyake K, Kumamoto T, Matsuyama R, Bouvet M, Endo I, Hoffman RM	消化器・腫瘍外科学	Histone methylation status of H3K4me3 and H3K9me3 under methionine restriction is unstable in methionine-addicted cancer cells, but stable in normal cells	Biochem Biophys Res Commun, 533(4): 1034–1038, 2020	Original Article
100	Yamamoto J, Miyake K, Han Q, Tan Y, Inubushi S, Sugisawa N, Higuchi T, Tashiro Y, Nishino H, Homma Y, Matsuyama R, Chawla SP, Bouvet M, Singh SR, Endo I, Hoffman RM	消化器・腫瘍外科学	Oral recombinant methioninase increases TRAIL receptor-2 expression to regress pancreatic cancer in combination with agonist tigatuzumab in an orthotopic mouse model	Cancer Lett, 492: 174–184, 2020	Original Article
101	Yamamoto J, Aoki Y, Han Q, Sugisawa N, Sun YU, Hamada K, Nishino H, Inubushi S, Miyake K, Matsuyama R, Bouvet M, Endo I, Hoffman RM	消化器・腫瘍外科学	Reversion from Methionine Addiction to Methionine Independence Results in Loss of Tumorigenic Potential of Highly-malignant Lung-cancer Cells	Anticancer Res, 41(2): 641–643, 2021	Original Article
102	Chida K, Watanabe J, Hirasawa K, Inayama Y, Misumi T, Kunisaki C, Endo I	消化器・腫瘍外科学	A novel risk-scoring system for predicting lymph node metastasis of rectal neuroendocrine tumors	Ann Gastroenterol Surg, 4(5): 562–570, 2020	Original Article
103	Sahara K, Tsilimigras DI, Pawlik TM	消化器・腫瘍外科学	ASO Author Reflections: Trends in the Number of Lymph Nodes Evaluated Following Resection of Pancreatic Neuroendocrine Tumors—An Increasing Adoption of the AJCC Guidelines?	Ann Surg Oncol, 27(4): 1213–1214, 2020	Original Article
104	Sahara K, Tsilimigras DI, Mehta R, Moro A, Paredes AZ, Lopez-Aguilar AG, Rocha F, Kanji Z, Weber S, Fisher A, Fields RC, Krasnick BA, Idrees K, Smith PM, Poultsides GA, Makris E, Cho C, Beems M, Dillhoff M, Maithel SK, Endo I, Pawlik TM	消化器・腫瘍外科学	Correction To: Trends in the Number of Lymph Nodes Evaluated Among Patients With Pancreatic Neuroendocrine Tumors in the United States: A Multi-Institutional and National Database Analysis	Ann Surg Oncol, 27(Suppl 3): 969, 2020	Original Article
105	Sahara K, Tsilimigras DI, Paredes AZ, Farooq SA, Hyer JM, Moro A, Mehta R, Wu L, Endo I, Ejaz A, Cloyd J, Pawlik TM	消化器・腫瘍外科学	Development and validation of a real-time mortality risk calculator before, during and after hepatectomy: an analysis of the ACS NSQIP database	HPB (Oxford), 22(8): 1158–1167, 2020	Original Article

小計12件

106	Sahara K, Merath K, Hyer JM, Tsilimigras DI, Paredes AZ, Farooq A, Mehta R, Wu L, Beal EW, White S, Endo I, Pawlik TM	消化器・腫瘍外科学	Impact of Surgeon Volume on Outcomes and Expenditure Among Medicare Beneficiaries Undergoing Liver Resection: the Effect of Minimally Invasive Surgery	J Gastrointest Surg, 24(7): 1520-1529, 2020	Original Article
107	Sahara K, Merath K, Hyer JM, Paredes AZ, Tsilimigras DI, Mehta R, Farooq SA, Moro A, Wu L, White S, Endo I, Pawlik TM	消化器・腫瘍外科学	Impact of Preoperative Cholangitis on Short-term Outcomes Among Patients Undergoing Liver Resection	J Gastrointest Surg, 24(11): 2508-2516, 2020	Original Article
108	Sahara K, Tsilimigras DI, Mehta R, Moro A, Paredes AZ, Lopez-Aguilar AG, Rocha F, Kanji Z, Weber S, Fisher A, Fields R, Krasnick BA, Idrees K, Smith PM, Poultides GA, Makris E, Cho C, Beems M, Dillhoff M, Maithel SK, Endo I, Pawlik TM	消化器・腫瘍外科学	Trends in the Number of Lymph Nodes Evaluated Among Patients with Pancreatic Neuroendocrine Tumors in the United States: A Multi-Institutional and National Database Analysis	Ann Surg Oncol, 27(4): 1203-1212, 2020	Original Article
109	Tsilimigras DI, Sahara K, Moris D, Mehta R, Paredes AZ, Ratti F, Marques HP, Soubrane O, Lam V, Poultides GA, Popescu I, Alexandrescu S, Martel G, Workneh A, Guglielmi A, Hugh T, Aldrighetti L, Weiss M, Bauer TW, Maithel SK, Pulitano C, Shen F, Koerkamp BG, Endo I, Pawlik TM	消化器・腫瘍外科学	Assessing Textbook Outcomes Following Liver Surgery for Primary Liver Cancer Over a 12-Year Time Period at Major Hepatobiliary Centers	Ann Surg Oncol, 27(9): 3318-3327, 2020	Original Article
110	Tsilimigras DI, Sahara K, Wu L, Moris D, Bagante F, Guglielmi A, Aldrighetti L, Weiss M, Bauer TW, Alexandrescu S, Poultides GA, Maithel SK, Marques HP, Martel G, Pulitano C, Shen F, Soubrane O, Koerkamp BG, Moro A, Sasaki K, Aucejo F, Zhang XF, Matsuyama R, Endo I, Pawlik TM	消化器・腫瘍外科学	Very Early Recurrence After Liver Resection for Intrahepatic Cholangiocarcinoma: Considering Alternative Treatment Approaches	JAMA Surg, 155(9): 823-831, 2020	Original Article
111	Sahara K, Tsilimigras DI, Kikuchi Y, Ethun CG, Maithel SK, Abbott DE, Poultides GA, Hatzaras I, Fields RC, Weiss M, Scoggins C, Isom CA, Idrees K, Shen P, Yabushita Y, Matsuyama R, Endo I, Pawlik TM	消化器・腫瘍外科学	Defining and Predicting Early Recurrence after Resection for Gallbladder Cancer	Ann Surg Oncol, 28(1): 417-425, 2021	Original Article
112	Sahara K, Tsilimigras DI, Moro A, Mehta R, Dillhoff M, Heidsma CM, Lopez-Aguilar AG, Maithel SK, Rocha FG, Kanji Z, Abbott DE, Fisher A, Fields RC, Krasnick BA, Idrees K, Smith PM, Poultides GA, Makris E, Cho CS, Beems M, Endo I, Pawlik TM	消化器・腫瘍外科学	Long-Term Outcomes after Spleen-Preserving Distal Pancreatectomy for Pancreatic Neuroendocrine Tumors: Results from the US Neuroendocrine Study Group	Neuroendocrinology, 111(1-2): 129-138, 2021	Original Article
113	Sahara K, Watanabe J, Ishibe A, Goto K, Takei S, Suwa Y, Suwa H, Ota M, Kunisaki C, Endo I	消化器・腫瘍外科学	Optimal extent of central lymphadenectomy for right-sided colon cancers: is lymphadenectomy beyond the superior mesenteric vein meaningful?	Surg Today, 51(2): 268-275, 2021	Original Article
114	Sahara K, Paredes AZ, Tsilimigras DI, Sasaki K, Moro A, Hyer JM, Mehta R, Farooq SA, Wu L, Endo I, Pawlik TM	消化器・腫瘍外科学	Machine learning predicts unpredicted deaths with high accuracy following hepatopancreatic surgery	Hepatobiliary Surg Nutr, 10(1): 20-30, 2021	Original Article
115	Toritani K, Watanabe J, Suwa Y, Nakagawa K, Suwa H, Ishibe A, Ota M, Kunisaki C, Yamanaka T, Endo I	消化器・腫瘍外科学	A prospective, single-arm, multicenter trial of neoadjuvant chemotherapy with mFOLFOX6 plus panitumumab without radiotherapy for locally advanced rectal cancer	Int J Colorectal Dis, 35(12): 2197-2204, 2020	Original Article
116	Toritani K, Sugita M, Shimizu A, Watanabe A, Ono HA, Baba H	消化器・腫瘍外科学	Cholecystitis with abdominal wall biloma after percutaneous transhepatic gallbladder aspiration: A case report	Int J Surg Case Rep, 75: 276-278, 2020	Case report
117	Makiyama K.	泌尿器科学	Editorial Comment to Robot-assisted partial nephrectomy versus standard laparoscopic partial nephrectomy for renal hilar tumor: A prospective multi-institutional study	Int J Urol. 2021 Apr;28(4):389. doi: 10.1111/iju.14501. Epub 2021 Jan 18. PMID: 33459415	Original Article
118	Makiyama K, Osaka K, Araki A, Ohtake S, Tatenuma T, Nagasaka M, Yamada T, Yao M	泌尿器科学	How to reduce the risk of organ injuries during surgical instrument insertion in laparoscopic surgery: Pushing/pressing force analysis using forceps with sensors	Asian J Endosc Surg. 2021 Jul;14(3):504-510. doi: 10.1111/ases.12904. Epub 2020 Nov 30. PMID: 33258261	Original Article

119	Makiyama K, Tatenuma T, Ohtake S, Suzuki A, Muraoka K, Yao M	泌尿器科学	Clinical use of a patient-specific simulator for patients who were scheduled for robot-assisted laparoscopic partial nephrectomy	Int J Urol. 2021 Jan;28(1):130-132. doi: 10.1111/iju.14413. Epub 2020 Nov 2. PMID: 33140511	Original Article
120	Hayashi N, Osaka K, Muraoka K, Hasumi H, Makiyama K, Kondo K, Nakaigawa N, Yao M, Mukai Y, Sugiura M, Takano S, Ito E, Kaizu H, Koike I, Hata M, Taguri M, Miyoshi Y, Izumi K, Kawahara T, Uemura H	泌尿器科学	Outcomes of treatment for localized prostate cancer in a single institution: comparison of radical prostatectomy and radiation therapy by propensity score matching analysis	World J Urol,38(10):2477-2484,2020	Original Article
121	Hayashi N, Osaka K, Muraoka K, Hasumi H, Makiyama K, Kondo K, Nakaigawa N, Yao M, Mukai Y, Sugiura M, Takano S, Ito E, Kaizu H, Koike I, Hata M, Taguri M, Miyoshi Y, Izumi K, Kawahara T, Uemura H	泌尿器科学	Outcomes of treatment for localized prostate cancer in a single institution: comparison of radical prostatectomy and radiation therapy by propensity score matching analysis	World J Urol,38(10):2477-2484,2020	Original Article
122	Ishidera Y, Yoshida H, Oi Y, Katayama K, Miyagi E, Hayashi H, Shigeta H	産婦人科学	Analysis of uterine corporeal mesenchymal tumors occurring after menopause	Analysis of uterine corporeal mesenchymal tumors occurring after menopause	Original Article
123	Suzuki Y, Sukegawa A, Nishikawa A, Kubota K, Motoki Y, Asai-Sato M, Ueda Y, Sekine M, Enomoto T, Hirahara F, Yamanaka T, Miyagi E	産婦人科学	Current knowledge of and attitudes toward human papillomavirus-related disease prevention among Japanese: A large-scale questionnaire study	J Obstet Gynaecol Res, 45(5): 994-1005, 2019	Original Article
124	Hayashi T, Hos D, Schrittenlocher S, Siebelmann S, Matthaei M, Franklin J, Claesen T, Bock F, Bachmann B, Cursiefen C	眼科学	Effect of Iris Color on the Outcome of Descemet Membrane Endothelial Keratoplasty	Cornea, 39: 846-850, 2020	Original Article
125	Hayashi T, Schrittenlocher S, Siebelmann S, Le VNH, Matthaei M, Franklin J, Bachmann B, Cursiefen C	眼科学	Risk factors for endothelial cell loss after Descemet membrane endothelial keratoplasty (DMEK)	Scientific Reports, 10: 11086, 2020	Original Article
126	Hayashi T, Ida Y, Shimizu T, Kuroki T, Kobashigawa Y, Iijima Y, Yuda K	眼科学	Pars plana vitrectomy combined with penetrating keratoplasty and transscleral-sutured intraocular lens implantation in complex eyes: a case series	BMC Ophthalmol, 20(1): 369, 2020	Original Article
127	Hayashi T, Kobayashi A, Takahashi H, Oyakawa I, Kato N, Yamaguchi T	眼科学	Optical characteristics after Descemet membrane endothelial keratoplasty: 1-year results	Plos One, 15(10): e0240458, 2020	Original Article
128	Teshigawara T, Meguro A, Mizuki N	眼科学	Suction Break During Femtosecond Laser-Assisted Cataract Surgery and Misplaced Laser Beam Delivery to the Corneal Layers	Int Med Case Rep J, 13: 643-650, 2020	Original Article
129	Teshigawara T, Meguro A, Mizuki N	眼科学	Nd: YAG Laser Accidentally Hitting the Corneal Layers During Treatment of Posterior Capsule Opacification After Cataract Surgery and Its Postoperative Process	Int Med Case Rep J, 13: 449-453, 2020	Original Article
130	Teshigawara T, Meguro A, Mizuki N	眼科学	A Comparison Between Monofocal and Multifocal Intraocular Lenses in the Influence of Pupil Dilation on Target Postoperative Refraction	Asia Pac J Ophthalmol, 9(5): 420-425, 2020	Original Article
131	Teshigawara T, Meguro A, Mizuki N	眼科学	Influence of pupil dilation on the Barrett universal II (new generation), Haigis (4th generation), and SRK/T (3rd generation) intraocular lens calculation formulas: a retrospective study	BMC Ophthalmol, 20(1): 299, 2020	Original Article
132	Ishihara M, Meguro A, Ishido M, Takeuchi M, Shibuya E, Mizuki N	眼科学	Usefulness of combined measurement of serum soluble IL-2R and angiotensin converting enzyme in the detection of uveitis associated with Japanese sarcoidosis	Clinical Ophthalmology, 14: 2311-2317, 2020	Original Article

小計14件

133	Meguro A, Ishihara M, Petrek M, Yamamoto K, Takeuchi M, Mrazek F, Kolek V, Benicka A, Yamane T, Shibuya E, Yoshino A, Isomoto A, Ota M, Yatsu K, Shijubo N, Nagai S, Yamaguchi E, Yamaguchi T, Namba K, Kaburaki T, Takase H, Morimoto S, Hori J, Kono K, Goto H, Suda T, Ikushima S, Ando Y, Takenaka S, Takeuchi M, Yuasa T, Sugisaki K, Ohguro N, Hiraoka M, Kitaichi N, Sugiyama Y, Horita N, Asukata Y, Kawagoe T, Kimura I, Ishido M, Inoko H, Mochizuki M, Ohno S, Bahram S, Elaine F. Remmers, Daniel L. Kastner, Mizuki N	眼科学	Genetic control of CCL24, POR, and IL23R contributes to the pathogenesis of sarcoidosis	Commun Biol, 3(1): 465, 2020	Original Article
134	Mizuki Y, Horita N, Horie Y, Takeuchi M, Ishido T, Mizuki R, Kawagoe T, Shibuya E, Yuda K, Ishido M, Minegishi K, Yoshimi R, Kirino Y, Kato S, Arimoto J, Fukumoto T, Kurosawa M, Kitaichi N, Takeno M, Kaneko T, Mizuki N	眼科学	The influence of HLA-B51 on clinical manifestations among Japanese patients with Behcet's disease: A nationwide survey	Mod Rheumatol, 30(4): 708-714, 2020	Original Article
135	Sakono T, Meguro A, Takeuchi M, Yamane T, Teshigawara T, Kitaichi N, Horie Y, Namba K, Ohno S, Nakao K, Sakamoto T, Sakai T, Nakano T, Keino H, Okada A A, Takeda A, Ito T, Mashimo H, Ohguro N, Oono S, Enaida H, Okinami S, Horita N, Ota M, Mizuki N	眼科学	Variants in IL23R-C1orf141 and ADO-ZNF365-EGR2 are associated with susceptibility to Vogt-Koyanagi-Harada disease in Japanese population	PLoS One, 15(5): e0233464, 2020	Original Article
136	Kato H, Takeuchi M, Horita N, Ishido T, Mizuki R, Kawagoe T, Shibuya E, Yuda K, Ishido M, Mizuki Y, Hayashi T, Meguro A, Kirino Y, Minegishi K, Nakano H, Yoshimi R, Kurosawa M, Fukumoto T, Takeno M, Hotta K, Kaneko T, Mizuki N	眼科学	HLA-A26 is a risk factor for Behcet's disease ocular lesions	Mod Rheumatol, 31(1):214-218, 2021	Original Article
137	Kusakabe A, Nozato K, Hirano K, Saitou N, Ikenaga K, Mikan H, Kessoku T, Matuura T, Yoshimi A, Mawatari H, Naito A, Okita M, Ohta M, Morita T, Inamori I	総合診療科	Guidebook on Doctors' Behaviors for Death Diagnosis Created by Community Healthcare Providers' Changed Residents' Mind for Death Diagnosis	J Palliat Care 2020 Aug 25;825859720951698. Epub 2020 Aug 25	Original Article
138	Arai Y, Sano D, Takahashi M, Nishimura G, Sakamaki K, Sakuma N, Komatsu M, Oridate N	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Sphenoid sinus development in patients with acquired middle ear cholesteatoma	Auris Nasus Larynx. 47:391-400, 2020	Original Article
139	Nakayama M, Orosco RK, Holsinger FC, Spriano G, Succo G, De Virgilio A, Oridate N	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Endoscopic Transoral Hybrid Supracricoid Partial Laryngectomy with Cricohyoidoepiglottopexy	Ann Otol Rhinol Laryngol. 129(3):273-279, 2020	Original Article
140	Sano D, Matsushima K, Isono Y, Ikui Y, Kinutani Y, Chiba Y, Hirose H, Oridate N	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Long-term treatment outcome of type 1 thyroplasty using novel titanium medialization laryngoplasty implant combined with arytenoid adduction for unilateral vocal cord paralysis: single-arm interventional study at a single institution	Laryngoscope Investig Otolaryngol. 5(5):895-902, 2020	Original Article
141	Horita N, Katakura S, Takeshi K	化学療法センター	Combination treatment options for small-cell lung cancer	Lancet Oncol. 2021 Mar;22(3):e83. doi: 10.1016/S1470-2045(21)00008-5	Original Article
142	Fukumoto T, Fukumoto R, Magno E, Oka M, Nishigori C, Horita N	化学療法センター	Treatments for alopecia areata: A systematic review and network meta-analysis	Dermatol Ther. 2021 May;34(3):e14916. doi: 10.1111/dth.14916. Epub 2021 Mar 4	Original Article
143	Lin X, Deng H, Chen L, Wu D, Chen X, Yang Y, Chen T, Xie X, Xie Z, Liu M, Ouyang M, Qin Y, Li S, Zhong N, Gregg JP, Horita N, Song Y, Zhou C	化学療法センター	Clinical types of checkpoint inhibitor-related pneumonitis in lung cancer patients: a multicenter experience	Transl Lung Cancer Res. 2021 Jan;10(1):415-429. doi: 10.21037/tlcr-20-1258	Original Article
144	Ebina-Shibuya R, Namkoong H, Horita N, Kato H, Hara Y, Kobayashi N, Kaneko T	化学療法センター	Hydroxychloroquine and chloroquine for treatment of coronavirus disease 19 (COVID-19): a systematic review and meta-analysis of randomized and non-randomized controlled trials	J Thorac Dis. 2021 Jan;13(1):202-212. doi: 10.21037/jtd-20-2022	Original Article

145	Horita N, Fukuda N, Kaneko T	化学療法センター	Atezolizumab for PD-L1-Selected Patients with NSCLC	N Engl J Med. 2021 Feb 11;384(6):583-584. doi: 10.1056/NEJMc2032432	Original Article
146	Kobayashi N, Katakura S, Kamimaki C, Somekawa K, Fukuda N, Tanaka K, Watanabe K, Horita N, Hara Y, Piao H, Kaneko T	化学療法センター	Resistance mechanisms of epidermal growth factor receptor tyrosine kinase inhibitors in non-small cell lung cancer patients: A meta-analysis	Thorac Cancer. 2021 Apr;12(7):1096-1105. doi: 10.1111/1759-7714.13878. Epub 2021 Feb 9	Original Article
147	Tateishi Y, Horita N, Namkoong H, Enomoto T, Takeda A, Kaneko T	化学療法センター	Postoperative Radiotherapy for Completely Resected Masaoka/Masaoka-Koga Stage II/III Thymoma Improves Overall Survival: An Updated Meta-Analysis of 4746 Patients	J Thorac Oncol. 2021 Apr;16(4):677-685. doi: 10.1016/j.jtho.2020.12.023. Epub 2021 Jan 27	Original Article
148	Chen H, Horita N, Matsumoto H, Namkoong H, Hara Y, Kobayashi N, Kaneko T	化学療法センター	ABO blood group as a risk factor for tuberculosis: A network meta-analysis	Int J Infect Dis. 2021 Mar;104:701-707. doi: 10.1016/j.ijid.2021.01.057. Epub 2021 Jan 27	Original Article
149	Chen H, Horita N, Ito K, Nagakura H, Hara Y, Kobayash N, Yamamoto M, Kudo M, Kaneko T	化学療法センター	Systematic review of first-line chemotherapy for chemo-naïve extensive-stage small-cell lung cancer: network meta-analysis	Ther Adv Med Oncol. 2020 Oct 17;12:1758835920965841. doi: 10.1177/1758835920965841. eCollection 2020	Original Article
150	Horita N, Chen H, Takeshi K	化学療法センター	Carboplatin plus etoposide for sensitive relapsed small-cell lung cancer	Lancet Oncol. 2020 Dec;21(12):e545. doi: 10.1016/S1470-2045(20)30613-6	Original Article
151	Chen H, Horita N, Ito K, Hara Y, Kobayashi N, Kaneko T	化学療法センター	Hazard ratio of progression-free survival is an excellent predictor of overall survival in phase III randomized controlled trials evaluating the first-line chemotherapy for extensive-disease small-cell lung cancer	Transl Lung Cancer Res. 2020 Aug;9(4):1333-1342. doi: 10.21037/tlcr-20-377	Original Article
152	Aoki A, Hara Y, Okudela K, Ishikawa Y, Doshita K, Hashimoto H, Nakashima K, Horita N, Kobayashi N, Kaneko T	化学療法センター	Unusual lung involvements of invasive mucinous adenocarcinoma with chylothorax	Thorac Cancer. 2020 Nov;11(11):3407-3408. doi: 10.1111/1759-7714.13665. Epub 2020 Sep 18	Original Article
153	Chen H, Hara Y, Horita N, Saigusa Y, Hirai Y, Kaneko T	化学療法センター	Declined Functional Status Prolonged Hospital Stay for Community-Acquired Pneumonia in Seniors	Clin Interv Aging. 2020 Aug 27;15:1513-1519. doi: 10.2147/CIA.S267349. eCollection 2020	Original Article
154	Katakura S, Kobayashi N, Hashimoto H, Kamimaki C, Tanaka K, Kubo S, Nakashima K, Teranishi S, Manabe S, Watanabe K, Horita N, Hara Y, Yamamoto M, Kudo M, Piao H, Kaneko T	化学療法センター	MicroRNA-200b is a potential biomarker of the expression of PD-L1 in patients with lung cancer	Thorac Cancer. 2020 Oct;11(10):2975-2982. doi: 10.1111/1759-7714.13653. Epub 2020 Sep 7	Original Article
155	Ebina-Shibuya R, Horita N, Namkoong H, Kaneko T	化学療法センター	Current national policies for infant universal bacille Calmette-Guérin vaccination were associated with lower mortality from coronavirus disease 2019	Clin Exp Vaccine Res. 2020 Jul;9(2):179-182. doi: 10.7774/cevr.2020.9.2.179. Epub 2020 Jul 31	Original Article
156	Meguro A, Ishihara M, Petrek M, Yamamoto K, Takeuchi M, Mrazek F, Kolek V, Benicka A, Yamane T, Shibuya E, Yoshino A, Isomoto A, Ota M, Yatsu K, Shijubo N, Nagai S, Yamaguchi E, Yamaguchi T, Namba K, Kaburaki T, Takase H, Morimoto SI, Hori J, Kono K, Goto H, Suda T, Ikushima S, Ando Y, Takenaka S, Takeuchi M, Yuasa T, Sugisaki K, Ohguro N, Hiraoka M, Kitaichi N, Sugiyama Y, Horita N, Asukata Y, Kawagoe T, Kimura I, Ishido M, Inoko H, Mochizuki M, Ohno S, Bahram S, Remmers EF, Kastner DL, Mizuki N	化学療法センター	Genetic control of CCL24, POR, and IL23R contributes to the pathogenesis of sarcoidosis	Commun Biol. 2020 Aug 21;3(1):465. doi: 10.1038/s42003-020-01185-9	Original Article
157	Kubota M, Moriguchi S, Takahata K, Nakajima S, Horita N	化学療法センター	Treatment effects on neurometabolite levels in schizophrenia: A meta-analysis dataset of proton magnetic resonance spectroscopy	Data Brief. 2020 Jun 16;31:105862. doi: 10.1016/j.dib.2020.105862. eCollection 2020 Aug	Original Article

小計13件

158	Ebina-Shibuya R, Horita N, Namkoong H, Kaneko T	化学療法センター	National policies for paediatric universal BCG vaccination were associated with decreased mortality due to COVID-19	Respirology. 2020 Aug;25(8):898-899. doi: 10.1111/resp.13885. Epub 2020 Jun 18	Original Article
159	Kubota M, Moriguchi S, Takahata K, Nakajima S, Horita N	化学療法センター	Treatment effects on neurometabolite levels in schizophrenia: A systematic review and meta-analysis of proton magnetic resonance spectroscopy studies	Schizophr Res. 2020 Aug;222:122-132. doi: 10.1016/j.schres.2020.03.069. Epub 2020 Jun 3	Original Article
160	Kobayashi N, Hashimoto H, Kamimaki C, Nagasawa R, Tanaka K, Kubo S, Katakura S, Chen H, Hirama N, Ushio R, Aoki A, Nakashima K, Teranishi S, Manabe S, Watanabe H, Horita N, Watanabe K, Hara Y, Yamamoto M, Kudo M, Piao H, Kaneko T	化学療法センター	Afatinib + bevacizumab combination therapy in EGFR-mutant NSCLC patients with osimertinib resistance: Protocol of an open-label, phase II, multicenter, single-arm trial	Thorac Cancer. 2020 Aug;11(8):2125-2129. doi: 10.1111/j.1759-7714.13503. Epub 2020 Jun 3	Original Article
161	Sakono T, Meguro A, Takeuchi M, Yamane T, Teshigawara T, Kitaichi N, Horie Y, Namba K, Ohno S, Nakao K, Sakamoto T, Sakai T, Nakano T, Keino H, Okada AA, Takeda A, Ito T, Mashimo H, Ohguro N, Oono S, Enaida H, Okinami S, Horita N, Ota M, Mizuki N	化学療法センター	Variants in IL23R-C1orf141 and ADO-ZNF365-EGR2 are associated with susceptibility to Vogt-Koyanagi-Harada disease in Japanese population	PLoS One. 2020 May 21;15(5):e0233464. doi: 10.1371/journal.pone.0233464. eCollection 2020	Original Article
162	Horita N, Takeshi K	化学療法センター	Thrombomodulin Did Not Benefit Acute Exacerbation of Idiopathic Pulmonary Fibrosis in a Trial	Am J Respir Crit Care Med. 2020 Jul 1;202(1):150-151. doi: 10.1164/rccm.202003-0494LE	Original Article
163	Kato H, Takeuchi M, Horita N, Ishido T, Mizuki R, Kawagoe T, Shibuya E, Yuda K, Ishido M, Mizuki Y, Hayashi T, Meguro A, Kirino Y, Minegishi K, Nakano H, Yoshimi R, Kurosawa M, Fukumoto T, Takeno M, Hotta K, Kaneko T, Mizuki N	化学療法センター	HLA-A26 is a risk factor for Behçet's disease ocular lesions	Mod Rheumatol. 2021 Jan;31(1):214-218. doi: 10.1080/14397595.2019.1705538. Epub 2020 Jan 4	Original Article
164	Mizuki Y, Horita N, Horie Y, Takeuchi M, Ishido T, Mizuki R, Kawagoe T, Shibuya E, Yuda K, Ishido M, Minegishi K, Yoshimi R, Kirino Y, Kato S, Arimoto J, Fukumoto T, Kurosawa M, Kitaichi N, Takeno M, Kaneko T, Mizuki N	化学療法センター	The influence of HLA-B51 on clinical manifestations among Japanese patients with Behçet's disease: A nationwide survey	Mod Rheumatol. 2020 Jul;30(4):708-714. doi: 10.1080/14397595.2019.1649103. Epub 2019 Aug 6	Original Article
165	Togashi H,Shimosato Y,Saida K,Miyake N,Nakamura T,Ito S	リハビリテーション科学	Childhood Nephrotic Syndrome Complicated by Catastrophic Multiple Arterial Thrombosis Requiring Bilateral Above-Knee Amputation	Frontiers in pediatrics;8:107-107,2020	Original Article
166	Tsuchida N, Kunishita Y, Uchiyama Y, Kirino Y, Enaka M, Yamaguchi Y, Taguri M, Yamanaka S, Takase-Minegishi K, Yoshimi R, Fujii S, Nakajima H, Matsumoto N	難病ゲノム診断科	Pathogenic UBA1 variants associated with VEXAS syndrome in Japanese patients with relapsing polychondritis	Ann Rheum Dis. 2021 Mar 31;annrheumdis-2021-220089. doi: 10.1136/annrheumdis-2021-220089	Original Article
167	Aoi H, Lei M, Mizuguchi T, Nishioka N, Goto T, Miyama S, Suzuki T, Iwama K, Uchiyama Y, Mitsuhashi S, Itakura A, Takeda S, Matsumoto N	難病ゲノム診断科	Nonsense variants of STAG2 result in distinct congenital anomalies	Hum Genome Var, 7: 26, 2020. doi: 10.1038/s41439-020-00114-w	Original Article
168	Aoi H, Mizuguchi T, Suzuki T, Makino S, Yamamoto Y, Takeda J, Maruyama Y, Seyama R, Takeuchi S, Uchiyama Y, Azuma Y, Hamanaka K, Fujita A, Koshimizu E, Miyatake S, Mitsuhashi S, Takata A, Miyake N, Takeda S, Itakura A, Matsumoto N	難病ゲノム診断科	Whole exome sequencing of fetal structural anomalies detected by ultrasonography	J Hum Genet, 2020. doi: 10.1038/s10038-020-00869-8	Original Article
169	□Hiromoto Y, Azuma Y, Suzuki Y, Hoshina M, Uchiyama Y, Mitsuhashi S, Miyatake S, Mizuguchi T, Takata A, Miyake N, Kato M, Matsumoto N	難病ゲノム診断科	Hemizygous FLNA variant in West syndrome without periventricular nodular heterotopia	Hum Genome Var, 7(1): 43, 2020. doi: 10.1038/s41439-020-00131-9	Original Article

小計12件

170	□Itai T, Hamanaka K, Sasaki K, Wagner M, Kotzaeridou U, Brosse I, Ries M, Kobayashi Y, Tohyama J, Kato M, Ong WP, Chew HB, Rethanavelu K, Ranza E, Blanc X, Uchiyama Y, Tsuchida N, Fujita A, Azuma Y, Koshimizu E, Mizuguchi T, Takata A, Miyake N, Takahashi H, Miyagi E, Tsurusaki Y, Doi H, Taguri M, Antonarakis SE, Nakashima M, Saitsu H, Miyatake S, Matsumoto N	難病ゲノム診断科	De novo variants in CELF2 that disrupt the nuclear localization signal cause developmental and epileptic encephalopathy	Hum Mutat, 2020. doi: 10.1002/humu.24130	Original Article
171	□Itai T, Miyatake S, Taguri M, Nozaki F, Ohta M, Osaka H, Morimoto M, Tandou T, Nohara F, Takami Y, Yoshioka F, Shimokawa S, Okuno-Yuguchi J, Motobayashi M, Takei Y, Fukuyama T, Kumada S, Miyata Y, Ogawa C, Maki Y, Togashi N, Ishikura T, Kinoshita M, Mitani Y, Kanemura Y, Omi T, Ando N, Hattori A, Saitoh S, Kitai Y, Hirai S, Arai H, Ishida F, Taniguchi H, Kitabatake Y, Ozono K, Nabatame S, Smigiel R, Kato M, Tanda K, Saito Y, Ishiyama A, Noguchi Y, Miura M, Nakano T, Hirano K, Honda R, Kuki I, Takanashi JI, Takeuchi A, Fukasawa T, Seiwa C, Harada A, Yachi Y, Higashiyama H, Terashima H, Kumagai T, Hada S, Abe Y, Miyagi E, Uchiyama Y, Fujita A, Imagawa E, Azuma Y, Hamanaka K, Koshimizu E, Mitsuhashi S, Mizuguchi T, Takata A, Miyake N, Tsurusaki Y, Doi H, Nakashima M, Saitsu H, Matsumoto N	難病ゲノム診断科	Prenatal clinical manifestations in individuals with COL4A1/2 variants	J Med Genet, 2020. doi: 10.1136/jmedgenet-2020-106896	Original Article
172	□Mizuguchi T, Okamoto N, Yanagihara K, Miyatake S, Uchiyama Y, Tsuchida N, Hamanaka K, Fujita A, Miyake N, Matsumoto N	難病ゲノム診断科	Pathogenic 12-kb copy-neutral inversion in syndromic intellectual disability identified by high-fidelity long-read sequencing	Genomics, 2020. doi: 10.1016/j.ygeno.2020.10.038	Original Article
173	□Uchiyama Y, Yamaguchi D, Iwama K, Miyatake S, Hamanaka K, Tsuchida N, Aoi H, Azuma Y, Itai T, Saïda K, Fukuda H, Sekiguchi F, Sakaguchi T, Lei M, Ohori S, Sakamoto M, Kato M, Koike T, Takahashi Y, Tanda K, Hyodo Y, Honjo RS, Bertola DR, Kim CA, Goto M, Okazaki T, Yamada H, Maegaki Y, Osaka H, Ngu LH, Siew CG, Teik KW, Akasaka M, Doi H, Tanaka F, Goto T, Guo L, Ikegawa S, Haginoya K, Haniffa M, Hiraishi N, Hiraki Y, Ikemoto S, Daida A, Hamano SI, Miura M, Ishiyama A, Kawano O, Kondo A, Matsumoto H, Okamoto N, Okanishi T, Oyoshi Y, Takeshita E, Suzuki T, Ogawa Y, Handa H, Miyazono Y, Koshimizu E, Fujita A, Takata A, Miyake N, Mizuguchi T, Matsumoto N	難病ゲノム診断科	Efficient detection of copy-number variations using exome data: Batch- and sex-based analyses	Hum Mutat, 2020. doi: 10.1002/humu.24129	Original Article
174	Watanabe K, Ishibe A, Watanabe J, Ota M, Fujii S, Ichikawa Y, Oba MS, Endo I	がん総合医科学	The Effect of TJ-28 (Eppikajutsuto) on the Prevention of Hand-Foot Syndrome Using Capecitabine for Colorectal Cancer: The Yokohama Clinical Oncology Group Study (YCOG1102)	Indian Journal of Gastroenterology, 39(2): 204-210, 2020	Original Article
175	Hiroshima Y, Kasajima R, Kimura Y, Komura D, Ishikawa S, Ichikawa Y, Bouvet M, Yamamoto N, Oshima T, Morinaga S, Singh SR, Hoffman RM, Endo I, Miyagi Y	がん総合医科学	Novel targets identified by integrated cancer-stromal interactome analysis of pancreatic adenocarcinoma	Cancer Letters, 469: 217-227, 2020	Original Article
176	Kimura M, Narui K, Shima H, Ikejima S, Muto M, Satake T, Tanabe M, Inayama Y, Adachi S, Yamada A, Shimada K, Sugae S, Ichikawa Y, Ishikawa T, Endo I	がん総合医科学	Development of an invasive ductal carcinoma in a contralateral composite nipple graft after an autologous breast reconstruction: a case report	Surg Case Rep, 6(1): 203, 2020	Case report
177	Yamada A, Suzuki C, Shima H, Kida K, Adachi S, Yamamoto S, Narui K, Tanabe M, Shimizu D, Taniguchi R, Oshi M, Takabe K, Miyagi Y, Ichikawa Y, Ishikawa T, Endo I	がん総合医科学	Aldehyde Dehydrogenase 1-related Genes in Triple-negative Breast Cancer Investigated Using Network Analysis	Anticancer Res, 40(12): 6733-6742, 2020	Original Article
178	Takei S, Ishibe A, Watanabe J, Watanabe K, Suwa Y, Suzuki S, Nakagawa K, Suwa H, Ota M, Ichikawa Y, Kunisaki C, Yamanaka T, Endo I	がん総合医科学	Risk factors of chemotherapy-induced nausea and vomiting in patients with metastatic colorectal cancer: a prospective cohort study (YCOG1301)	Int J Colorectal Dis, 35(12): 2323-2329, 2020	Original Article
179	Misawa N, Higurashi T, Tachikawa J, Tanabe H, Yoshihara T, Ashikari K, Kanoshima K, Fuyuki A, Ohkubo H, Saigusa Y, Chiba H, Nonaka T, Kuriyama H, Kobayashi N, Nakajima A	がん総合医科学	Clinical impact of evaluation of frailty in endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer in elderly patients	Geriatr Gerontol Int, 20(5): 461-466, 2020	Original Article

小計9件

180	Ozaki A, Kessoku T, Iwaki M, Kobayashi T, Yoshihara T, Kato T, Honda Y, Ogawa Y, Imajo K, Higurashi T, Yoneda M, Taguri M, Yamanaka T, Ishiki H, Kobayashi N, Saito S, Ichikawa Y, Nakajima A	がん総合医科学	Comparing the effectiveness of magnesium oxide and naldemedine in preventing opioid-induced constipation: a proof of concept, single institutional, two arm, open-label, phase II, randomized controlled trial: the MAGNET study	Trials, 21(1): 453, 2020	Original Article
181	Kessoku T, Imajo K, Kobayashi T, Ozaki A, Iwaki M, Honda Y, Kato T, Ogawa Y, Tomeno W, Kato S, Higurashi T, Yoneda M, Kirikoshi H, Kubota K, Taguri M, Yamanaka T, Usuda H, Wada K, Kobayashi N, Saito S, Nakajima A	がん総合医科学	Lubiprostone in patients with non-alcoholic fatty liver disease: a randomised, double-blind, placebo-controlled, phase 2a trial	Lancet Gastroenterol Hepatol, 5(11): 996-1007, 2020	Original Article
182	Kessoku T, Kobayashi N, Yoneda M, Kasai Y, Ozaki A, Okubo N, Iwaki M, Kobayashi T, Yoshihara T, Kurita Y, Honda Y, Tokuhisa M, Ishiki H, Hibiya T, Fujii S, Nakajima A, Ichikawa Y	がん総合医科学	Case Reports: Transformation of end-stage neuroendocrine tumors with uncontrollable liver metastasis into a novel or additional functional phenotype	Front Oncol, 10: 555963, 2020	Original Article
183	Tanaka H, Hijioka S, Hosoda W, Ueno M, Kobayashi N, Ikeda M, Ito T, Kodama Y, Morizane C, Notohara K, Taguchi H, Kitano M, Komoto I, Tsuji A, Hashigo S, Kanno A, Miyabe K, Takagi T, Ishii H, Kojima Y, Yoshitomi H, Yanagimoto H, Furuse J, Mizuno N	がん総合医科学	Pancreatic neuroendocrine carcinoma G3 may be heterogeneous and could be classified into two distinct groups	Pancreatolgy, 20(7): 1421-1427, 2020	Original Article
184	Kobayashi N, Omae K, Horita Y, Ueno H, Mizuno N, Uesugi K, Sudo K, Ozaka M, Hayashi H, Okano N, Kamei K, Yamaguchi A, Kobayashi S, Suzuki S, Ishihara S, Uchiyama T, Todaka A, Fukutomi A	がん総合医科学	FOLFIRINOX as second-line chemotherapy for advanced pancreatic cancer: A subset analysis of data from a nationwide multicenter observational study in Japan	Pancreatolgy, 20(7): 1519-1525, 2020	Original Article
185	Maruki Y, Morizane C, Arai Y, Ikeda M, Ueno M, Ioka T, Naganuma A, Furukawa M, Mizuno N, Uwagawa T, Takahara N, Kanai M, Asagi A, Shimizu S, Miyamoto A, Yukisawa S, Kadokura M, Kojima Y, Furuse J, Nakajima TE, Sudo K, Kobayashi N, Hama N, Yamanaka T, Shibata T, Okusaka T	がん総合医科学	Correction to: Molecular detection and clinicopathological characteristics of advanced/recurrent biliary tract carcinomas harboring the FGFR2 rearrangements: a prospective observational study (PRELUDE Study)	J Gastroenterol, 56(3): 297, 2020	Original Article
186	Ishibe A, Watanabe J, Suwa Y, Suzuki S, Nakagawa K, Suwa H, Ozawa M, Ota M, Fujii S, Ike H, Ichikawa Y, Endo I	がん総合医科学	Oncological outcomes of lateral lymph node dissection (LLND) for locally advanced rectal cancer: Is LLND alone sufficient ?	Int J Colorectal Dis. 2021 Feb;36(2):293-301. doi: 10.1007/s00384-020-03760-2. Epub 2020 Sep 23. PMID: 32965528	Original Article
187	Mikami Y, Yamada A, Suzuki C, Adachi S, Harada F, Yamamoto S, Shimada K, Sugae S, Narui K, Chishima T, Ishikawa T, Ichikawa Y, Endo I	がん総合医科学	Predicting Nonsentinel Lymph Node Metastasis in Breast Cancer: A Multicenter Retrospective Study	J Surg Res. 2021 Aug; 264:45-50. doi: 10.1016/j.jss.2021.01.047. Epub 2021 Mar 20. PMID: 33752166	Original Article
188	Kobayashi N, Takeda Y, Okubo N, Suzuki A, Tokuhisa M, Hiroshima Y, Ichikawa Y	がん総合医科学	Phase II study of temozolomide monotherapy in patients with extrapulmonary neuroendocrine carcinoma	Cancer Sci. 2021 May;112(5):1936-1942. doi: 10.1111/cas.14811. Epub 2021 Mar 12. PMID: 33453146 Free PMC article. Clinical Trial	Original Article
189	Yamamoto S, Narui K, Ishikawa T, Adachi S, Shimada K, Shimizu D, Yamada A, Sugae S, Tanabe M, Oba M, Morita S, Doi T, Hasegawa S, Morita T, Kito A, Chishima T, Ichikawa Y, Endo I	がん総合医科学	First-line Gemcitabine Versus Treatment of Physician's Choice for Metastatic Breast Cancer: A Prospective Cohort Study	Anticancer Res. 2021. PMID: 33788764	Original Article
190	Ohkubo H, Yoshihara T, Misawa N, Ashikari K, Fuyuki A, Matsuura T, Higurashi T, Imajo K, Hosono K, Yoneda M, Kobayashi N, Saito S, Nakajima A	がん総合医科学	Relationship between Stool Form and Quality of Life in Patients with Chronic Constipation: An Internet Questionnaire Survey	Digestion. 2021;102(2):147-154. doi: 10.1159/000502815. Epub 2019 Oct 1. PMID: 31574514	Original Article

小計11件

191	Iwaki M, Kessoku T, Ozaki A, Kasai Y, Kobayashi T, Nogami A, Honda Y, Ogawa Y, Imajo K, Yoneda M, Maeda A, Tanaka Y, Nakajima S, Ohno H, Usuda H, Kawanaka M, Kawaguchi T, Torimura T, Kage M, Hyogo H, Takahashi H, Eguchi Y, Aishima S, Wada K, Kobayashi N, Sumida Y, Saito S, Nakajima A	がん総合医科学	Gut microbiota composition associated with hepatic fibrosis in non-obese patients with non-alcoholic fatty liver disease	J Gastroenterol Hepatol. 2021 Aug;36(8):2275-2284. doi: 10.1111/jgh.15487. Epub 2021 Mar 29. PMID: 33709477	Original Article
192	Ohkubo H, Yoshihara T, Misawa N, Ashikari K, Fuyuki A, Matsuura T, Higurashi T, Imajo K, Hosono K, Yoneda M, Kobayashi N, Saito S, Nakajima A	がん総合医科学	Relationship between Stool Form and Quality of Life in Patients with Chronic Constipation: An Internet Questionnaire Survey	Digestion. 2021;102(2):147-154	Original Article
193	Maruki Y, Morizane C, Arai Y, Ikeda M, Ueno M, Ioka T, Naganuma A, Furukawa M, Mizuno N, Uwagawa T, Takahara N, Kanai M, Asagi A, Shimizu S, Miyamoto A, Yukisawa S, Kadokura M, Kojima Y, Furuse J, Nakajima TE, Sudo K, Kobayashi N, Hama N, Yamanaka T, Shibata T, Okusaka T	がん総合医科学	Molecular detection and clinicopathological characteristics of advanced/recurrent biliary tract carcinomas harboring the FGFR2 rearrangements: a prospective observational study (PRELUDE Study)	J Gastroenterol. 2021 Mar;56(3):250-260	Original Article
194	Abe K, Chiba Y, Hattori S, Tamazawa A, Yoshimi A, Katsuse O, Suda A; Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative	精神医学	Influence of plasma cytokine levels on the conversion risk from MCI to dementia in the Alzheimer's disease neuroimaging initiative database	J Neurol Sci. 15;414:116829, 2020	Original Article
195	Abe K, Chiba Y, Hattori S, Yoshimi A, Asami T, Katsuse O, Suda A, Hishimoto A; Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative	精神医学	Influence of plasma matrix metalloproteinase levels on longitudinal changes in Alzheimer's disease (AD) biomarkers and cognitive function in patients with mild cognitive impairment due to AD registered in the Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative database	J Neurol Sci. 15;416:116989, 2020	Original Article
196	Chiba T, Ide K, Taylor JE, Boku S, Toda H, Kanazawa T, Kato S, Horiuchi Y, Hishimoto A, Maruyama T, Yamamoto T, Shirakawa M, Sora I, Kawato M, Koizumi A	精神医学	A reciprocal inhibition model of alternations between under-/overemotional modulatory states in patients with PTSD	Mol Psychiatry. s41380-020-0827-0, 2020	Original Article
197	Hattori S, Suda A, Miyauchi M, Shiraishi Y, Saeki T, Fukushima T, Fujibayashi M, Tsujita N, Ishii C, Ishii N, Moritani T, Saigusa Y, Kishida I	精神医学	The association of genetic polymorphisms in CYP1A2, UGT1A4, and ABCB1 with autonomic nervous system dysfunction in schizophrenia patients treated with olanzapine	BMC Psychiatry. 18;20(1):72, 2020	Original Article
198	Horai T, Boku S, Okazaki S, Otsuka I, Ratta-Apha W, Mouri K, Yamaki N, Hirata T, Hishimoto A	精神医学	miR-19b is elevated in peripheral blood of schizophrenic patients and attenuates proliferation of hippocampal neural progenitor cells	J Psychiatr Res. 131:102-107, 2020	Original Article
199	Hoya S, Watanabe Y, Nunokawa A, Otsuka I, Shibuya M, Igeta H, Hishimoto A, Someya T	精神医学	Whole-exome sequencing in a family with a monozygotic twin pair concordant for schizophrenia and a follow-up case-control study of identified de-novo variants	Psychiatr Genet. 30(2):60-63, 2020	Original Article
200	Ichihashi K, Hori H, Hasegawa N, Yasuda Y, Yamamoto T, Tsuboi T, Iwamoto K, Kishimoto T, Horai T, Yamada H, Sugiyama N, Nakamura T, Tsujino N, Nemoto K, Oishi S, Usami M, Katsumoto E, Yamamori H, Tomita H, Suwa T, Furihata R, Inagaki T, Fujita J, Onitsuka T, Miura K, Matsumoto J, Ohi K, Matsui Y, Takaesu Y, Hashimoto N, Iga J, Ogasawara K, Yamada H, Watanabe K, Inada K, Hashimoto R	精神医学	Prescription patterns in patients with schizophrenia in Japan: First-quality indicator data from the survey of "Effectiveness of Guidelines for Dissemination and Education in psychiatric treatment (EGUIDE)" project	Neuropsychopharmacol Rep. 40(2):281-286, 2020	Original Article
201	Idemoto K, Ishima T, Niitsu T, Hata T, Yoshida S, Hattori K, Horai T, Otsuka I, Yamamori H, Toda S, Kamenno Y, Ota K, Oda Y, Kimura A, Hashimoto T, Mori N, Kikuchi M, Minabe Y, Hashimoto R, Hishimoto A, Nakagome K, Iyo M, Hashimoto K	精神医学	Platelet-derived growth factor BB: A potential diagnostic blood biomarker for differentiating bipolar disorder from major depressive disorder	J Psychiatr Res.134:48-56, 2020	Original Article

小計11件

202	Iida H, Iga J, Hasegawa N, Yasuda Y, Yamamoto T, Miura K, Matsumoto J, Murata A, Ogasawara K, Yamada H, Hori H, Ichihashi K, Hashimoto N, Ohi K, Yasui-Furukori N, Tsuboi T, Nakamura T, Usami M, Furihata R, Takaesu Y, Iwamoto K, Sugiyama N, Kishimoto T, Tsujino N, Yamada H, Hishimoto A, Nemoto K, Atake K, Muraoka H, Katsumoto E, Oishi S, Inagaki T, Ito F, Imamura Y, Kido M, Nagasawa T, Numata S, Ochi S, Iwata M, Yamamori H, Fujita J, Onitsuka T, Yamamura S, Makinodan M, Fujimoto M, Takayanagi Y, Takezawa K, Komatsu H, Fukumoto K, Tamai S, Yamagata H, Kubota C, Horai T, Inada K, Watanabe K, Kawasaki H, Hashimoto R	精神医学	Unmet needs of patients with major depressive disorder – Findings from the 'Effectiveness of Guidelines for Dissemination and Education in Psychiatric Treatment (EGUIDE)' project: A nationwide dissemination, education, and evaluation study	Psychiatry Clin Neurosci. 74(12):667–669, 2020	Original Article
203	Inoue K, Kawanishi C, Narita K, Cho Y, Otsuka K	精神医学	Suicide prevention and postvention in hospitals in Japan: Current status and perspectives	Psychiatry and Clinical Neurosciences, 74(7):414–415, 2020	Original Article
204	Inoue K, Otsuka K, Onishi H, Cho Y, Shiraishi M, Narita K, Kawanishi C	精神医学	Multi-institutional survey of suicide death among inpatients with schizophrenia in comparison with depression	Asian Journal of Psychiatry, 48:101908, 2020	Original Article
205	Kawashima Y, Yonemoto N, Inagaki M, Inoue K, Kawanishi C, Yamada M	精神医学	Response to “suicide prevention among patients with cancer”	General Hospital Psychiatry, 64:123, 2020	Original Article
206	Kawashima Y, Yonemoto N, Kawanishi C, Otsuka K, Mimura M, Otaka Y, Okamura K, Kinoshita T, Shirakawa O, Yoshimura R, Eto N, Hashimoto S, Tachikawa H, Furuno T, Sugimoto T, Ikeshita K, Inagaki M, Yamada M	精神医学	Two-day assertive-case-management educational program for medical personnel to prevent suicide attempts: A multicenter pre-post observational study	Psychiatry Clin Neurosci. 74(6):362–370, 2020	Original Article
207	Kurusu K, Miyabe D, Furukawa Y, Shibayama O, Yoshiuchi K	精神医学	Association between polypharmacy and the persistence of delirium: a retrospective cohort study	Bio Psycho Social Medicine 14:25, 2020	Original Article
208	Kusakabe A, Nozato J, Hirano K, Saitou N, Ikenaga K, Mikan H, Kessoku T, Matuura T, Yoshimi A, Mawatari H, Naito A, Okita M, Ohta M, Morita T, Inamori M	精神医学	“Guidebook on Doctors’ Behaviors for Death Diagnosis Created by Community Healthcare Providers” Changed Residents’ Mind for Death Diagnosis	J Palliat Care. 25:825859720951698, 2020	Original Article
209	Kusui Y, Nishizawa D, Hasegawa J, Uno K, Miyanishi H, Ujike H, Ozaki N, Inada T, Iwata N, Sora I, Iyo M, Yamada M, Kondo N, Won MJ, Naruse N, Uehara-Aoyama K, Ikeda K, and Nitta A	精神医学	A Single Medical Marker for Diagnosis of Methamphetamine Addiction - DNA: Methylation of SHAT1/NAT8L Promoter Sites from Patient Blood	Current Pharmaceutical Design. 26, 1–5, 2020	Original Article
210	Maeda, T	精神医学	A Bio-psycho-social approach for Schizophrenia —From the Perspective of Jungian Psychology—.	Japanese Journal of Jungian Psychology: Practice and Clinical Issues. 5(1), 69–78, 2020	Original Article
211	Maruyama S, Boku S, Okazaki S, Kikuyama H, Mizoguchi Y, Monji A, Otsuka I, Sora I, Kanazawa T, Hishimoto A, Yoneda H	精神医学	ATP and repetitive electric stimulation increases leukemia inhibitory factor expression in astrocytes: A potential role for astrocytes in the action mechanism of electroconvulsive therapy	Psychiatry Clin Neurosci. 74(5):311–317, 2020	Original Article
212	Murata M, Odawara T, Hasegawa K, Kajiura K, Takeuchi H, Tagawa M, Kosaka K	精神医学	Effect of zonisamide on parkinsonism in patients with dementia with Lewy bodies: A phase3 randomized clinical trial	Parkinsonism Relat Disord. 76:91–97.2020	Original Article
213	Nakamura R, Asami T, Yoshimi A, Kato D, Fujita E, Takaishi M, Abe K, Hattori S, Suda A, Shiozaki K, Kase A, Hirayasu Y, Hishimoto A	精神医学	Illness management and recovery program induced neuroprotective effects on language network in schizophrenia.	Schizophr Res.S0920–9964(20)30454–0, 2020	Original Article

小計11件

214	Okazaki S, Numata S, Otsuka I, Horai T, Kinoshita M, Sora I, Ohmori T, Hishimoto A	精神医学	Decelerated epigenetic aging associated with mood stabilizers in the blood of patients with bipolar disorder	Transl Psychiatry. 10(1):129, 2020	Original Article
215	Okazaki S, Otsuka I, Shinko Y, Horai T, Hirata T, Yamaki N, Sora I, Hishimoto A	精神医学	Epigenetic Clock Analysis in Children With Fetal Alcohol Spectrum Disorder	Alcohol Clin Exp Res. Dec 9. doi: 10.1111. 2020	Original Article
216	Okazaki S, Otsuka I, Horai T, Hirata T, Takahashi M, Ueno Y, Boku S, Sora I, Hishimoto A*	精神医学	Accelerated extrinsic epigenetic aging and increased natural killer cells in blood of suicide completers	Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry.98:109805, 2020	Original Article
217	Ota, H., Maeda, T	精神医学	Jungian Perspective of the Disintegrated Mind: Encountering Psychosis	Jungian Congress Papers 21, 2020	Original Article
218	Saito T, Chiba Y, Abe K, Hattori S, Katsuse O, Takahashi Y, Suda A	精神医学	An exploratory investigation of antibodies to NMDA-type glutamate receptor subunits in serum and cerebrospinal fluid among psychiatric patients with anti-thyroid antibodies	Heliyon. 8;6(12):e05677, 2020	Original Article
219	Sakurai H, Uchida H, Kato M, Suzuki T, Baba H, Watanabe K, Inada K, Kikuchi T, Katsuki A, Kishida I, Sugawara Kikuchi Y, Yasui-Furukori N	精神医学	Medical Education Panel of the Japanese Society of Clinical Neuropsychopharmacology. Pharmacological management of depression: Japanese expert consensus	J Affect Disord. 1;266:626-632, 2020	Original Article
220	Yoshida H, Asami T, Takaishi M, Nakamura R, Yoshimi A, Whitford TJ, Hirayasu Y	精神医学	Structural abnormalities in nucleus accumbens in patients with panic disorder	J Affect Disord. 15; 271:201-206, 2020	Original Article
221	Ide K, Asami T, Suda A, Yoshimi A, Fujita J, Nomoto M, Roppongi T, Hino K, Takahashi Y, Watanabe K, Shimada T, Hamasaki T, Endo E, Kaneko T, Suzuki M, Kubota K, Saigusa Y, Kato H, Odawara T, Nakajima H, Takeuchi I, Goto T, Aihara M, Hishimoto A	精神医学	The psychological effects of COVID-19 on hospital workers at the beginning of the outbreak with a large disease cluster on the Diamond Princess cruise ship	PLoS One. 2021 Jan 11;16(1):e0245294, 2021	Original Article
222	1. Ideta Y, Iwai T, Sugiyama S, Ohashi N, Kitajima H, Yajima Y, Hirota M, Mitsudo K	口腔外科学	Endoscopically-assisted intraoral removal of submandibular gland mucocele	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol 33(2): 161-164, 2021 Mar	Case report
223	2. Ishikawa S, Iwai T, Sugiyama S, Ohashi N, Kitajima H, Hirota M, Yamanaka S, Mitsudo K	口腔外科学	Submandibular gland venous malformation with multiple phleboliths	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol: 33(2) 183-187, 2021 Mar	Case report
224	3. Iwai T, Izumi T, Sugiyama S, Watanabe D, Kosugi Y, Mitsudo K	口腔外科学	Sialendoscopic removal of gold filament thread-induced sialolith in the duct of the parotid gland	J Stomatol Oral Maxillofac Surg, 121(5): 589-591, 2020 Nov	Case report
225	4. Iwai T, Ohashi N, Sugiyama S, Kitajima H, Hirota M, Yamanaka S, Mitsudo K	口腔外科学	Actinomycotic osteomyelitis with proliferative periostitis arising in the mandibular ramus: an unusual case with spontaneous bone regeneration after coronoidectomy	Oral Radiol: 37(1) 137-145, 2021 Jan	Case report
226	5. Iwai T, Sugiyama S, Hyashi Y, Hirota M, Mitsudo K	口腔外科学	Intraosseous Schwannoma of the Mandible Masquerading as Radicular Cyst of the Molar	Ear Nose Throat J. 2020 Sep 21;145561320961273. doi: 10.1177/0145561320961273 . Epub ahead of print. PMID: 32955352	Case report
227	6. Iwai T, Sugiyama S, Hirota M, Mitsudo K	口腔外科学	Endoscopically Assisted Intraoral. Resection of Lipoma in the Masticator Space	Ear Nose Throat J. 2020 Jul 13;145561320940058. doi: 10.1177/0145561320940058 . Epub ahead of print. PMID: 32659125	Case report

小計14件

228	7. Iwai T, Sugiyama S, Kitajima H, Hirota M, Mitsudo K	口腔外科学	Pleomorphic adenoma arising from heterotopic salivary gland tissue in the submandibular region	J Clin Diag Res 15(2) ZJ01-ZJ02, 2021 Feb	Case report
229	8. Iwai T, Sugiyama S, Kitajima H, Hirota M, Mitsudo K	口腔外科学	Endoscopically Assisted. Intraoral Removal of Infrageniohyoid Dermoid Cyst	Ear Nose Throat J. 2020 Jul 13:145561320940060. doi: 10.1177/0145561320940060 . Epub ahead of print. PMID:32659119	Case report
230	9. Iwai T, Sugiyama S, Kitajima H, Hirota M, Mitsudo K	口腔外科学	Oral stings caused by sperm bags of squid	J Clin Diag Res, 14(10): ZJ01-ZJ02, 2020 Oct	Case report
231	10. Iwai T, Sugiyama S, Kitajima H, Hirota M, Mitsudo K	口腔外科学	Endoscopically-assisted intraoral resection of compound odontoma arising from the inferomedial surface of the mandibular ramus using piezosurgery	J Clin Diag Res, 14(12): ZJ01-ZJ02, 2020 Dec	Case report
232	11. Iwai T, Sugiyama S, Koizumi T, Hirota M, Mitsudo K	口腔外科学	Endoscopic removal of a migrated fragment of wire used for intermaxillary fixation in surgical treatment of mandibular fracture	J Clin Diag Res, 14(11): ZJ01-ZJ02, 2020 Nov	Case report
233	12. Minamiyama S, Iwai T, Sugiyama S, Hayashi Y, Hirota M, Mitsudo K	口腔外科学	Schwannoma arising from the sublingual glandular branch of the lingual nerve radiologically masquerading as sublingual gland tumor	Oral Radiol: 37(1) 125-129, 2021 Jan	Case report
234	13. Ohashi N, Iwai T, Nakamori Y, Iida M, Osawa K, Sugiyama S, Kitajima H, Minamiyama S, Yamanaka S, Shiiba N, Mitsudo K	口腔外科学	Sporadic Burkitt lymphoma initially presented as orofacial manifestations in an 8-year-old boy: a case report and mini-review	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol: 33(2) 204-210, 2021 Mar	Case report
235	14. Ohashi N, Iwai T, Ogawa M, Yokoo S, Mitsudo K	口腔外科学	Malignant Transformation of Buccal Mucosa Leukoplakia in a Patient With Dyskeratosis Congenita	Ear Nose Throat J. 2020 Jul 7:145561320938908. doi: 10.1177/0145561320938908 . Epub ahead of print. PMID: 32633656	Case report
236	15. Sugiyama S, Iwai T, Hirota M, Mitsudo K	口腔外科学	Ectopic Thyroid Cyst of the Lateral	Neck. Ear Nose Throat J. 2020 Jun 24:145561320937080. doi:10.1177/0145561320937080. Epub ahead of print. PMID: 32579433	Case report
237	16. Sugiyama S, Iwai T, Hirota M, Mitsudo K	口腔外科学	Endoscopically-assisted intraoral removal of submandibular gland oncocytoma	J Dent Sci: 16(1) 561-562, 2021 Jan.	Case report
238	17. Sugiyama S, Iwai T, Honda K, Mitsudo K	口腔外科学	Trigemino-cardiac reflex during bilateral sagittal split osteotomy	J Dent Sci: 16(2) 782-783, 2021 Mar	Case report
239	18. Sugiyama S, Iwai T, Mikami T, Hibiya T, Maegawa J	口腔外科学	Endoscopically assisted resection of a cervical multicystic lymphangioma in an adult	Ear Nose Throat J, 2021 Jun	Case report
240	19. Sugiyama S, Iwai T, Mikami T, Maegawa J	口腔外科学	Delayed infection of an autopolymerizing acrylic resin implanted for orbital floor reconstruction	J Clin Diag Res: 15(1) ZJ01-ZJ02, 2021 Jan	Case report
241	Doi H, Okubo M, Fukai R, Fujita A, Mitsuhashi S, Takahashi K, Kunii M, Tada M, Fukuda H, Mizuguchi T, Miyatake S, Miyake N, Sone J, Sobue G, Takeuchi H, Matsumoto N, Tanaka F	遺伝子診療科	Reply to“GGC Repeat Expansion of NOTCH2NLC is Rare in European Leukoencephalopathy”	Ann Neurol, 88(3):642-643, 2020	Letter

小計14件

242	Hamanaka K, Imagawa E, Koshimizu E, Miyatake S, Tohyama J, Yamagata T, Miyuchi A, Ekhilevitch N, Nakamura F, Kawashima T, Goshima Y, Mohamed AR, Ch'ng GS, Fujita A, Azuma Y, Yasuda K, Imamura S, Nakashima M, Saitsu H, Mitsuhashi S, Mizuguchi T, Takata A, Miyake N, Matsumoto N	遺伝子診療科	De Novo Truncating Variants in the Last Exon of SEMA6B Cause Progressive Myoclonic Epilepsy	Am J Hum Genet, 106(4): 549–558, 2020	Others
243	Nakamura H, Doi H, Mitsuhashi S, Miyatake S, Katoh K, Frith MC, Asano T, Kudo Y, Ikeda T, Kubota S, Kunii M, Kitazawa Y, Tada M, Okamoto M, Joki H, Takeuchi H, Matsumoto N, Tanaka F	遺伝子診療科	Long-read sequencing identifies the pathogenic nucleotide repeat expansion in RFC1 in a Japanese case of CANVAS	J Hum Genet, 65(5):475–480, 2020	Case report
244	Shirai R, Osumi T, Terashima K, Kiyotani C, Uchiyama M, Tsujimoto S, Yoshida M, Yoshida K, Uchiyama T, Tomizawa D, Shioda Y, Sekiguchi M, Watanabe K, Keino D, Ueno-Yokohata H, Ohki K, Takita J, Ito S, Deguchi T, Kiyokawa N, Ogiwara H, Hishiki T, Ogawa S, Okita H, Matsumoto K, Yoshioka T, Kato M	遺伝子診療科	High prevalence of SMARCB1 constitutional abnormalities including mosaicism in malignant rhabdoid tumors	Eur J Hum Genet, 28(8): 1124–1128, 2020	Original Article
245	Yoshida M, Tanase-Nakao K, Shima H, Shirai R, Yoshida K, Osumi T, Deguchi T, Mori M, Arakawa Y, Takagi M, Miyamura T, Sakaguchi K, Toyoda H, Ishida H, Sakata N, Imamura T, Kawahara Y, Morimoto A, Koike T, Yagasaki H, Ito S, Tomizawa D, Kiyokawa N, Narumi S, Kato M	遺伝子診療科	Prevalence of germline GATA2 and SAMD9/9L variants in paediatric haematological disorders with monosomy 7	Br J Haematol, 191(5):835–843, 2020	Original Article
246	Miyatake S, Kato M, Kumamoto T, Hirose T, Koshimizu E, Matsui T, Takeuchi H, Doi H, Hamada K, Nakashima M, Sasaki K, Yamashita A, Takata A, Hamanaka K, Satoh M, Miyama T, Sonoda Y, Sasazuki M, Torisu H, Hara T, Sakai Y, Noguchi Y, Miura M, Nishimura Y, Nakamura K, Asai H, Hinokuma N, Miya F, Tsunoda T, Togawa M, Ikeda Y, Kimura N, Amemiya K, Horino A, Fukuoka M, Ikeda H, Merhav G, Ekhilevitch N, Miura M, Mizuguchi T, Miyake N, Suzuki A, Ohga S, Saitsu H, Takahashi H, Tanaka F, Ogata K, Ohtaka-Maruyama C, Matsumoto N	遺伝子診療科	De novo ATP1A3 variants cause polymicrogyria	Sci Adv, 7(13):2368, 2021	Original Article
247	Itai T, Hamanaka K, Sasaki K, Wagner M, Kotzaeridou U, Brösse I, Ries M, Kobayashi Y, Tohyama J, Kato M, Ong WP, Chew HB, Rethanavelu K, Ranza E, Blanc X, Uchiyama Y, Tsuchida N, Fujita A, Azuma Y, Koshimizu E, Mizuguchi T, Takata A, Miyake N, Takahashi H, Miyagi E, Tsurusaki Y, Doi H, Taguri M, Antonarakis SE, Nakashima M, Saitsu H, Miyatake S, Matsumoto N	遺伝子診療科	De novo variants in CELF2 that disrupt the nuclear localization signal cause developmental and epileptic encephalopathy	Hum Mutat, 42(1):66–76, 2021	Others
248	Mizuguchi T, Okamoto N, Yanagihara K, Miyatake S, Uchiyama Y, Tsuchida N, Hamanaka K, Fujita A, Miyake N, Matsumoto N	遺伝子診療科	Pathogenic 12-kb copy-neutral inversion in syndromic intellectual disability identified by high-fidelity long-read sequencing	Genomics, 113(1Pt2):1044–1053, 2021	Original Article
249	Saida K, Fukuda T, Scott DA, Sengoku T, Ogata K, Nicosia A, Hernandez-Garcia A, Lalani SR, Azamian MS, Streff H, Liu P, Dai H, Mizuguchi T, Miyatake S, Asahina M, Ogata T, Miyake N, Matsumoto N	遺伝子診療科	OTUD5 Variants Associated With X-Linked Intellectual Disability and Congenital Malformation	Front Cell Dev Biol, 9: 631428, 2021	Original Article
250	Uchiyama Y, Yamaguchi D, Iwama K, Miyatake S, Hamanaka K, Tsuchida N, Aoi H, Azuma Y, Itai T, Saida K, Fukuda H, Sekiguchi F, Sakaguchi T, Lei M, Ohori S, Sakamoto M, Kato M, Koike T, Takahashi Y, Tanda K, Hyodo Y, Honjo RS, Bertola DR, Kim CA, Goto M, Okazaki T, Yamada H, Maegaki Y, Osaka H, Ngu LH, Siew CG, Teik KW, Akasaka M, Doi H, Tanaka F, Goto T, Guo L, Ikegawa S, Haginoya K, Haniffa M, Hiraishi N, Hiraki Y, Ikemoto S, Daida A, Hamano SI, Miura M, Ishiyama A, Kawano O, Kondo A, Matsumoto H, Okamoto N, Okanishi T, Oyoshi Y, Takeshita E, Suzuki T, Ogawa Y, Handa H, Miyazono Y, Koshimizu E, Fujita A, Takata A, Miyake N, Mizuguchi T, Matsumoto N	遺伝子診療科	Efficient detection of copy-number variations using exome data: Batch- and sex-based analyses	Hum Mutat, 42(1):50–65, 2021	Others

小計11件

251	Kamimura D, Valle KA, Blackshear C, Mentz RJ, Yeboah J, Rodriguez CJ, Herrington DM, Suzuki T, Clark III D, Fox ER, Shah AM, Stacey RB, Hundley WG, Correa A, Butler J, Hall ME	臨床検査部	Relation of Low Normal Left Ventricular Ejection Fraction to Heart Failure Hospitalization in Blacks (From the Jackson Heart Study)	Am J Cardiol, 136: 100–106, 2020	Original Article
252	Fujii S*, Anthony M. Magliocco AM, Kim J, Okamoto W, Kim JE, Sawada K, Nakamura Y, Kopetz S, Park WY, Tsuchihara K, Kim TW, Raghav K, Yoshino T	病理診断科・病理部	International Harmonization of Provisional Diagnostic Criteria for ERBB2–Amplified Metastatic Colorectal Cancer Allowing for Screening by Next–Generation Sequencing Panel	Journal of Clinical Oncology Precision Oncology 4:6–19, 2020 (*Corresponding Author)	Original Article
253	Mukai Y, Hayashi Y, Koike I, Koizumi T, Sugiura M, Oguri S, Takano S, Kioi M, Sato M, Mitsudo K, Hata M	放射線治療学	Impact of superselective intra–arterial and systemic chemoradiotherapy for gingival carcinoma; analysis of treatment outcomes and prognostic factors	BMC Cancer, 20(1): 1154, 2020	Original Article
254	Mukai Y, Minagawa Y, Inoue H, Sato A, Matsui K, Fukuda T, Onuma K, Hongo H, Shirata R, Nagata H, Hashimoto H, Inoue T, Hata M, Omura M	放射線治療学	Treatment outcome of the combination therapy of high–dose rate intracavitary brachytherapy and intensity–modulated radiation therapy with central–shielding for cervical cancer	In Vivo, 34(6): 3387–3398, 2020	Original Article
255	Sato A, Omura M, Minagawa Y, Matsui K, Shirata R, Hongo H, Hashimoto H, Misumi T, Inoue T, Hata M	放射線治療学	Intensity–modulated radiation therapy for lymph node oligo–recurrence	In Vivo, 34(5): 2587–2593, 2020	Original Article
256	Hayashi N, Osaka K, Muraoka K, Hasumi H, Makiyama K, Kondo K, Nakaigawa N, Yao M, Mukai Y, Sugiura M, Takano S, Ito E, Kaizu H, Koike I, Hata M, Taguri M, Miyoshi Y, Izumi K, Kawahara T, Uemura H	放射線治療学	Outcomes of treatment for localized prostate cancer in a single institution: comparison of radical prostatectomy and radiation therapy by propensity score matching analysis	World J Urol, 38(10): 2477–2484, 2020	Original Article
257	Murai Y, Koike I, Matsunaga T, Yokota NR, Sugiura M, Mizushima T, Taniuchi R, Imai Y, Hashimoto K, Tabuchi Y, Miyagi E, Hata M	放射線治療学	Outcome of radiation therapy for stage IVB uterine cervical cancer with distant lymph nodes metastases; sequential irradiation for distant lymph nodes metastases	In Vivo, 35(2): 1169–1176, 2021	Original Article
258	Murai Y, Koike I, Matsunaga T, Yokota NR, Sugiura M, Mizushima T, Taniuchi R, Imai Y, Hashimoto K, Tabuchi Y, Miyagi E, Hata M	放射線治療学	Outcome of radiation therapy for stage IVB uterine cervical cancer with distant lymph nodes metastases; sequential irradiation for distant lymph nodes metastases	In Vivo, 35(2): 1169–1176, 2021	Original Article
259	Yamaguchi Y, Takatsu N, Ootaki K, Nakagawa H	皮膚科学	Long–term safety of brodalumab in Japanese patients with plaque psoriasis: An open–label extension study	J Dermatol, 47: 569–577, 2020	Original Article
260	Ikeda N, Yamaguchi Y, Kanaoka M, Ototake Y, Akita A, Watanabe T, Aihara M	皮膚科学	Clinical significance of serum levels of anti–transcriptional intermediary factor 1– γ antibody in patients with dermatomyositis	J Dermatol, 47(5): 490–496, 2020	Original Article
261	Watanabe Y, Yamaguchi Y, Takamura N, Komitsu N, Aihara M	皮膚科学	Leptin induces interleukin–6 production in keratinocytes via decreased expression of caveolin–1: a possible link between obesity and psoriatic inflammation	Br J Dermatol, 183(4): 768–770, 2020	Original Article
262	Watanabe Y, Yamaguchi Y, Takamura N, Takahashi Y, Aihara M	皮膚科学	Toxic epidermal necrolysis accompanied by several immune–related adverse events developed after discontinuation of nivolumab	Eur Cancer, 131: 1–4, 2020	Original Article

小計11件

263	Kanaoka M, Yamaguchi Y, Watanabe T, Akita A, Ootake Y, Ikeda N, Aihara M	皮膚科学	Clinically amyopathic dermatomyositis with anti-transcriptional intermediary factor 1- γ autoantibody positivity	Rheumatology (Oxford), 59(10): e68-e69, 2020	Original Article
264	Watanabe T, Yamaguchi Y, Watanabe Y, Takamura N, Aihara M	皮膚科学	Increased level of high mobility group box 1 in the serum and skin in patients with generalized pustular psoriasis	J Dermatol, 47(9): 1033-1036, 2020	Original Article
265	Sagawa N, Watanabe Y, Mizuno Y, Takahashi S, Watanabe T, Ikeda N, Yamaguchi Y, Aihara M	皮膚科学	A case of toxic epidermal necrolysis associated with apalutamide administration	J Cutan Immunol Allergy, 3: 134-135, 2020	Original Article
266	Totsuka M, Inomata N, Yamakawa K, Watanabe T, Kanaoka M, Aihara M	皮膚科学	Plum Anaphylaxis induced by sensitization to Gibberellin-regulated protein: possibility of cross-reactivity with Pru p 7 and Pru m 7	J Dermatol, 47(8): e296-e298, 2020	Original Article
267	Nagayama Y, Tanoue S, Inoue T, Oda S, Nakaura T, Utsunomiya D, Yamashita Y	放射線診断学	Dual-layer spectral CT improves image quality of multiphasic pancreas CT in patients with pancreatic ductal adenocarcinoma	Eur Radiol, 39(1):394-403, 2020	Original Article
268	Iwasawa T, Sato M, Yamaya T, Sato Y, Uchida Y, Kitamura H, Hagiwara E, Komatsu S, Utsunomiya D, Ogura T	放射線診断学	Ultra-high-resolution computed tomography can demonstrate alveolar collapse in novel coronavirus (COVID-19) pneumonia	Jpn J Radiol, 38(5):394-398, 2020	Original Article
269	Nakajima K, Kato H, Yamashiro T, Izumi T, Takeuchi I, Nakajima H, Utsunomiya D	放射線診断学	COVID-19 pneumonia: infection control protocol inside computed tomography suites	Jpn J Radiol, 38(5):391-393, 2020	Original Article
270	Yoshida M, Nakaura T, Sentaro T, Tanoue S, Inada H, Utsunomiya D, Sakano N, Harada K, Yamashita Y	放射線診断学	Prospective comparison of 70-kVp single-energy CT versus dual-energy CT: which is more suitable for CT angiography with low contrast media dosage?	Acad Radiol, 27(5):e116-e122, 2020	Original Article
271	⑤ Nagamatsu S, Sakamoto K, Yamashita T, Sato R, Tabata N, Motozato K, Yamanaga K, Ito M, Fujisue K, Kanazawa H, Sueta D, Usuku H, Araki S, Arima Y, Takashio S, Suzuki S, Yamamoto E, Izumiya Y, Soejima H, Utsunomiya D, Kaikita K, Yamashita Y, Tsujita K	放射線診断学	Impact of hydrostatic pressure on fractional flow reserve: in vivo experimental study of anatomical height difference of coronary arteries	J Cardiol, 76(1):73-79, 2020	Original Article
272	Azuma M, Kato S, Kodama S, Hayakawa K, Kagimoto M, Iguchi K, Fukuoka M, Fukui K, Iwasawa T, Utsunomiya D, Kimura K, Tamura K	放射線診断学	Relationship between the cardiac magnetic resonance derived extracellular volume fraction and feature tracking myocardial strain in patients with non-ischemic dilated cardiomyopathy	Magn Reson Imaging, 74:14-20, 2020	Original Article
273	Ishiwata Y, Hieda Y, Kaki S, Aso S, Horie K, Kobayashi Y, Nakamura M, Yamada K, Yamashiro T, Utsunomiya D	放射線診断学	Improved diagnostic accuracy of bone metastasis detection by water-HAP associated to non-contrast CT	Diagnostics, 10(10):853, 2020	Original Article
274	Kato S, Fukui K, Kodama S, Azuma M, Iwasawa T, Kimura K, Tamura K, Utsunomiya D	放射線診断学	Incremental prognostic value of coronary flow reserve determined by phase-contrast cine cardiovascular magnetic resonance of the coronary sinus in patients with diabetes mellitus	J Cardiovasc Magn Reson, 22(1):73, 2020	Original Article
275	Kodama S, Kato S, Hayakawa K, Azuma M, Kagimoto M, Iguchi K, Fukuoka M, Fukui K, Iwasawa T, Utsunomiya D, Kosuge M, Kimura K, Tamura K	放射線診断学	Combination of extracellular volume fraction by cardiac magnetic resonance imaging and QRS duration for the risk stratification for patients with non-ischemic dilated cardiomyopathy	Heart Vessels, 35(10): 1439-1445, 2020	Original Article

小計13件

276	Sakabe D, Fukui T, Oda S, Tominaga O, Okamoto K, Kato S, Yamashiro T, Funama Y, Kidoh M, Ikeda O, Utsunomiya D	放射線診断学	Noninvasive flow evaluations of coronary artery bypass grafting using dynamic cardiac CT	Medicine, 99(48):e23338, 2020	Original Article
277	Kawasaki T, Kidoh M, Kido T, Sueta D, Fujimoto S, Kumamaru KK, Uetani T, Tanabe Y, Ueda T, Sakabe D, Oda S, Yamashiro T, Tsujita K, Kato S, Yuki H, Utsunomiya D	放射線診断学	Evaluation of significant coronary artery disease based on CT fractional flow reserve and plaque characteristics using random forest analysis in machine learning	Acad Radiol, 27(12):1700-1708, 2020	Original Article
278	Tateishi K, Ikegaya N, Uda K, Sasame J, Hayashi T, Miyake Y, Okabe T, Minamimoto R, Murata H, Utsunomiya D, Yamanaka S, Yamamoto T	放射線診断学	BRAF V600E mutation mediates FDG-methionine uptake mismatch in polymorphous low-grade neuroepithelial tumor of the young	Acta Neuropathol Commun, 8(1):139, 2020	Original Article
279	Yoshida M, Utsunomiya D, Takada S, Komohara Y, Mizoshiri T, Oda S, Harada K, Ikeda O	放射線診断学	The imaging findings of peliosis hepatis on gadoteric acid enhanced MRI	Radiol Case Rep, 15(8):1261-1265, 2020	Original Article
280	Yamashiro T, Kumamaru KK, Kido A, Namoto Matsubayashi R, Ota H, Ida M, Aoki S	放射線診断学	Work-style reform and use of information and communication technology among diagnostic radiologists in Japan: Results of the 2018 JRS/JCR joint survey	Jpn J Radiol, 38(7):636-642, 2020	Original Article
281	Nagatani Y, Yoshigoe M, Tsukagoshi S, Ushio N, Ohashi K, Nitta N, Kimoto T, Uranishi A, Sato S, Mayumi M, Yamashiro T, Moriya H, Murata K, Watanabe Y	放射線診断学	Peripheral bronchial luminal conspicuity on dynamic-ventilation computed tomography: association with radiation doses and temporal resolution by using an ex vivo porcine lung phantom	Acta Radiol, 61(12):1608-1617, 2020	Original Article
282	Morita Y, Yamashiro T, Tsuchiya N, Tsubakimoto M, Murayama S	放射線診断学	Automatic bronchial segmentation on ultra-HRCT scans: Advantage of the 1024-matrix size with 0.25-mm slice thickness reconstruction	Jpn J Radiol, 38(10):953-959, 2020	Original Article
283	Akazawa Y, Ganaha A, Higa T, Kondo S, Oyakawa Y, Hirakawa H, Suzuki M, Yamashiro T	放射線診断学	Measurement of stapes footplate thickness in otosclerosis by ultra-high-resolution computed tomography	Acta Otolaryngol, 140(11):899-903, 2020	Original Article
284	Kitajima K, Kihara T, Kawanaka Y, Kido A, Yoshida K, Mizumoto Y, Tomiyama A, Okuda S, Jinzaki M, Kato F, Takahama J, Takahata A, Fukukura Y, Nakamoto A, Tsujikawa T, Munechika J, Ohgiya Y, Kawai N, Goshima S, Ohya A, Fujinaga Y, Fukunaga T, Fujii S, Tanabe M, Ito K, Tsuboyama T, Kanie Y, Umeoka S, Ichikawa S, Motosugi U, Daido S, Kido A, Tamada T, Matsuki M, Yamashiro T, Yamakado K	放射線診断学	Neuroendocrine carcinoma of uterine cervix findings shown by MRI for staging and survival analysis - Japan multicenter study	Oncotarget, 11(40):3675-3686, 2020	Original Article
285	Koda E, Yamashiro T, Onoe R, Handa H, Azagami S, Matsushita S, Tomita H, Inoue T, Mineshita M	放射線診断学	CT texture analysis of mediastinal lymphadenopathy: Combining with US-based elastographic parameter and discrimination between sarcoidosis and lymph node metastasis from small cell lung cancer	PLoS One, 15(12):e0243181, 2020	Original Article
286	Kimura Y, Yamashiro T, Saito Y, Kitsukawa K, Niki H, Mimura H	放射線診断学	MRI findings of spring ligament injury: Association with surgical findings and flatfoot deformity	Acta Radiol Open, 9(12):2058460120980145, 2020	Original Article
287	Sakabe D, Fukui T, Oda S, Tominaga O, Okamoto K, Kato S, Yamashiro T, Funama Y, Kidoh M, Ikeda O, Utsunomiya D	放射線診断学	Noninvasive flow evaluations of coronary artery bypass grafting using dynamic cardiac CT	Medicine, 99(48): e23338, 2020	Original Article

小計12件

288	Kato S, Fukui K, Kodama S, Azuma M, Iwasawa T, Kimura K, Tamura K, Utsunomiya D	放射線診断学	Incremental prognostic value of coronary flow reserve determined by phase-contrast cine cardiovascular magnetic resonance of the coronary sinus in patients with diabetes mellitus	Journal of cardiovascular magnetic resonance, 22(1): 73, 2020	Original Article
289	Kato S, Fukui K	放射線診断学	Successful stent implantation with the use of non contrast whole-heart coronary magnetic resonance angiography and intravascular ultrasound in patient with allergy to iodinated contrast media	Cardiovascular intervention and therapeutics, doi: 10.1007/s12928-020-00712-z. 2020	Original Article
290	Azuma M, Kato S, Kodama S, Hayakawa K, Kagimoto M, Iguchi K, Fukuoka M, Fukui K, Iwasawa T, Utsunomiya D, Kimura K, Tamura K	放射線診断学	Relationship between the cardiac magnetic resonance derived extracellular volume fraction and feature tracking myocardial strain in patients with non-ischemic dilated cardiomyopathy	Magnetic resonance imaging, 74: 14-20, 2020	Original Article
291	Kodama S, Kato S, Hayakawa K, Azuma M, Kagimoto M, Iguchi K, Fukuoka M, Fukui K, Iwasawa T, Utsunomiya D, Kosuge M, Kimura K, Tamura K	放射線診断学	Combination of extracellular volume fraction by cardiac magnetic resonance imaging and QRS duration for the risk stratification for patients with non-ischemic dilated cardiomyopathy	Heart Vessels, 35(10): 1439-1445, 2020	Original Article
292	Yokota Y, Takeda C, Kidoh M, Oda S, Aoki R, Ito K, Morita K, Haraoka K, Yamashita Y, Iizuka H, Kato S, Tsujita K, Ikeda O, Yamashita Y, Utsunomiya D	放射線診断学	Effects of Deep Learning Reconstruction Technique in High-Resolution Non-contrast Magnetic Resonance Coronary Angiography at a 3-Tesla Machine	Canadian Association of Radiologists journal, 72(1): 120-127, 2020	Original Article
293	Kawasaki T, Kidoh M, Kido T, Sueta D, Fujimoto S, Kumamaru KK, Uetani T, Tanabe Y, Ueda T, Sakabe D, Oda S, Yamashiro T, Tsujita K, Kato S, Yuki H, Utsunomiya D	放射線診断学	Evaluation of Significant Coronary Artery Disease Based on CT Fractional Flow Reserve and Plaque Characteristics Using Random Forest Analysis in Machine Learning	Acad Radiol, 27(12): 1700-1708, 2020	Original Article
294	Miyazaki T, Nakajima W, Hatano M, Shibata Y, Kuroki Y, Arisawa T, Serizawa A, Sano A, Kogami S, Yamanoue T, Kimura K, Hirata Y, Takada Y, Ishiwata Y, Sonoda M, Tokunaga M, Seki C, Nagai Y, Minamimoto T, Kawamura K, Zhang MR, Ikegaya N, Iwasaki M, Kunii N, Kimura Y, Yamashita F, Taguri M, Tani H, Nagai N, Koizumi T, Nakajima S, Mimura M, Yuzaki M, Kato H, Higuchi M, Uchida H, Takahashi T	放射線診断学	Visualization of AMPA receptors in living human brain with positron emission tomography	Nat Med, 26(2): 281-288, 2020	Original Article
295	Ishiwata Y, Hieda Y, Kaki S, Aso S, Horie K, Kobayashi Y, Nakamura M, Yamada K, Yamashiro T, Utsunomiya D	放射線診断学	Improved Diagnostic Accuracy of Bone Metastasis Detection by Water-HAP Associated to Non-contrast CT	Diagnostics, 10(10): 853, 2020	Original Article
296	Yamamoto Y, Mitsunaga S, Horikawa H, Hino A, Kurihara K	放射線診断学	Quantitative bone scan imaging using BSI and BUV: an approach to evaluate ARONJ early	Ann Nucl Med, 34(1):74-49, 2020	Original Article
297	Iwasawa T, Sato M, Yamaya T, Sato Y, Uchida Y, Kitamura H, Hagiwara E, Komatsu S, Utsunomiya D, Ogura T	放射線診断学	Ultra-high-resolution computed tomography can demonstrate alveolar collapse in novel coronavirus (COVID-19) pneumonia	Jpn J Radiol, 38(5): 394-398, 2020	Original Article
298	Kitayama T, Kitamura H, Hagiwara E, Higa K, Okabayashi H, Oda T, Baba T, Komatsu S, Iwasawa T, Ogura T	放射線診断学	COVID-19 Pneumonia Resembling an Acute Exacerbation of Interstitial Pneumonia	Intern Med, 59(24): 3207-3211, 2020	Original Article
299	Tsuchiya N, Iwasawa T, Ogura T, Yamashiro T, Yara S, Fujita J, Murayama S	放射線診断学	Pulmonary flow assessment by phase-contrast MRI can predict short-term mortality of fibrosing interstitial lung diseases	Acta Radiol, 61(10): 1350-1358, 2020	Original Article

小計12件

300	Nishimura N, Kumaki T, Murakami H, Enomoto Y, Tsurusaki Y, Tsuji M, Tsuyusaki Y, Goto T, Aida N, Kurosawa K	放射線診断学	Expanding the phenotype of COL4A1-related disorders-Four novel variants	Brain Dev, 42(9): 639-645, 2020	Original Article
301	Takizaki N, Tsurusaki Y, Katsumata K, Enomoto Y, Murakami H, Muroya K, Ishikawa H, Aida N, Nishimura G, Kurosawa K	放射線診断学	Novel CUL7 biallelic mutations alter the skeletal phenotype of 3M syndrome	Hum Genome Var, 4(7): 1, 2020	Original Article
302	Kaneshi Y, Shibasaki J, Aida N, Shimokaze T, Toyoshima K	放射線診断学	Indocyanine green lymphography for congenital lymphatic dysplasia with tuberous sclerosis complex: A case report	Pediatr Int, 62(2): 234-236, 2020	Original Article
303	Murakami H, Uehara T, Tsurusaki Y, Enomoto Y, Kuroda Y, Aida N, Kosaki K, Kurosawa K	放射線診断学	Blended phenotype of AP4E1 deficiency and Angelman syndrome caused by paternal isodisomy of chromosome 15	Brain Dev, 42(3): 289-292, 2020	Original Article
304	Taoka T, Aida N, Fujii Y, Ichikawa K, Kawai H, Nakane T, Ito R, Naganawa S	放射線診断学	White matter microstructural changes in tuberous sclerosis: Evaluation by neurite orientation dispersion and density imaging (NODDI) and diffusion tensor images	Sci Rep, 10(1): 436, 2020	Original Article
305	Hayashi A, Ito E, Omura M, Aida N, Tanaka M, Tanaka Y, Sato H, Miyagawa N, Yokosuka T, Iwasaki F, Hamanoue S, Goto H	放射線診断学	Hypofractionated radiotherapy in children with diffuse intrinsic pontine glioma	Pediatr Int, 62(1): 47-51, 2020	Original Article
306	Mikami T, Honma-Koretsune Y, Tsunoda Y, Kagimoto S, Yabuki Y, Maegawa J, Terauchi T, Nawata S, Kamide H, Ishiwata Y, Kino T, Sugano T	形成外科学	Cardiac overload resolved by resection of a large plexiform neurofibroma on both the buttocks and upper posterior thighs in a patient with neurofibromatosis type I: a case report	BMC Surg, 20(1): 106, 2020	Case report
307	Sugiyama S, Iwai T, Mikami T, Hibiya T, Maegawa J	形成外科学	Endoscopically Assisted Resection of a Cervical Multicystic Lymphatic Malformation in an Adult	Ear Nose Throat J, https://doi.org/10.1177%2F0145561320935838 , 2020	Original Article
308	Asano S, Mikami T, Matsubara S, Maegawa J, Wakui H, Tamura K, Yoshimi R	形成外科学	Preliminary Report: The Relevance of Tumor Necrosis Factor- α in Acquired Primary Lymphedema-A Histopathological Investigation	Lymphat Res Biol, 18(3): 232-238, 2020	Original Article
309	K Kokubo, N Katori, K Hayashi, A Fujii, S Kitamura, R Ninomiya, S Haga, J Maegawa	形成外科学	Gingival sulcus incision for zygomaticomaxillary complex fracture	J Craniofac Surg, 31(8): e781-786, 2020	Original Article
310	Akimoto T, Suenaga J, Yamamoto T	脳神経外科学	A case of posterior fossa anaplastic ependymoma repeating recurrence	Nervous System in Children, 45(4): 358-364, 2020	Case report
311	Iida Y, Mori K, Kawahara Y, Fukui I, Abe K, Takeda M, Nakano T, Taguchi H, Nomura M	脳神経外科学	Hemifacial spasm caused by vertebral artery aneurysm treated by endovascular coil embolization	Surgical Neurology International, Published online doi:10.25259/SNI.564.2020, 2020	Original Article
312	Ikegaya N, Iwasaki M, Kaneko Y, Kaido T, Kimura Y, Yamamoto T, Sumitomo N, Saito T, Nakagawa E, Sugai K, Sasaki M, Takahashi A, Otsuki T	脳神経外科学	Cognitive and developmental outcomes after pediatric insular epilepsy surgery for focal cortical dysplasia	Journal of neurosurgery Pediatrics, 7:1-9, 2020	Original Article
313	Ishikawa S	脳神経外科学	Efficacy of intravenous catheter hormone sampling for growth hormone-secreting pituitary adenoma: a case report	横浜医学, 71(1): 13-16, 2020	Case report

小計14件

314	Miyake Y, Fujii K, Nakamura T, Ikegaya N, Matsushita Y, Gobayashi Y, Iwashita H, Uda N, Kumagai J, Murata H, Takemoto Y, Yamanaka S, Ichimura K, Tateishi K, Yamamoto T	脳神経外科学	IDH-mutant astrocytoma with chromosome 19q13 deletion manifesting as an oligodendroglioma-like morphology	J Neuropathol Exp Neurol, 80: 247–253, 2020	Original Article
315	Takase H, Chou SHY, Hamanaka G, Ohtomo R, Islam MR, Lee JW, Hsu L, Mathew J, Reyes-Bricio E, Hayakawa K, Xing C, Ning MM, Wang X, Arai K, Lo EH, Lok J	脳神経外科学	Soluble vascular endothelial cadherin in cerebrospinal fluid after subarachnoid hemorrhage	Neurology, 94(12): e1281–e1293, 2020	Original Article
316	Takase H, Tayama K, Nakamura Y, Mathew J, Regenhardt RW, Murata H, Yamamoto T	脳神経外科学	Anterior Cervical Decompression and C5 Palsy: A Systematic Review and Meta-Analysis of Three Reconstructive Surgeries	Spine (Phila Pa 1976), 45(22): 1587–1597, 2020	Original Article
317	Tateishi K, Miyake Y, Kawazu M, Sasaki N, Nakamura T, Sasame J, Yoshii Y, Ueno T, Miyake A, Watanabe J, Matsushita Y, Shiba N, Uda N, Ohki K, Fink AL, Tummala SS, Natsumeda M, Ikegaya N, Nishi M, Ohtake M, Miyazaki R, Suenaga J, Murata H, Aoki I, Miller JJ, Fujii Y, Ryo A, Yamanaka S, Mano H, Cahill DP, Wakimoto H, Chi AS, Batchelor TT, Nagane M, Ichimura K and Yamamoto T	脳神経外科学	A hyperactive RelA/p65—hexokinase 2 signaling axis drive primary central nervous system lymphoma	Cancer Res, 80(23): 5330–5343, 2020	Original Article
318	Tateishi K, Ikegaya N, Uda N, Sasame J, Hayashi T, Miyake Y, Okabe T, Minamoto R, Murata H, Utsunomiya D, Yamanaka S, Yamamoto T	脳神経外科学	BRAF V600E mutation mediates FDG—methionine uptake mismatch in polymorphous low—grade neuroepithelial tumor of the young	Acta Neuropathol Commun, 8(1): 139, 2020	Original Article
319	Takeuchi I	救急医学	COVID-19 first stage in Japan – how we treat 'Diamond Princess Cruise Ship' with 3700 passengers?	Acute Medicine & Surgery, 7(1): e506. doi:10.1002/ams2.506, 2020	Original Article
320	Ogawa F, Kato H, Sakai K, Nakamura K, Ogawa M, Uchiyama M, Nakajima K, Ohya Y, Abe T, Takeuchi I	救急医学	Environmental maintenance with effective and useful zoning to protect patients and medical staff from COVID-19 infection	Acute Medicine & Surgery, 7(1): e536, 2020	Original Article
321	Taniguchi H, Doi T, Abe T, Takeuchi I	救急医学	Trauma severity associated with stress index in emergency settings: an observational prediction-and-validation study	Acute Medicine & Surgery, 7(1): e493. doi: 10.1002/ams2.493, 2020	Original Article
322	Taniguchi H, Ogawa F, Honzawa H, Yamaguchi K, Niida S, Shinohara M, Takahashi K, Iwashita M, Abe T, Kubo S, Kudo M, Takeuchi I	救急医学	Veno-venous extracorporeal membrane oxygenation for severe pneumonia: COVID-19 case in Japan	Acute Medicine & Surgery, 7(1): e509. doi: 10.1002/ams2.509, 2020	Original Article
323	Nakajima K, Ogawa F, Sakai K, Uchiyama M, Oyama Y, Kato H, Takeuchi I	救急医学	A Case of Coronavirus Disease 2019 Treated With Ciclesonide	Mayo Clin Proc, 95(6): 1296–1297, 2020	Case report
324	Nakajima K, Abe T, Saji R, Ogawa F, Taniguchi H, Yamaguchi K, Sakai K, Nakagawa T, Matsumura R, Oi Y, Nishii M, Takeuchi I	救急医学	Serum cholinesterase associated with COVID-19 pneumonia severity and mortality	Journal of Infection, 82(2): 282–327. doi: 10.1016/j.jinf.2020.08.021, 2020	Original Article
325	Hiromi T, Yokoyama U, Kurotaki D, Mamun A, Ishiwata R, Ichikawa Y, Nishihara H, Umemura M, Fujita T, Yasuda S, Minami T, Goda M, Uchida K, Suzuki S, Takeuchi I, Masuda M, Breyer RM, Tamura T, Ishikawa Y	救急医学	Excessive EP4 Signaling in Smooth Muscle Cells Induces Abdominal Aortic Aneurysm by Amplifying Inflammation	Arteriosclerosis, Thrombosis, and Vascular Biology, 40(6): 1559–1573. doi:10.1161/ATVBAHA.120.314297, 2020	Original Article

小計12件

326	Doi H, Okubo M, Fukai R, Fujita A, Mitsuhashi S, Takahashi K, Kunii M, Tada M, Fukuda H, Mizuguchi T, Miyatake S, Miyake N, Sone J, Sobue G, Takeuchi H, Matsumoto N, Tanaka F	神経内科学・脳卒中医学	Reply to "GGC Repeat Expansion of NOTCH2NLC is rare in European Leukoencephalopathy"	Ann Neurol, 88(3):642-643, 2020	Original Article
327	Kunii M, Doi H, Hashiguchi S, Matsui T, Sakai Y, Iai M, Okubo M, Nakamura H, Takahashi K, Katsumoto A, Tada M, Takeuchi H, Ishikawa T, Miyake N, Saitsu H, Matsumoto N, Tanaka F	神経内科学・脳卒中医学	De novo CACNA1G variants in developmental delay and early-onset epileptic encephalopathies	J Neurol Sci, 416:117047, 2020	Original Article
328	Komiya H, Takeuchi H, Ogawa Y, Hatooka Y, Takahashi K, Katsumoto A, Kubota S, Nakamura H, Kunii M, Tada M, Doi H, Tanaka F	神経内科学・脳卒中医学	CCR2 is localized in microglia and neurons, as well as infiltrating monocytes, in the lumbar spinal cord of ALS mice	Mol Brain, 13(1): 64, 2020	Original Article
329	Ikeda T, Takeuchi H, Takahashi K, Nakamura H, Kunii M, Katsumoto A, Tada M, Higashiyama Y, Hibiya T, Suzuki S, Nishino I, Koyano S, Doi H, Tanaka F	神経内科学・脳卒中医学	Tonsillectomy Improved Therapeutic Response in Anti-SRP Myopathy With Chronic Tonsillitis	Front Immunol, 11: 595480, 2020	Original Article
330	Kubota S, Doi H, Koyano S, Tanaka K, Komiya H, Katsumoto A, Ikeda S, Hashiguchi S, Nakamura H, Fukai R, Takahashi K, Kunii M, Tada M, Takeuchi H, Tanaka F	神経内科学・脳卒中医学	SGTA associates with intracellular aggregates in neurodegenerative diseases	Mol Brain, 14(1):59, 2021	Original Article
331	Takahashi K, Takeuchi H, Fukai R, Nakamura H, Morihara K, Higashiyama Y, Takahashi T, Doi H, Tanaka F	神経内科学・脳卒中医学	Case Report: Anti-MOG Antibody Seroconversion Accompanied by Dimethyl Fumarate Treatment	Front Immunol, 12:625465, 2021	Case report
332	Doi A, Miyazaki T, Mihara T, Ikeda M, Niikura R, Andoh T, Goto T	麻酔科学	CLP290 promotes the sedative effects of midazolam in neonatal rats in a KCC2-dependent manner: A laboratory study in rats	PLoS One. 2021 Mar 12;16(3):e0248113. doi: 10.1371/journal.pone.0248113. eCollection 2021. PMID: 33711029 Free PMC article	Original Article
333	Fujii T, Yoshitani K, Kanemaru E, Nakai M, Nishimura K, Ohnishi Y, Nishiwaki K	麻酔科学	Sizing of mitral annuloplasty rings using real-time three-dimensional transesophageal echocardiography and the difference between patients with and without recurrent mitral regurgitation	retrospective cohort study. J Echocardiogr, 18:169, 2020	Original Article
334	Kanemaru E, Yoshitani K, Fukushima S, Fujita T, Ohnishi Y	麻酔科学	Effect of left ventricular assist device implantation on right ventricular function: Assessment based on right ventricular pressure-volume curves	Artif Organs, 2020, online ahead of print	Original Article
335	Kondo Y, Echigo N, Mihara T, Koyama Y, Takahashi K, Okamura K, Goto T	麻酔科学	Intraocular pressure during robotic-assisted laparoscopic prostatectomy: a prospective observational study	Braz J Anesthesiol, 2021 Apr 3:S0104-0014(21)00117-2. doi: 10.1016/j.bjane.2021.02.041. Online ahead of print. PMID: 33823210 Free article	Original Article
336	Terada Y, Miyashita T, Nagamine Y, Goto T	麻酔科学	A modified algorithm for choosing the most appropriate intraoperative pacemaker mode for patients with permanent pacemaker in non-cardiac surgery	J Anesth, 2021 Feb;35(1):145-149. doi: 10.1007/s00540-020-02878-5. Epub 2020 Nov 22. PMID: 33221960	Original Article
337	Tojo K, Mihara T, Goto T	麻酔科学	Effects of intraoperative tidal volume on incidence of acute kidney injury after cardiovascular surgery: A retrospective cohort study	Journal of Critical Care, 56: 152-156, 2020	Original Article
338	Tojo K, Sugawara Y, Oi Y, Ogawa F, Higurashi T, Yoshimura Y, Miyata N, Hayami H, Yamaguchi Y, Ishikawa Y, Takeuchi I, Tachikawa N, Goto T	麻酔科学	The U-shaped association of serum iron level with disease severity in adult hospitalized patients with COVID-19	Sci Rep. 2021 Jun 28;11(1):13431. doi: 10.1038/s41598-021-92921-6. PMID: 34183735	Original Article

小計12件

339	Yamaguchi Y, Miyashita T, Matsuda Y, Sasaki M, Takaki S, Kim SS., Tobias JD, Goto T	麻酔科学	The Difference Between Set and Delivered Tidal Volume: A Lung Simulation Study	Med Devices (Auckl), 13: 205-11, 2020	Original Article
340	Yamamoto S, Nagamine Y, Miyashita T, Ito S, Iwasawa Y, Kawai M, Saito S, Tamao T, Goto T	麻酔科学	Perioperative and anesthetic risk factors of surgical site infection in patients undergoing pancreaticoduodenectomy: a retrospective cohort study	PLOS ONE, 15(10): e0240490, 2020	Original Article
341	Yamamoto N, Anzai A, Okamura K, Gamo M, Goto T	麻酔科学	Risk factors for prolonged postoperative oxygen supplementation dependence after surgical lung biopsy in patients with interstitial pneumonia: A single-center, retrospective, observational study	J Clin Anesth, 65:2020	Original Article
342	Yanaizumi R, Nagamine Y, Harada S, Kojima K, Tazawa T, Goto T	麻酔科学	Prevalence of neuropathic pain in terminally ill patients with cancer admitted to a general ward: a prospective observational study	J Int Med Res, 2021 Jan;49(1):300060520987726. doi: 10.1177/0300060520987726 . PMID: 33478318 Free PMC article	Original Article
343	Yokoyama C, Mihara T, Kashiwagi S, Koga M, Goto T	麻酔科学	Effects of intravenous dextrose on preventing postoperative nausea and vomiting: A systematic review and meta-analysis with trial sequential analysis	PLoS One, 15(4): e0231958, 2020	Original Article
344	Yokoyama N, Takaki S, Yokose M, Kuabara K, Anzai A, Hamada T, Kashiwagi S, Okamura K, Sugawara Y, Goto T	麻酔科学	A question is "what are the optimal targets for anticoagulant therapies?"	Journal of Intensive Care, 8 (17) :2020	Original Article
345	Ide Y, Umeno Y, Tanaka N, Nagamine Y, Goto T, Susan P. McMullan P.S	麻酔科学	Introduction of evolving roles of Japanese perianesthesia nurses	J Anesth, 34:719-722, 2020	Original Article
346	Kyohara M, shirakawa J, Okuyama T, Togashi Y, Terauchi Y	内分泌・糖尿病内科学	Hepatokine soluble EGFR and adipokine Adipsin are serum biomarkers that reflect distinct aspects of insulin resistance in normal and type 2 diabetes subjects	Diabetol Metab Syndr, 12: 83, 2020	Original Article
347	Nakaguchi H, Kondo Y, Kyohara M, Konishi H, Oiwa K, Terauchi Y	内分泌・糖尿病内科学	Effects of liraglutide and empagliflozin added to insulin therapy in patients with type 2 diabetes: a randomized controlled study. ELLENA-IT study	J Diabetes Investig, 11(6): 1542-1550, 2020	Original Article
348	Okuyama T, Shirakawa J, Tajima K, Ino Y, Vethe H, Togashi Y, Kyohara M, Inoue R, Miyashita D, Li J, Goto N, Ichikawa T, Yamasaki S, Ohnuma H, Takayanagi R, Kimura Y, Hirano H, Terauchi Y	内分泌・糖尿病内科学	Linagliptin Ameliorates Hepatic Steatosis via Non-Canonical Mechanisms in Mice Treated with a Dual Inhibitor of Insulin Receptor and IGF-1 Receptor	Int J Mol Sci, 21(21): 7815, 2020	Original Article
349	Okuyama T, Shirakawa J, Nakamura T, Murase T, Miyashita D, Inoue R, Kyohara M, Togashi Y, Terauchi Y	内分泌・糖尿病内科学	Association of the plasma xanthine oxidoreductase activity with the metabolic parameters and vascular complications in patients with type 2 diabetes	Sci Rep, 11(1):3768, 2020	Original Article
350	Terauchi Y, Nakama T, Spranger R, Amano A, Inoue T, Niemoeller E	内分泌・糖尿病内科学	Efficacy and safety of insulin glargine/lixisenatide fixed-ratio combination (iGlarLixi 1:1) in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus inadequately controlled on oral antidiabetic drugs: A randomized, 26-week, open-label, multicenter study: The LixiLan JP-O2 Randomized Clinical Trial	Diabetes Obes Metab, 22(4): 14-23, 2020	Original Article
351	Terauchi Y, Yabe D, Kaneto H, Amano A, Baxter M, Watanabe D, Watada H, Inagaki N	内分泌・糖尿病内科学	Benefits of the fixed-ratio combination of insulin glargine 100 U/mL and lixisenatide (iGlarLixi) in Japanese people with type 2 diabetes: A subgroup and time-to-control analysis of the LixiLan JP phase 3 trials	Diabetes Obes Metab, 22(4): 35-47, 2020	Original Article

小計13件

352	Okuyama T, Shirakawa J, Nakamura T, Murase T, Miyashita D, Inoue R, Kyohara M, Togashi Y, Terauchi Y	内分泌・糖尿病内科学	Association of the plasma xanthine oxidoreductase activity with the metabolic parameters and vascular complications in patients with type 2 diabetes	Sci Rep. 2021 Feb 12;11(1):3768. doi: 10.1038/s41598-021-83234-9	Original Article
353	Kinguchi S, Wakui H, Ito Y, Kondo Y, Azushima K, Osada U, Yamakawa T, Iwamoto T, Yutoh J, Misumi T, Yasuda G, Yoshii T, Haruhara K, Kobayashi Y, Yamanaka T, Terauchi Y, Tamura K	内分泌・糖尿病内科学	Relationship between basal sodium intake and the effects of dapagliflozin in albuminuric diabetic kidney disease	Sci Rep. 2021 Jan 13;11(1):951. doi: 10.1038/s41598-020-79687-z	Original Article
354	Ito S, Torii T, Nakajima A, Iijima T, Murano H, Horiuchi H, Yamanaka H, Honda M	小児科学	Prevalence of gout and asymptomatic hyperuricemia in the pediatric population: a cross-sectional study of a Japanese health insurance database	BMC pediatrics, 20(1):481, 2020	Original Article
355	Takeuchi M, Kobayashi T, Biss T, Kamali F, Vear SI, Ho RH, Bajolle F, Lorient MA, Shaw K, Carleton BC, Hamberg AK, Wadelius M, Hirono K, Taguchi M, Wakamiya T, Yanagimachi M, Hirai K, Itoh K, Brandão LR, Ito S	小児科学	CYP2C9, VKORC1, and CYP4F2 polymorphisms and pediatric warfarin maintenance dose: a systematic review and meta-analysis	The Pharmacogenomics Journal, 20(2):306-319, 2020	Original Article
356	Tsujimoto S, Shirai R, Utano T, Osumi T, Matsumoto K, Shioda Y, Kiyotani C, Uchiyama T, Deguchi T, Terashima K, Tomizawa D, Matsumoto K, Kato M	小児科学	Comparison of clonazepam and levetiracetam in children for prevention of busulfan-induced seizure in hematopoietic stem cell transplantation	Int J Hematol, 111(3):463-466, 2020	Original Article
357	Nishimura K, Hara R, Umebayashi H, Takei S, Iwata N, Imagawa T, Shimizu M, Tomiita M, Seko N, Kitawaki T, Yokota S	小児科学	Efficacy and safety of canakinumab in systemic juvenile idiopathic arthritis: 48-week results from an open-label phase III study in Japanese patients	Mod Rheumatol, 31(1):226-234, 2021	Original Article
358	Aoki A, Hara Y, Okudela K, Ishikawa Y, Doshita K, Hashimoto H, Nakashima K, Horita N, Kobayashi N, Kaneko T	呼吸器病学	Unusual lung involvements of invasive mucinous adenocarcinoma with chylothorax	Thorac Cancer, 11:3407-3408, 2020	Original Article
359	Chen H, Horita N, Ito K, Nagakura H, Hara Y, Kobayashi N, Yamamoto M, Kudo M, Kaneko T	呼吸器病学	Systematic review of first-line chemotherapy for chemo-naïve extensive-stage small-cell lung cancer: network meta-analysis	Ther Adv Med Oncol, 12: 1758835920965841, 2020	Original Article
360	Chen H, Hara Y, Horita N, Saigusa Y, Hirai Y, Kaneko T	呼吸器病学	Declined Functional Status Prolonged Hospital Stay for Community-Acquired Pneumonia in Seniors	Clin Interv Aging, 15:1513-1519, 2020	Original Article
361	Chen H, Horita N, Ito K, Hara Y, Kobayashi N, Kaneko T	呼吸器病学	Hazard ratio of progression-free survival is an excellent predictor of overall survival in phase III randomized controlled trials evaluating the first-line chemotherapy for extensive-disease small-cell lung cancer	Transl Lung Cancer Res, 9: 1333-1342, 2020	Original Article
362	Horita N, Chen H, Kaneko T	呼吸器病学	Carboplatin plus etoposide for sensitive relapsed small-cell lung cancer	Lancet Oncol, 21:e545, 2020	Original Article

小計11件

363	Horita N, Kaneko T	呼吸器病学	Thrombomodulin Did Not Benefit Acute Exacerbation of Idiopathic Pulmonary Fibrosis in a Trial	Am J Respir Crit Care Med, 202;150-151, 2020	Original Article
364	Katakura S, Kobayashi N, Hashimoto H, Kamimaki C, Tanaka K, Kubo S, Nakashima K, Teranishi S, Watanabe K, Hara Y, Yamamoto M, Kudo M, Piao H, Kaneko T	呼吸器病学	Identification of a novel biomarker based on lymphocyte count, albumin level, and TBAG/PHA ratio for differentiation between active and latent tuberculosis infection in Japan	Tuberculosis (Edinb), 125:101992, 2020	Original Article
365	Katakura S, Kobayashi N, Hashimoto H, Kamimaki C, Tanaka K, Kubo S, Nakashima K, Teranishi S, Manabe S, Watanabe K, Horita N, Hara Y, Yamamoto M, Kudo M, Piao H, Kaneko T	呼吸器病学	MicroRNA-200b is a potential biomarker of the expression of PD-L1 in patients with lung cancer	Thorac Cancer, 11:2975-2982, 2020	Original Article
366	Kobayashi N, Hashimoto H, Kamimaki C, Nagasawa R, Tanaka K, Kubo S, Katakura S, Chen H, Hirama N, Ushio R, Aoki A, Nakashima K, Teranishi S, Manabe S, Watanabe H, Horita N, Watanabe K, Hara Y, Yamamoto M, Kudo M, Piao H, Kaneko T	呼吸器病学	Afatinib + bevacizumab combination therapy in EGFR-mutant NSCLC patients with osimertinib resistance:Protocol of an open-label, phase II, multicenter, single-arm trial	Thorac Cancer, 11:2125-2129, 2020	Original Article
367	Kubo S, Kobayashi N, Somekawa K, Hirata M, Kamimaki C, Aiko H, Katakura S, Teranishi S, Watanabe K, Hara Y, Yamamoto M, Kudo M, Kaneko T	呼吸器病学	Identification of Biomarkers for Non-small-cell Lung Cancer Patients Treated With an Immune Checkpoint Inhibitor	Anticancer Res, 40:3889-3896, 2020	Original Article
368	Nagasawa R, Hara Y, Murohashi K, Aoki A, Kobayashi N, Takagi S, Hashimoto S, Kawana A, Kaneko T	呼吸器病学	Serum heme oxygenase-1 measurement is useful for evaluating disease activity and outcomes in patients with acute respiratory distress syndrome and acute exacerbation of interstitial lung disease	BMC Pulm Med, 20:310, 2020	Original Article
369	Nagasawa R, Hara Y, Miyazaki T, Murohashi K, Watanabe H, Kaneko T	呼吸器病学	An autopsy case of ventilator-associated tracheobronchitis caused by Corynebacterium species complicated with diffuse alveolar damage	Respir Med Case Rep, 31:101208, 2020	Original Article
370	Watanabe K, Asai Y, Tsurikisawa N, Oshikata C, Kaneko T	呼吸器病学	Factors associated with pneumococcal vaccine uptake in elderly subjects referred to the respiratory department	Nagoya J Med Sci, 82:469-476, 2020	Original Article
371	Horita N, Katakura S, Kaneko T	呼吸器病学	Combination treatment options for small-cell lung cancer	Lancet Oncol, 22:e83, 2021	Original Article
372	Horita N, Fukuda N, Kaneko T	呼吸器病学	Atezolizumab for PD-L1-Selected Patients with NSCLC	N Engl J Med, 384:583-584, 2021	Original Article
373	Kubo S, Ohtake N, Miyakawa K, Jeremiah SS, Yamaoka Y, Murohashi K, Hagiwara E, Mihara T, Goto A, Yamazaki E, Ogura T, Kaneko T, Yamanaka T, Ryo A	呼吸器病学	Development of an Automated Chemiluminescence Assay System for Quantitative Measurement of Multiple Anti-SARS-CoV-2 Antibodies	Front Microbiol, 11:628281, 2021	Original Article
374	Chen H, Horita N, Matsumoto H, Namkoong H, Hara Y, Kobayashi N, Kaneko T	呼吸器病学	ABO blood group as a risk factor for tuberculosis: A network meta-analysis	Int J Infect Dis, 104:701-707, 2021	Original Article

小計11件

375	Nagasawa R, Hara Y, Murohashi K, Saigusa Y, Nishikawa Y, Tanaka M, Aoki A, Tagami Y, Kobayashi N, Kudo M, Kaneko T	呼吸器病学	Additional Efficacy of Macrolide for Patients With Acute Deterioration of Interstitial Lung Disease Requiring Corticosteroid Pulse Therapy	Am J Ther, 10:1097, 2021	Original Article
376	Chen H, Hara Y, Horita N, Saigusa Y, Kaneko T	呼吸器病学	An Early Screening Tool for Discharge Planning Shortened Length of Hospital Stay for Elderly Patients with Community-Acquired Pneumonia	Clin Interv Aging, 16:443-450, 2021	Original Article
377	Gohbara M, Sugano T, Matsumoto Y, Nakayama M, Iwata K, Komura N, Konishi M, Shigenaga A, Ishikawa T, Tamura K, Kimura K	循環器・腎臓・高血圧内科学	Is crossability of the classic crown with the glide assist superior to the micro crown in the Diamondback 360® coronary orbital atherectomy system?	Cardiovasc Interv Ther, 4:361-370, 2020	Original Article
378	Gohbara M, Sugano T, Narikawa M, Ishikawa T, Tamura K, Kimura K	循環器・腎臓・高血圧内科学	Bailout technique for the guide extension catheter entrapment by a coronary stent	Cardiovasc Interv Ther, Online ahead of print, 2020	Original Article
379	Gohbara M, Iwahashi N, Nakahashi H, Kataoka S, Takahashi H, Kirigaya J, Minamimoto Y, Akiyama E, Okada K, Matsuzawa Y, Konishi M, Maejima N, Hibi K, Kosuge M, Ebina T, Sugano T, Ishikawa T, Tamura K, Kimura K	循環器・腎臓・高血圧内科学	Clinical impact of admission urinary 8-hydroxydeoxyguanosine level for predicting cardiovascular mortality in patients with acute coronary syndrome	Heart Vessels. 2020 Jul 6. doi:10. 1007/s00380-020-01663-4. Online ahead of print	Original Article
380	Gohbara M, Iwahashi N, Nakahashi H, Kataoka S, Takahashi H, Kirigaya J, Minamimoto Y, Akiyama E, Okada K, Matsuzawa Y, Konishi M, Maejima N, Hibi K, Kosuge M, Ebina T, Sugano T, Ishikawa T, Tamura K, Kimura K	循環器・腎臓・高血圧内科学	Clinical impact of admission urinary 8-hydroxydeoxyguanosine level for predicting cardiovascular mortality in patients with acute coronary syndrome	Heart Vessels, 36(1):38-47,2021	Original Article
381	Hosoda J, Ishikawa T, Matsumoto K, Kiyokuni M, Taguchi Y, Narikawa M, Hibi K, Sugano T, Ishigami T, Tamura K, Kimura K	循環器・腎臓・高血圧内科学	Significance of ventricular arrhythmia based on stored electrogram analysis in a pacemaker population	International Heart Journal, 61(5):922-926, 2020	Original Article
382	Ishigami T, Kino T, Minegishi S, Araki N, Umemura M, Ushio H, Saigoh S, Sugiyama M	循環器・腎臓・高血圧内科学	Regulators of Epithelial Sodium Channels in Aldosterone-Sensitive Distal Nephrons (ASDN):Critical Roles of Nedd4L/Nedd4-2 and Salt-Sensitive Hypertension	International journal of molecular sciences, 21(11):3871, 2020	Original Article
383	Kamimura D, Valle KA, Blackshear C, Mentz RJ, Yeboah J, Rodriguez CJ, Herrington DM, Suzuki T, Clark III D, Fox ER, Shah AM, Stacey RB, Hundley WG, Correa A, Butler J, Hall ME	循環器・腎臓・高血圧内科学	Relation of Low Normal Left Ventricular Ejection Fraction to Heart Failure Hospitalization in Blacks (From the Jackson Heart Study)	Am J Cardiol, 136:100-106, 2020	Original Article
384	Kato S, Fukui K, Kodama S, Azuma M, Iwasawa T, Kimura K, Tamura K, Utsunomiya D	循環器・腎臓・高血圧内科学	Incremental prognostic value of coronary flow reserve determined by phase-contrast cine cardiovascular magnetic resonance of the coronary sinus in patients with diabetes mellitus	Journal of cardiovascular magnetic resonance : official journal of the Society for Cardiovascular Magnetic Resonance , 22(1):73-73, 2020	Original Article
385	Kato S, Fukui K	循環器・腎臓・高血圧内科学	Successful stent implantation with the use of non contrast whole-heart coronary magnetic resonance angiography and intravascular ultrasound in patient with allergy to iodinated contrast media	Cardiovascular intervention and therapeutics , doi:10. 1007/s12928-020-00712-z, 2020	Original Article
386	Kinguchi S, Wakui H, Ito Y, Kondo Y, Azushima K, Osada U, Yamakawa T, Iwamoto T, Yutoh J, Misumi T, Yasuda G, Yoshii T, Haruhara K, Kobayashi Y, Yamanaka T, Terauchi Y, Tamura K	循環器・腎臓・高血圧内科学	Relationship between basal sodium intake and the effects of dapagliflozin in albuminuric diabetic kidney disease	Sci Rep,13;11(1):951,2021	Original Article
387	Kino T, Khan M, Mohsin S	循環器・腎臓・高血圧内科学	The Regulatory Role of T Cell Responses in Cardiac Remodeling Following Myocardial Infarction	Int J Mol Sci, 21(14):5013, 2020	Original Article

小計14件

388	Konishi M, Kagiya N, Kamiya Saito K Saito H K, Ogasahara Y, Maekawa E, Misumi Kitai T, Iwata K, Jujo K, Wada H, Kasai T, Nagamatsu H, Ozawa T, Izawa K, Yamamoto S, Aizawa N, Makino A, Oka K, Momomura S, Matsue Y	循環器・腎臓・高血圧内科学	Impact of sarcopenia on prognosis in patients with heart failure with reduced and preserved ejection fraction	Eur J Prev Cardiol, 2020 (in press)	Original Article
389	Konishi M, Matsuzawa Y, Ebina T, Kosuge M, Gohbara M, Nishimura K, Nakai M, Miyamoto Y, Saito Y, Tsutsui H, Komuro I, Ogawa H, Tamura K, Kimura K	循環器・腎臓・高血圧内科学	Impact of population density on mortality in patients hospitalized for heart failure – JROAD-DPC Registry Analysis	J Cardiol, 75(4):447–453, 2020	Original Article
390	Minegishi S, Friedrich C Luft, Jens Titze, Kitada K	循環器・腎臓・高血圧内科学	Sodium Handling and Interaction in Numerous Organs	American journal of hypertension, 33(8):687–694, 2020	Original Article
391	Nakashima R, Nitta M, Matsumoto K, Sugano T, Ishigami T, Ishikawa T, Tamura K, Machida D, Masuda M, Kimura K	循環器・腎臓・高血圧内科学	Unusual double-chambered right ventricle induced by ruptured sinus of Valsalva aneurysm: A case report	Journal of Cardiology Case, 22(5):234–237, 2020	Case report
392	Nakayama M, Konishi M, Akiyama E, Morita Y, Fukutomi Y, Nakayama N, Takamura T, Tamura K, Kimura K	循環器・腎臓・高血圧内科学	Prognostic role of bronchial asthma in patients with heart failure	Heart Vessels, 35(6):808–816, 2020	Original Article
393	Nitta M, Nakashima R, Kino T, Matsumoto Y, Nakayama M, Iwata K, Matsumoto K, Sugano T, Ishigami T, Ishikawa T, Tamura K, Kimura K	循環器・腎臓・高血圧内科学	Importance of identifying the direction of pulmonary venous flow in diagnosing a cavopulmonary window: A case report and review of literature	J Cardiol Cases, 21(5):179–181, 2020	Original Article
394	Ogino Y, Ishigami T, Minamimoto Y, Kimura Y, Akiyama E, Okada K, Matsuzawa Y, Maejima N, Iwahashi N, Hibi K, Kosuge M, Ebina T, Ishikawa T, Tamura K, Kimura K	循環器・腎臓・高血圧内科学	Direct Oral Anticoagulant Therapy for Cancer-Associated Venous Thromboembolism in Routine Clinical Practice	Circ J, 84(8):1330–1338, 2020	Original Article
395	Suzuki T, Kamimura D, Wakui H, Tamura K. Suzuki T	循環器・腎臓・高血圧内科学	May need more comprehensive approach to residual risks in well controlled hypertensive patients	Hypertens Res, 44(2):253–255, 2021	Original Article
396	Tamura K, Uchida K, Ishigami T	循環器・腎臓・高血圧内科学	An interesting link between quality of sleep and a measure of blood pressure variability	J Clin Hypertens (Greenwich), 23(2):331–333, 2021	Original Article
397	Ueda E, Toya Y, Wakui H, Kawai Y, Azushima K, Fujita T, Saigusa Y, Yamanaka T, Yabuki Y, Mikami T, Goda M, Sugano T, Tamura K	循環器・腎臓・高血圧内科学	LDL Apheresis-mediated Endothelial Activation Therapy to Severe-Peripheral Artery Disease (LETS-PAD) Study: Rationale and Study Design	Ther Apher Dial, 24(5):524–529, 2020	Original Article
398	Wakui H, Yamaji T, Azushima K, Uneda K, Haruhara K, Nakamura A, Ohki K, Kinguchi S, Kobayashi R, Urate S, Suzuki T, Kamimura D, Minegishi S, Ishigami T, Kanaoka T, Matsuo K, Miyazaki T, Fujikawa T, Yamashita A, Tamura K	循環器・腎臓・高血圧内科学	Effects of Rikkunshito treatment on renal fibrosis/inflammation and body weight reduction in a unilateral ureteral obstruction model in mice	Sci Rep, 10(1):1782, 2020	Original Article
399	Higashihira S, Kobayashi N, Choe H, Sumi K, Inaba Y	整形外科	Use of a 3D Virtually Reconstructed Patient-Specific Model to Examine the Effect of Acetabular Labral Interference on Hip Range of Motion	Orthopaedic Journal of Sports Medicine, EJ, 2020	Original Article

小計12件

400	Ike H, Bodner RJ, Lundergan W, Saigusa Y, Dorr LD	整形外科科学	The Effects of Pelvic Incidence in the Functional Anatomy of the Hip Joint	The Effects of Pelvic Incidence in the Functional Anatomy of the Hip Joint	Original Article
401	Kobayashi D, Choe H, Kobayashi N, Tezuka T, Ike H, Inaba Y	整形外科科学	Association of Femoral Rotation with Whole-Body Alignment in Patients Who Underwent Total Hip Arthroplasty	Arthroplast Today, 6(3): 532-537, 2020	Original Article
402	Kumagai K, Yamada S, Nejima S, Muramatsu S, Akamatsu Y, Inaba Y	整形外科科学	Lateral hinge fracture delays healing of the osteotomy gap in opening wedge high tibial osteotomy with a beta-tricalcium phosphate block	Knee, 27(1): 192-197, 2020	Original Article
403	Miyatake K, Kumagai K, Imai S, Yamaguchi Y, Inaba Y	整形外科科学	Sclerostin inhibits interleukin-1beta-induced late stage chondrogenic differentiation through downregulation of Wnt/beta-catenin signaling pathway	PLoS One, 15(9):e0239651. doi: 10.1371/journal.pone.0239651. eCollection, 2020	Original Article
404	Morita A, Kobayashi N, Choe H, Ike H, Tezuka T, Higashihira S, Inaba Y	整形外科科学	Effect of switching administration of alendronate after teriparatide for the prevention of BMD loss around the implant after total hip arthroplasty, 2-year follow-up: a randomized controlled trial	J Orthop Surg Res, 15(1):17, 2020	Original Article
405	Morita A, Kobayashi N, Choe H, Tezuka T, Kawabata Y, Hayashida K, Higashihira S, Kato I, Inaba Y	整形外科科学	A rare case of osteoblastoma in the femoral head combined with cam-type femoroacetabular impingement: A case report	SAGE Open Med Case Rep, 8(406): 2050313X2097802, 2020	Case report
406	Nejima S, Akamatsu Y, Kobayashi H, Tsuji M, Mitsuhashi S, Sasaki T, Kumagai K, Inaba Y	整形外科科学	Relationship between lower limb torsion and coronal morphologies of the femur and tibia in patients with medial knee osteoarthritis	BMC Musculoskeletal Disorders, 21(1): 254, 2020	Original Article
407	Nejima S, Kumagai K, Kobayashi H, Yamada S, Akamatsu T, Ogino T, Sotozawa M, Inaba Y	整形外科科学	Varus inclination of the tibia is related to patellofemoral osteoarthritis in Japanese female patients with moderate knee osteoarthritis	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc, 29(2): 652-658, 2020	Original Article
408	Nejima S, Kumagai K, Kobayashi H, Yamada S, Akamatsu T, Ogino T, Sotozawa M, Inaba Y	整形外科科学	Coronal shaft bowing of the femur affects varus inclination of the surgical transepicondylar axis in varus knee osteoarthritis	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc, 29(3): 814-819, 2020	Original Article
409	Tezuka T, Kobayashi N, Choe H, Oba M, Miyamae Y, Morita A, Inaba Y	整形外科科学	Influence of Hydroxyapatite Coating for the Prevention of Bone Mineral Density Loss and Bone Metabolism after Total Hip Arthroplasty: Assessment Using 18 F-Fluoride Positron Emission Tomography and Dual-Energy X-Ray Absorptiometry by Randomized Controlled Trial	Biomed Res Int, 4154290. doi: 10.1155/2020/4154290. eCollection 2020	Original Article
410	Watanabe S, Kobayashi N, Tomoyama A, Choe H, Yamazaki E, Inaba Y	整形外科科学	Differences in Diagnostic Properties Between Standard and Enrichment Culture Techniques Used in Periprosthetic Joint Infections	J Arthroplasty, 35(1): 235-240, 2020	Original Article

小計11件

411	Watanabe S, Choe H, Kobayashi N, Ike H, Kobayashi D, Higashihira S, Inaba Y	整形外科科学	Utility of CT-based navigation in revision total hip arthroplasty for a patient with severe posterior pelvic tilt-case report	BMC Musculoskelet Disord. 21(1): 249, 2020	Case report
412	Yamada S, Kumagai K, Harigane K, Choe H, Tezuka T, Mochida Y, Inaba Y	整形外科科学	Factors associated with disease activity after orthopaedic surgery in patients with rheumatoid arthritis	Modern Rheumatology. 30(6): 997-1001, 2020	Original Article
413	Morita A,Kobayashi N,Choe H,Tezuka T,Higashihira S,Inaba Y	整形外科科学	Preoperative factors predicting the severity of BMD loss around the implant after Total hip Arthroplasty	BMC Musculoskelet Disord.22(1):290,2021 Mar.19	Original Article
414	Nejima S,Kumagai K,Kobayashi H,Yamada S,Akamatsu T,Ogino T,Sotozawa M,Inaba Y	整形外科科学	Coronal shaft bowing of the femur affects varus inclination of the surgical transepicondylar axis in varus knee osteoarthritis	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc.29(3):814-819,2021 Mar	Original Article
415	Nejima S,Kumagai K,Kobayashi H,Yamada S,Akamatsu T,Ogino T,Sotozawa M,Inaba Y	整形外科科学	Varus inclination of the tibia is related to patellofemoral osteoarthritis in Japanese female patients with moderate knee osteoarthritis	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc.29(2):652-658,2021 Feb	Original Article
416	Yang F,Choe H,Kobayashi N,Tezuka T,Oba M,Miyamae Y,Morita A,Abe K,Inaba Y	整形外科科学	An automated real-time PCR assay for synovial fluid improves the preoperative etiological diagnosis of periprosthetic joint infection and septic arthritis	J Orthop Res.39(2):348-355,2021 Feb	Original Article
417	Kumagai K,Fujimaki H,Yamada S,Nejima S,Matsubara J,Inaba Y	整形外科科学	Difference in the early postoperative change of the joint line convergence angle between opening wedge and closed wedge high tibial osteotomies	J Orthop Surg Res.16(1):66,2021 Jan 19	Original Article
418	Kumagai K,Yamada S,Akamatsu T,Nejima S,Ogino T,Sotozawa M,Inaba Y	整形外科科学	Intraoperatively accurate limbalignment after opening wedge high tibial osteotomy can be lost by large knee joint line convergence angle during surgery	Arch Orthop Trauma Surg.141(1):23-28,2021 Jan	Original Article
419	Hayashida K,Kawabata Y,Kato I,Kamiishi T,Matsuo K,Takeyama M,Inaba Y	整形外科科学	Clinical and pathological analysis of giant cell tumor of bone with denosumab treatment and local recurrence	J Orthop Sci.2020 Dec 23:S0949-2658(20)30345-6. [Online ahead of print]	Original Article
420	Fujimaki H,Nakazawa A,Hirano M,Takeuchi T,Kadowaki A,Kusayama Y,Ide M,Kanai K,Kim Y,Matsubara K,Inaba Y	整形外科科学	Status of fracture risk assessment and osteoporosis treatment in Japanese Patients with rheumatoid arthritis	Mod Rheumatol:1-5,2020 Nov.[Epub ahead of print]	Original Article
421	Hayashida K,Kawabata Y,Kato I,Suzuki M,Takeyama M,Inaba Y	整形外科科学	G-CSF Production by Undifferentiated Pleomorphic Sarcoma with Leukemoid Reaction Occurred in the Lower Leg:A Case Report	JBJS Case Connect.10(2):e0624,2020 Apr-Jun	Original Article

小計11件

422	Ogikubo M, Yamazaki I, Izubuchi R, Masuda T, Isoda S, Masuda M	外科治療学	A case of malignant lymphoma invading the aorta, which mimicked aortic dissection	Annals of Cancer Research and Therapy, 28(2):164-167,2020. Dec	Case report
423	Yukawa N, Aoyama T, Tamagawa H, Tamagawa A, Atsumi Y, Kawahara S, Maezawa Y, Kano K, Murakawa M, Kazama K, Numata M, Oshima T, Masuda M, Rino Y	外科治療学	The Lymph Node Ratio Is an Independent Prognostic Factor in Esophageal Cancer Patients Who Receive Curative Surgery.	In vivo, 34(4):2087-2093,2020. Jul-Aug	Original Article
424	Tamagawa H, Aoyama T, Tamagawa A, Komori K, Maezawa Y, Kano K, Kazama K, Murakawa M, Atsumi Y, Hara K, Numata M, Oshima T, yukawa N, Masuda M, Rino Y	外科治療学	Influence of the Preoperative C-Reactive Protein-to-Albumin Ratio on Survival and Recurrence in Patients With Esophageal Cancer	Anticancer Research, 40(4):2365-2371, 2020. Apr	Original Article
425	Tamagawa H, Aoyama T, Yamamoto N, Kamiya M, Murakawa M, Atsumi Y, Numata M, Kazama K, Hara K, Yukawa N, Rino Y, Masuda M, Morinaga S	外科治療学	The Impact of Intraoperative Blood Loss on the Survival of Patients With Stage II/III Pancreatic Cancer	In vivo,34(3):1469-1474,2020.Jun	Original Article
426	Tamagawa H, Numata M, Aoyama T, Tamagawa A, Komori K, Maezawa Y, Kano K, Kazama K, Murakawa M, Atsumi Y, Hara K, Kawahara S, Yamada T, Ogata T, Ohshima T, Yukawa N, Masuda M, Rino Y	外科治療学	The comparison of outcomes between video-assisted thoracoscopic and open surgery for esophageal cancer	Annals of Cancer Research and Therapy,28(2):97-101,2020. Sep	Original Article
427	Tamagawa H, Aoyama T, Numata M, Kazama K, Maezawa Y, Atsumi Y, Hara K, Kawahara S, Kano K, Yukawa N, Saeki H, Godai T, Rino Y, Masuda M	外科治療学	A Comparison of Open and Laparoscopic-assisted Colectomy for Obstructive Colon Cancer	In Vivo, 34(5):2797-2801,2020. Sep	Original Article
428	Tamagawa H, Aoyama T, Inoue H, Fujikawa H, Sawazaki S, Numata M, Sato T, Oshima T, Yukawa N, Morimoto M, Ueno M, Rino Y, Masuda M	外科治療学	Therapeutic results of Denver percutaneous peritoneovenous shunt in cancer patients with malignant ascites	Journal of Cancer Research and Therapeutics, 16(Supplement):S95-S98, 2020. Dec	Original Article
429	Aoyama T, Tamagawa H	外科治療学	The clinical effect of Kampo medicine in multimodal treatment for Gastrointestinal Cancer in Japan	Journal of Cancer, 11(18):5390-5394,2020. Jul	Original Article
430	Aoyama T, Yamamoto N, Kamiya M, Murakawa M, Tamagawa H, Sawazaki S, Numata M, Kobayashi S, Ueno M, Morimoto M, Shiozawa M, Yukawa N, Oshima T, Yoshikawa T, Rino Y, Masuda M, Morinaga S	外科治療学	The age-adjusted Charlson comorbidity index is an independent prognostic factor in pancreatic cancer patients who receive curative resection followed by adjuvant chemotherapy	Journal of Cancer Research and Therapeutics, 16(8):S116-S121,2020. Dec	Original Article
431	Aoyama T, Atsumi Y, Hara K, Tamagawa H, Tamagawa A, Komori K, Hashimoto I, Maezawa Y, Kazama K, Kano K, Murakawa M, Numata M, Oshima T, Yukawa N, Masuda M, Rino Y	外科治療学	Risk Factors for Postoperative Anastomosis Leak After Esophagectomy for Esophageal Cancer	In Vivo, 34(2):857-862,2020. Apr	Original Article
432	Aoyama T, Atsumi Y, Kawahara S, Tamagawa H, Tamagawa A, Maezawa Y, Kano K, Murakawa M, Kazama K, Numata M, Oshima T, Yukawa N, Masuda M, Rino Y	外科治療学	The Number of Harvested LNs Is an Independent Prognostic Factor in Lymph Node Metastasis-negative Patients Who Received Curative Esophagectomy	In Vivo, 34(4):2021-2027, 2020. Aug	Original Article

小計11件

433	Aoyama T, Atsumi Y, Kawahara S, Tamagawa H, Tamagawa A, Ozawa Y, Maezawa Y, Kano K, Murakawa M, Kazama K, Segami K, Hara K, Numata M, Oshima T, Yukawa N, Masuda M, Rino Y	外科治療学	The Clinical Impact of the Age-adjusted Charlson Comorbidity Index on Esophageal Cancer Patients Who Receive Curative Treatment	In Vivo, 34(5): 2783–2790, 2020. Oct	Original Article
434	Aoyama T, Atsumi Y, Hara K, Kazama K, Tamagawa H, Tamagawa A, Komori K, Maezawa Y, Kano K, Hashimoto I, Oshima T, Murakawa M, Numata M, Yukawa N, Masuda M, Rino Y	外科治療学	Postoperative Bleeding After Esophagectomy for Esophageal Cancer in Patients Receiving Antiplatelet and Anticoagulation Treatment	Anticancer Research, 40(4): 2359–2364, 2020. Apr	Original Article
435	Numata M, Kazama K, Onodera A, Hara K, Atsumi Y, Okamoto H, Aoyama T, Tamagawa H, Godai T, Saeki H, Yukawa N, Shiozawa M, Rino Y, Masuda M	外科治療学	Short-term Outcomes Following Robotic-assisted Laparoscopic Surgery for Technically Demanding Rectal Cancer	Anticancer Research, 40(4):2337–2342, 2020. Apr	Original Article
436	Kazama K, Numata M, Aoyama T, Onodera A, Hara K, Atsumi Y, Tamagawa H, Godai T, Saeki H, Saegusa Y, Okamoto H, Shiozawa M, Oshima T, Yukawa N, Masuda M, Rino Y	外科治療学	Laparoscopic vs. Open Surgery for Stage II/III Colon Cancer Patients with Body Mass Index >25 kg/m ²	In vivo, 34(4):2079–2085, 2020. Aug	Original Article
437	Kazama K, Otake J, Satoyoshi T, Shiozawa M, Sugano N, Sato S, Atsumi Y, Kano K, Murakawa M, Maezawa Y, Hashimoto I, Numata M, Oshima T, Yukawa N, Rino Y, Sasada T, Masuda M	外科治療学	Distribution of Regulatory T-Cells and Other Phenotypes of T-Cells in Tumors and Regional Lymph Nodes of Colorectal Cancer Patients	In vivo, 34(2):849–856, 2020. Apr	Original Article
438	Isaka T, Ito H, Nakayama N, Yokose T, Yamada K, Masuda M	外科治療学	Effect of epidermal growth factor receptor mutation on early-stage non-small cell lung cancer according to the 8th TNM classification	Lung Cancer, 145:111–118, 2020. Jul	Original Article
439	Yoshida T, Suganuma N, Sato S, Toda S, Nakayama H, Masudo K, Okubo Y, Hayashi H, Yokose T, Koshikawa N, Rino Y, Iwasaki H, Miyagi Y, Masuda M, Hoshino D	外科治療学	Membrane type 1 matrix metalloproteinase regulates anaplastic thyroid carcinoma cell growth and invasion into the collagen matrix	Biochemical and Biophysical Research Communications, 529(4): 1195–1200, 2020. Sep	Original Article
440	Nakayama H, Kawachi K, Suganuma N, Yoshida T, Yamashita T, Yamanaka T, Matsubara Y, Kohagura K, Toda S, Nakamura Y, Miyagi Y, Rino Y, Masuda M	外科治療学	EZH2 and MMSET Were Identified as Potentially Useful Therapeutic Targets in Metaplastic Breast Carcinoma	Anticancer Research, 40(4):2133–2139, 2020. Apr	Original Article
441	Cho T, Uchida K, Kasama K, Machida D, Minami T, Yasuda S, Matsuki Y, Suzuki S, Masuda M	外科治療学	Brachiocephalic artery dissection is a marker of stroke after acute type A aortic dissection repair	Journal of Cardiothoracic Surgery, 36(3):902–908, 2021. Mar	Original Article
442	Nemoto H, Uchida K, Minami T, Yasuda S, Cho T, Masuda M	外科治療学	A massive postoperative stroke caused by a carotid thrombus that occurred during the surgical repair of an aortic dissection	SAGE Open Medical Case Reports, 9:1–4, 2021. Jun	Original Article
443	Aoyama T, Segami K, Nagasawa S, Tamagawa H, Tamagawa A, Maezawa Y, Kano K, Nakazono M, Oshima T, Yukawa N, Masuda M, Rino Y	外科治療学	The Clinical Impacts of Neutrophil to Lymphocyte Ratio for Esophageal Cancer Patients Who Receive Curative Treatment	Indian Journal of Surgery, doi.org/10.1007/s12262-021-02830-1, 2021. Mar	Original Article

小計11件

444	Kazama K, Numata M, Aoyama T, Atsumi Y, Tamagawa h, Godai T, Saeki H, Saigusa Y, Shiozawa M, Yukawa N, Masuda M, Rino Y	外科治療学	Does the Endoscopic Surgical Skill Qualification System improve patients' outcome following laparoscopic surgery for colon cancer? A multicentre, retrospective analysis with propensity score matching	World Journal of Surgical Oncology, 19(1):53, 2021. Feb	Original Article
445	Isaka T, Yokose T, Ito T, Nakayama H, Miyagi Y, Saito H, Masuda M	外科治療学	Detection of EGFR mutation of pulmonary adenocarcinoma in sputum using droplet digital PCR	BMC Pulmonary Medicine, 21(1):100, 2021. Mar	Original Article
446	Niikura T, Imajo K, Ozaki A, Kobayashi T, Iwaki M, Honda Y, Kessoku T, Ogawa Y, Yoneda M, Kirikoshi H, Saito S, Nakajima A	肝胆膵消化器病学	A Coronary Artery Disease is More Severe in Patients with Non-Alcoholic Steatohepatitis than Fatty Liver	Diagnostics(Basel), 10(3): 129, 2020	Original Article
447	Arimoto J, Chiba H, Ashikari K, Fukui R, Tachikawa J, Suto T, Kawano N, Niikura T, Kuwabara H, Nakaoka M, Ida T, Higurashi T, Goto T, Nakajima A	肝胆膵消化器病学	Safety and efficacy of cold snare polypectomy for pedunculated (Ip) polyps measuring less than 10 mm in diameter	International Journal Colorectal Disease, 35(5): 859-867, 2020	Original Article
448	Inadomi C, Takahashi H, Ogawa Y, Oeda S, Imajo K, Kubotsu Y, Tanaka K, Kessoku T, Okada M, Isoda H, Akiyama T, Fukushima H, Yoneda M, Anzai K, Aishima S, Nakajima A, Eguchi Y	肝胆膵消化器病学	Accuracy of the enhanced liver fibrosis (ELF) test and combination of ELF and noninvasive tests for the diagnosis of advanced liver fibrosis in patients with nonalcoholic fatty liver disease	Hepatology Research, 50(6): 682-692, 2020	Original Article
449	Ozaki A, Yoneda M, Kessoku T, Iwaki M, Kobayashi T, Honda Y, Ogawa Y, Imajo K, Sakai E, Taguri M, Yamanaka T, Iwasaki T, Kurihashi T, Saito S, Nakajima A	肝胆膵消化器病学	Effect of tofogliflozin and pioglitazone on hepatic steatosis in non-alcoholic fatty liver disease patients with type 2 diabetes mellitus: A randomized, open-label pilot study (ToPiND study)	Contemp Clin Trials Commun, doi: 10.1016/j.conctc.2019.100516, eCollection 2020	Original Article
450	Pitisuttithum P, Chan WK, Piyachaturawat P, Imajo K, Nakajima A, Seki Y, Kasama K, Kakizaki S, Fan JG, Song MJ, Yoon SK, Dan YY, Lesmana L, Ho KY, Goh KL, Wong VWS, Treeprasertsuk S	肝胆膵消化器病学	Predictors of advanced fibrosis in elderly patients with biopsy-confirmed nonalcoholic fatty liver disease: the GOASIA study	BMC Gastroenterology, 20(1): 88, 2020	Original Article
451	Suzuki A, Katoh H, Komura D, Kakiuchi M, Tagasgira A, Yamamoto S, Tatsuno K, Ueda H, Nagae G, Fukuda S, Umeda T, Totoki Y, Abe H, Ushiku T, Matsuura T, Sakai E, Ohshima T, Nomura S, Seto Y, Shibata T, Rino Y, Nakajima A, Fukayama M, Ishikawa S, Aburatani H	肝胆膵消化器病学	Defined lifestyle and germline factors predispose Asian populations to gastric cancer	Science Advances, 6(19): doi: 10.1126/sciadv.aav9778, 2020	Original Article
452	Fujisawa T, Shimamura T, Goto K, Nakagawa R, Muroyama R, Ino Y, Horiuchi H, Endo I, Maeda S, Harihara Y, Nakajima A, Matsuhashi N, Kato N, Isayama H, Ankit Puri A, Akiko Suzuki A, Ian Bellayr I, Pamela Leland P, Bharat H, Joshi, Raj K. Puri	肝胆膵消化器病学	A Novel Role of Interleukin 13 Receptor alpha2 in Perineural Invasion and its Association with Poor Prognosis of Patients with Pancreatic Ductal Adenocarcinoma	Cancers, 12(5): 1294, 2020	Original Article
453	Ogawa Y, Kobayashi T, Honda Y, Kessoku T, Tomeno W, Imajo K, Nakahara T, Oeda S, Nagaoki Y, Amano Y, Ando T, Hirayama M, Isono O, Kamiguchi H, Nagabukuro H, Ogawa S, Satomi Y, Saigusa Y, Takahashi H, Hyogo H, Yoneda M, Saito S, Yamanaka T, Aishima S, Eguchi Y, Kage M, Chayama K, Nakajima A	肝胆膵消化器病学	Metabolomic-/Lipidomic-based Analysis of Plasma to Diagnose Hepatocellular Ballooning in Patients with Nonalcoholic Fatty Liver Disease: A Multicenter Study	Hepatology Research, 50(8): 955-965, 2020	Original Article
454	Yoshihara T, Oikawa Y, Kato T, Kessoku T, Kobayashi T, Kato S, Misawa N, Ashikari K, Fuyuki A, Ohkubo H, Higurashi T, Tateishi Y, Tanaka Y, Nakajima S, Ohno H, Wada K, Nakajima A	肝胆膵消化器病学	The protective effect of Bifidobacterium bifidum G9-1 against mucus degradation by Akkermansia muciniphila following small intestine injury caused by a proton pump inhibitor and aspirin	Gut Microbes, 11(5): 1385-1404, 2020	Original Article

小計11件

455	Ozaki A, Kessoku T, Iwaki M, Kobayashi T, Yoshihara T, Kato T, Honda Y, Ogawa Y, Imajo K, Higurashi T, Yoneda M, Taguri M, Yamanaka T, Ishiki H, Kobayashi N, Saito S, Ichikawa Y, Nakajima A	肝胆胰消化器病学	Comparing the effectiveness of magnesium oxide and naldemedine in preventing opioid-induced constipation: a proof of concept, single institutional, two arm, open-label, phase II, randomized controlled trial: the MAGNET study	Trails, 21(1): 453, 2020	Original Article
456	Ogawa Y, Kobayashi T, Honda Y, Kessoku K, Tomeno W, Imajo K, Nakahara T, Oeda S, Nagaoki Y, Amano Y, Ando T, Hirayama M, Isono O, Kamiguchi H, Nagabukuro H, Ogawa S, Satomi Y, Saigusa Y, Takahashi H, Hyogo H, Yoneda M, Saito S, Yamanaka T, Aishima S, Eguchi Y, Kage M, Chayama K, Nakajima A	肝胆胰消化器病学	Metabolomic-/Lipidomic-based Analysis of Plasma to Diagnose Hepatocellular Ballooning in Patients with Nonalcoholic Fatty Liver Disease: A Multicenter Study	Hepatology Research, 50(8): 955-965, 2020	Original Article
457	Pitisuttithum P, Chan W, Goh G, Fan J, Song M, Charatcharoenwitthaya P, Duseja A, Yock-Dan Y, Imajo K, Nakajima A, Ho K, Goh K, Wai-Sun Wong V, Treeprasertsuk S	肝胆胰消化器病学	Gamma-glutamyl transferase and cardiovascular risk in nonalcoholic fatty liver disease: The Gut and Obesity Asia initiative	World Journal of Gastroenterology, 26(19): 2416-2426, 2020	Original Article
458	Misawa N, Higurashi T, Takatsu T, Iwaki M, Kobayashi T, Yoshihara T, Ashikari K, Kessoku T, Fuyuki A, Matsuura T, Ohkubo H, Usuda H, Wada K, Naritaka N, Takei H, Nittono H, Matsumoto M, Honda A, Nakajima A, Camilleri M	肝胆胰消化器病学	The benefit of elobixibat in chronic constipation is associated with faecal deoxycholic acid but not effects of altered microbiota	Alimentary Pharmacology & Therapeutics, 52(5): 821-828, 2020	Original Article
459	Chiba H, Tachikawa J, Arimoto J, Ashikari K, Kuwabara H, Nakaoka M, Goto T, Higurashi T, Muramoto T, Ohata K, Nakajima A	肝胆胰消化器病学	Endoscopic submucosal dissection of large pedunculated polyps with wide stalks: a retrospective multicenter study	Endoscopy, 53(1): 77-80, 2020	Original Article
460	Higurashi T, Arimoto J, Ashikari K, Takatsu T, Misawa N, Yoshihara T, Matsuura T, Fuyuki A, Ohkubo H, Nakajima A	肝胆胰消化器病学	The efficacy of a leukotriene receptor antagonist in the treatment of human rectal aberrant crypt foci: a nonrandomized, open-label, controlled trial	BMC Cancer, 20(1): 770, 2020	Original Article
461	Kessoku T, Imajo K, Kobayashi T, Ozaki A, Iwaki M, Honda Y, Kato T, Ogawa Y, Tomeno W, Kato S, Higurashi T, Yoneda M, Kirikoshi H, Kubota K, Taguri M, Yamanaka T, Usuda H, Wada K, Kobayashi N, Saito S, Nakajima A	肝胆胰消化器病学	Lubiprostone in patients with non-alcoholic fatty liver disease: a randomised, double-blind, placebo-controlled, phase 2a trial	Lancet Gastroenterol Hepatol, 5(11): 996-1007, 2020	Original Article
462	Iwasaki A, Kubota K, Kurita Y, Hasegawa S, Fujita Y, Kagawa K, Kato S, Sekino Y, Hosono K, Nakajima A	肝胆胰消化器病学	The placement of multiple plastic stents still has important roles in candidates for chemotherapy for unresectable perihilar cholangiocarcinoma	J Hepatobiliary Pancreat Sci, 27(10): 700-711, 2020	Original Article
463	Uchida E, Kato S, Tsuchiya I, Ohkuma K, Taniguchi L, Tanida E, Masui Y, Yoshizawa K, Nakajima A, Izumi M	肝胆胰消化器病学	Percent reduction of the ulcer size at 4 weeks is a predictor of the complete healing of endoscopic submucosal dissection-induced gastric ulcers	Arab J Gastroenterol, 21(3): 183-188, 2020	Original Article
464	Kessoku T, Kobayashi T, Ozaki A, Iwaki M, Honda Y, Ogawa Y, Imajo K, Saigusa Y, Yamamoto K, Yamanaka T, Usuda H, Wada K, Yoneda M, Saito S, Nakajima A	肝胆胰消化器病学	Rationale and design of a randomised, double-blind, placebo-controlled, parallel-group, investigator-initiated phase 2a study to investigate the efficacy and safety of elobixibat in combination with cholestyramine for non-alcoholic fatty liver disease	BMJ Open, 10(9): e037961.doi:10.1136/bmjopen-2020-037961, 2020	Original Article
465	Hasegawa S, Kobayashi N, Okubo N, Tokuhisa M, Goto A, Kurita Y, Sato T, Hosono K, Endo I, Nakajima A, Ichikawa Y	肝胆胰消化器病学	Pathological Findings of the Host Immune Reaction in the Tumor Microenvironment of Gastroenteropancreatic Neuroendocrine Neoplasms	Internal medicine, 60(7): 977-983, 2020	Original Article

小計11件

466	Kessoku T, Kobayashi N, Yoneda M, Kasai Y, Ozaki A, Okubo N, Iwaki M, Kobayashi T, Yoshihara T, Kurita Y, Honda Y, Tokuhisa M, Ishiki H, Hibiya T, Fujii S, Nakajima A, Ichikawa Y	肝胆膵消化器病学	(Case Reports) Transformation of End-Stage Neuroendocrine Tumors With Uncontrollable Liver Metastasis Into a Novel or Additional Functional Phenotype	Frontiers in oncology, 10: 555963. doi: 10.3389/fonc.2020.555963. eCollection 2020	Case report
467	Tomono W, Imajo K, Takayanagi T, Ebisawa Y, Seita K, Takimoto T, Honda K, Kobayashi T, Nogami, Kato T, Honda Y, Kessoku T, Ogawa Y, Kirikoshi H, Sakamoto Y, Yoneda M, Saito S, Nakajima A	肝胆膵消化器病学	(Review) Complications of Non-Alcoholic Fatty Liver Disease in Extrahepatic Organs	Diagnostics (Basel), 10(11): 912, 2020	Review
468	Higurashi T, Arimoto J, Ashikari K, Takatsu T, Misawa N, Yoshihara T, Matsuura T, Fuyuki A, Ohkubo H, Nakajima A	肝胆膵消化器病学	The efficacy of aspirin and metformin combination therapy in patients with rectal aberrant crypt foci: a double-blinded randomized controlled trial	BMC Cancer, 20(1): 1043, 2020	Original Article
469	Matsuura T, Maru Y, Izumiya M, Hoshi D, Kato S, Ochiai M, Hori M, Yamamoto S, Tatsuno K, Imai T, Aburatani H, Nakajima A, Hippo Y	肝胆膵消化器病学	Organoid-based ex vivo reconstitution of Kras-driven pancreatic ductal carcinogenesis	Carcinogenesis, 41(4):490-501, 2020	Original Article
470	Sumida Y, Okanoue T, Nakajima A	肝胆膵消化器病学	Japan Study Group of NAFLD (JSG-NAFLD): Automated quantification of fibrosis-related parameters using dual-photon microscopy replace diagnosis of pathologists in NAFLD	Hepatobiliary Surg Nutr, 9(6):815-816, 2020	Original Article
471	Chiba H, Tachikawa J, Arimoto J, Ashikari K, Kuwabara H, Nakaoka M, Goto T, Ohata K, Nakajima A	肝胆膵消化器病学	Predictive Factors of Mild and Severe Fibrosis in Colorectal Endoscopic Submucosal Dissection	Dig Dis Sci, 65(1):232-242, 2020	Original Article
472	Oeda S, Takahashi H, Imajo K, Seko Y, Kobayashi T, Ogawa Y, Moriguchi M, Yoneda M, Anzai K, Irie H, Sueoka E, Aishima S, Kage M, Itoh Y, Eguchi Y, Nakajima A	肝胆膵消化器病学	Diagnostic accuracy of FibroScan-AST score to identify non-alcoholic steatohepatitis with significant activity and fibrosis in Japanese patients with non-alcoholic fatty liver disease: Comparison between M and XL probes	Hepatol Res, 50(7):831-839, 2020	Original Article
473	Kagawa K, Kubota K, Kurita Y, Takagi Y, Ishii K, Hasegawa S, Iwasaki A, Sato T, Fujita Y, Kato S, Watanabe S, Sekino Y, Hosono K, Nakajima A	肝胆膵消化器病学	Effect of preventive closure of the frenulum after endoscopic papillectomy: A prospective pilot study	J Gastroenterol Hepatol, 35(3):374-379, 2020	Original Article
474	Misawa N, Higurashi T, Tachikawa J, Tanabe H, Yoshihara T, Ashikari K, Kanoshima K, Fuyuki A, Ohkubo H, Saigusa Y, Chiba H, Nonaka T, Kuriyama H, Kobayashi N, Nakajima A	肝胆膵消化器病学	Clinical impact of evaluation of frailty in endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer in elderly patients	Geriatr Gerontol Int, 20(5):461-466, 2020	Original Article
475	Oeda S, Takahashi H, Imajo K, Seko Y, Ogawa Y, Moriguchi M, Yoneda M, Anzai K, Aishima S, Kage M, Itoh Y, Nakajima A, Eguchi Y	肝胆膵消化器病学	Accuracy of liver stiffness measurement and controlled attenuation parameter using FibroScan ® M/XL probes to diagnose liver fibrosis and steatosis in patients with nonalcoholic fatty liver disease: a multicenter prospective study	J Gastroenterol, 55(4):428-440, 2020	Original Article
476	Kurita Y, Hara K, Kuwahara T, Mizuno N, Okuno N, Haba S, Okuno M, Natsume S, Senda Y, Kubota K, Nakajima A, Niwa Y, Shimizu Y	肝胆膵消化器病学	Comparison of prognosis between observation and surgical resection groups with small sporadic non-functional pancreatic neuroendocrine neoplasms without distant metastasis	J Gastroenterol, 55(5):543-552, 2020	Original Article

小計11件

477	Kurita Y, Kuwahara T, Hara K, Mizuno N, Okuno N, Matsumoto S, Obata M, Koda H, Tajika M, Shimizu Y, Nakajima A, Kubota K, Niwa Y	肝胆胰消化器病学	Features of chronic pancreatitis by endoscopic ultrasound influence the diagnostic accuracy of endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration of small pancreatic lesions	Dig Endosc, 32(3):399-408, 2020	Original Article
478	Takahashi H, Nakahara T, Kogiso T, Imajo K, Kessoku T, Kawaguchi T, Ide T, Kawanaka M, Hyogo H, Fujii H, Ono M, Kamada Y, Sumida Y, Anzai K, Shimizu M, Torimura T, Nakajima A, Tokushige K, Chayama K, Eguchi Y	肝胆胰消化器病学	Japan Study Group of NAFLD (JSG-NAFLD):Eradication of hepatitis C virus with direct-acting antivirals improves glycemic control in diabetes: A multicenter study	JGH Open, 5(2):228-234, 2020	Original Article
479	Kaneta Y, Sato T, Hikiba Y, Sugimori M, Sue S, Kaneko H, Irie K, Sasaki T, Kondo M, Chuma M, Shibata W, Maeda S	消化器内科学	Loss of Pancreatic E-Cadherin Causes Pancreatitis-Like Changes and Contributes to Carcinogenesis	Cell Mol Gastroenterol Hepatol, 9(1): 105-119, 2020	Original Article
480	Kawakami A, Lee Meng Choong, Tanaka M, Kunisaki R, Maeda S, Ingvar Bjarnason, Bu'Hussain Hayee	消化器内科学	Validation of the English version of the difficulty of life scale for patients with ulcerative colitis	Eur J Gastroenterol Hepatol, 32(3): 312-317, 2020	Original Article
481	Sugimori M, Sugimori K, Tsuchiya H, Suzuki Y, Tsuyuki S, Kaneta Y, Hirotsu A, Sanga K, Tozuka Y, Komiya S, Sato T, Tezuka S, Goda Y, Irie K, Miwa H, Miura Y, Ishii T, Kaneko T, Nagahama M, Shibata W, Nozaki A, Maeda S	消化器内科学	Quantitative monitoring of circulating tumor DNA in patients with advanced pancreatic cancer undergoing chemotherapy	Cancer Sci, 111(1): 266-278, 2020	Original Article
482	Wang F, Numata K, Nihonmatsu H, Okada M, Maeda S	消化器内科学	Application of new ultrasound techniques for focal liver lesions	J Med Ultrason (2001), 47(2): 215-237, 2020	Original Article
483	Chuma M, Uojima H, Numata K, Hidaka H, Toyoda H, Hiraoka A, Tada T, Hirose S, Atsukawa M, Itokawa N, Arai T, Kako M, Nakazawa T, Wada N, Iwasaki S, Miura Y, Hishiki S, Nishigori S, Morimoto M, Hattori N, Ogushi K, Nozaki A, Fukuda H, Kagawa T, Michitaka K, Kumada T, Maeda S	消化器内科学	Early Changes in Circulating FGF19 and Ang-2 Levels as Possible Predictive Biomarkers of Clinical Response to Lenvatinib Therapy in Hepatocellular Carcinoma	Cancers (Basel), 12(2): 293, 2020	Original Article
484	Sanga K, Numata K, Nihonmatsu H, Ogushi K, Fukuda H, Chuma M, Hashimoto H, Koizumi N, Maeda S	消化器内科学	Use of intra-procedural fusion imaging combining contrast-enhanced ultrasound using a perflubutane-based contrast agent and auto sweep three-dimensional ultrasound for guiding radiofrequency ablation and evaluating its efficacy in patients with hepatocellular carcinoma	Int J Hyperthermia, 37(1): 202-211, 2020	Original Article
485	Miwa H, Numata K, Sugimori K, Kaneko T, Maeda S	消化器内科学	Vascular evaluation using transabdominal ultrasound for gallbladder polyps	J Med Ultrason (2001), 48(2): 159-173, 2020	Original Article
486	Nozaki A, Atsukawa M, Kondo C, Toyoda H, Chuma M, Nakamura M, Uojima H, Takaguchi K, Ikeda H, Watanabe T, Ogawa S, Itokawa N, Arai T, Hiraoka A, Asano T, Fujioka S, Ikegami T, Shima T, Ogawa C, Akahane T, Shimada N, Fukunishi S, Abe H, Tsubota A, Genda T, Okubo H, Mikami S, Morishita A, Moriya A, Tani J, Tachi Y, Hotta N, Ishikawa T, Okanoue T, Tanaka Y, Kumada T, Iwakiri K, Maeda S; KTK49 Liver Study Group	消化器内科学	The effectiveness and safety of glecaprevir/pibrentasvir in chronic hepatitis C patients with refractory factors in the real world: a comprehensive analysis of a prospective multicenter study	Hepatol Int, 14(2): 225-238, 2020	Original Article
487	Miwa H, Sugimori K, Maeda S	消化器内科学	Internal drainage by cutting the nasobiliary tube after endoscopic ultrasound-guided hepaticogastrostomy	Dig Endosc, 32(4): e75-e76, 2020	Original Article

小計11件

488	Wang F, Numata K, Yonezawa H, Sato K, Ishii Y, Yaguchi K, Kume N, Hashimoto Y, Nishio M, Nakamori Y, Ikeda A, Madarame A, Hirayama A, Ogashiwa T, Sasaki T, Jin M, Hanzawa A, Shibata N, Hashimoto S, Saigusa Y, Inayama Y, Maeda S, Kimura H, Kunisaki R	消化器内科学	Consistency of Trans-Abdominal and Water-Immersion Ultrasound Images of Diseased Intestinal Segments in Crohn's Disease	Diagnostics (Basel), 10(5): 267, 2020	Original Article
489	Nishio M, Hirasawa K, Ozeki Y, Sawada A, Ikeda R, Fukuchi T, Kobayashi R, Makazu M, Sato C, Maeda S	消化器内科学	Short- and long-term outcomes of endoscopic submucosal dissection for non-ampullary duodenal neuroendocrine tumors	Ann Gastroenterol, 33(3): 265-271, 2020	Original Article
490	Wang F, Numata K, Nakano M, Tanabe M, Chuma M, Nihonmatsu H, Nozaki A, Ogushi K, Luo W, Ruan L, Okada M, Otani M, Inayama Y, Maeda S	消化器内科学	Diagnostic Value of Imaging Methods in the Histological Four Grading of Hepatocellular Carcinoma	Diagnostics (Basel), 10(5): 321, 2020	Original Article
491	Fujisawa T, Shimamura T, Goto K, Nakagawa R, Muroyama R, Ino Y, Horiuchi H, Endo I, Maeda S, Harihara Y, Nakajima A, Matsuhashi N, Kato N, Isayama H, Puri A, Suzuki A, Bellayr I, Leland P, Joshi BH, Puri RK	消化器内科学	A Novel Role of Interleukin 13 Receptor alpha2 in Perineural Invasion and its Association with Poor Prognosis of Patients with Pancreatic Ductal Adenocarcinoma	Cancers (Basel), 12(5): 1294, 2020	Original Article
492	Sato C, Hirasawa K, Tateishi Y, Ozeki Y, Sawada A, Ikeda R, Fukuchi T, Nishio M, Kobayashi R, Makazu M, Kaneko H, Inayama Y, Maeda S	消化器内科学	Clinicopathological features of early gastric cancers arising in Helicobacter pylori uninfected patients	World J Gastroenterol, 26(20): 2618-2631, 2020	Original Article
493	Komiyama S, Numata K, Moriya S, Fukuda H, Chuma M, Maeda S	消化器内科学	Lenvatinib for large hepatocellular carcinomas with portal trunk invasion: Two case reports	World J Clin Cases, 8(12): 2574-2584, 2020	Original Article
494	Komiyama S, Numata K, Ogushi K, Moriya S, Fukuda H, Chuma M, Maeda S	消化器内科学	Therapeutic effects of regorafenib after sorafenib monotherapy with advanced hepatocellular carcinoma including Child-Pugh classification B: A retrospective observational study	Medicine (Baltimore), 99(29): e21191, 2020	Original Article
495	Miwa H, Sugimori K, Kaneko T, Ishii T, Iwase S, Irie K, Sanga K, Tozuka Y, Hirotani A, Komiyama S, Sato T, Tezuka S, Goda Y, Numata K, Maeda S	消化器内科学	Clinical outcome of a highly flexible duodenal stent for gastric outlet obstruction: A multicenter prospective study	JGH Open, 4(4): 729-735, 2020	Original Article
496	Atsukawa M, Tsubota A, Kondo C, Toyoda H, Nakamuta M, Takaguchi K, Watanabe T, Hiraoka A, Uojima H, Ishikawa T, Iwasa M, Tada T, Nozaki A, Chuma M, Fukunishi S, Asai A, Asano T, Ogawa C, Abe H, Hotta N, Shima T, Iio E, Mikami S, Tachi Y, Fujioka S, Okubo H, Shimada N, Tani J, Hidaka I, Moriya A, Tsuji K, Akahane T, Yamashita N, Okubo T, Arai T, Morita K, Kawata K, Tanaka Y, Okanoue T, Maeda S, Kumada T, Iwakiri K; KTK49 Liver Study Group	消化器内科学	Real-World Clinical Application of 12-Week Sofosbuvir/Velpatasvir Treatment for Decompensated Cirrhotic Patients with Genotype 1 and 2: A Prospective, Multicenter Study	Infect Dis Ther, 9(4): 851-866, 2020	Original Article
497	Wang F, Numata K, Nihonmatsu H, Chuma M, Moriya S, Nozaki A, Ogushi K, Fukuda H, Ruan L, Okada M, Luo W, Koizumi N, Nakano M, Otani M, Inayama Y, Maeda S	消化器内科学	Intraprocedurally EOB-MRI/US fusion imaging focusing on hepatobiliary phase findings can help to reduce the recurrence of hepatocellular carcinoma after radiofrequency ablation	Int J Hyperthermia, 37(1): 1149-1158, 2020	Original Article
498	Ozeki Y, Hirasawa K, Sato C	消化器内科学	Useful endoscopic resection technique for large pedunculated lesions in the duodenum using thread-traction method with a double-channel endoscope	Dig Endosc, 32(1): e22-e23, 2020	Original Article

小計11件

499	Azuma S, Uojima H, Chuma M, Shao X, Hidaka H, Nakazawa T, Kondo M, Numata K, Iwabuchi S, Kako M, Maeda S, Koizumi W, Atsuda K	消化器内科学	Influence of NOS3 rs2070744 genotypes on hepatocellular carcinoma patients treated with Lenvatinib	Sci Rep, 10(1): 17054, 2020	Original Article
500	Ogushi K, Chuma M, Uojima H, Hidaka H, Numata K, Kobayashi S, Hirose S, Hattori N, Fujikawa T, Nakazawa T, Wada N, Iwasaki S, Fukushima T, Sano Y, Ueno M, Kawano K, Tsuruya K, Shomura M, Watanabe T, Matsunaga K, Kunishi Y, Saigusa Y, Irie K, Iwabuchi S, Kako M, Morimoto M, Kagawa T, Tanaka K, Maeda S	消化器内科学	Safety and Efficacy of Lenvatinib Treatment in Child-Pugh A and B Patients with Unresectable Hepatocellular Carcinoma in Clinical Practice: A Multicenter Analysis	Clin Exp Gastroenterol, 13: 385-396, 2020	Original Article
501	Ikeda R, Hirasawa K, Sato C, Ozeki Y, Sawada A, Nishio M, Fukuchi T, Kobayashi R, Makazu M, Taguri M, Maeda S	消化器内科学	Third-look endoscopy prevents delayed bleeding after endoscopic submucosal dissection under antithrombotic therapy	World J Gastroenterol, 26(41): 6475-6487, 2020	Original Article
502	Tarao K, Nozaki A, Komatsu H, Komatsu T, Taguri M, Tanaka K, Chuma M, Numata K, Maeda S	消化器内科学	Real impact of tumor marker AFP and PIVKA-II in detecting very small hepatocellular carcinoma (≤ 2 cm, Barcelona stage 0) - assessment with large number of cases	World J Hepatol, 12(11): 1046-1054, 2020	Original Article
503	Hayakawa Y, Hirata Y, Hata M, Tsuboi M, Oya Y, Kurokawa K, Abe S, Arai J, Suzuki N, Nakagawa H, Fujiwara H, Tateishi K, Maeda S, Koike K	消化器内科学	Dysregulated Immune Responses by ASK1 Deficiency Alter Epithelial Progenitor Cell Fate and Accelerate Metaplasia Development during H	pylori Infection. Microorganisms, 8(12): 1995, 2020	Original Article
504	Yamashita T, Kudo M, Ikeda K, Izumi N, Tateishi R, Ikeda M, Aikata H, Kawaguchi Y, Wada Y, Numata K, Inaba Y, Kuromatsu R, Kobayashi M, Okusaka T, Tamai T, Kitamura C, Saito K, Haruna K, Okita K, Kumada H	消化器内科学	REFLECT-a phase 3 trial comparing efficacy and safety of lenvatinib to sorafenib for the treatment of unresectable hepatocellular carcinoma: an analysis of Japanese subset	J Gastroenterol, 55(1): 113-122, 2020	Original Article
505	Numata K	消化器内科学	On the occasion of publication of the feature on differential diagnosis and treatment of hepatocellular carcinoma: the role of ultrasound	J Med Ultrason (2001), 47(2): 211-213, 2020	Original Article
506	Lee JY, Minami Y, Choi BI, Lee WJ, Chou YH, Jeong WK, Park MS, Kudo N, Lee MW, Kamata K, Iijima H, Kim SY, Numata K, Sugimoto K, Maruyama H, Sumino Y, Ogawa C, Kitano M, Joo I, Arita J, Liang JD, Lin HM, Nolsoe C, Gilja OH, Kudo M	消化器内科学	The AFSUMB consensus statements and recommendations for the clinical practice of contrast-enhanced ultrasound (CEUS) using Sonazoid	J Med Ultrasonography, 39(3): 191-220, 2020	Original Article
507	Lee MS, Ryoo BY, Hsu CH, Numata K, Stein S, Verret W, Hack SP, Spahn J, Liu B, Abdullah H, Wang Y, He AR, Lee KH	消化器内科学	Efficacy and safety of atezolizumab with or without bevacizumab in unresectable hepatocellular carcinoma: a phase 1b study	Lancet Oncol, 21(6): 808-820, 2020	Original Article
508	Numata K, Tanaka K, Katsube T, Ochiai T, Fukuhara T, Kano T, Osaki Y, Izumi N, Imawari M	消化器内科学	Is platelet monitoring during 7-day lusutrombopag treatment necessary in chronic liver disease patients with thrombocytopenia undergoing planned invasive procedures? A phase 3b open-label study	Hepatol Res, 50(10): 1141-1150, 2020	Original Article
509	Numata K	消化器内科学	Contrast-enhanced ultrasound as noninvasive diagnostic images that anyone can easily Understand	J Med Ultrason (2001), 47(3): 341-345, 2020	Original Article

小計11件

510	Lee JY, Minami Y, Choi BI, Lee WJ, Chou YH, Jeong WK, Park MS, Kudo N, Lee MW, Kamata K, Iijima H, Kim SY, Numata K, Sugimoto K, Maruyama H, Sumino Y, Ogawa C, Kitano M, Joo I, Arita J, Liang JD, Lin HM, Nolsoe C, Gilja OH, Kudo M	消化器内科学	The AFSUMB Consensus Statements and Recommendations for the Clinical Practice of Contrast-Enhanced Ultrasound using Sonazoid	J Med Ultrasound, 28(2): 59-82, 2020	Original Article
511	Wang F, Numata K, Ruan L	消化器内科学	Accurate assessment of vascularity of focal hepatic lesions in arterial phase imaging	Radiology, 297(3): E339-E340, 2020	Original Article
512	Yagasaki S, Koizumi N, Nishiyama Y, Kondo R, Imaizumi T, Matsumoto N, Ogawa M, Numata K	消化器内科学	Estimating 3-dimensional liver motion using deep learning and 2-dimensional ultrasound images	Int J Comput Assist Radiol Surg, 15(12): 1989-1995, 2020	Original Article
513	Numata K	消化器内科学	On the occasion of publication of the feature on diagnosis and assessment of nonalcoholic fatty liver disease/nonalcoholic steatohepatitis using ultrasound elastography	J Med Ultrason (2001), 47(4): 507-509, 2020	Original Article
514	Itokawa N, Atsukawa M, Tsubota A, Takaguchi K, Nakamuta M, Hiraoka A, Kato K, Abe H, Mikami S, Shimada N, Chuma M, Nozaki A, Uojima H, Ogawa C, Asano T, Tani J, Morishita A, Senoh T, Yamashita N, Oikawa T, Matsumoto Y, Koeda M, Yoshida Y, Tanabe T, Okubo T, Arai T, Hayama K, Iwashita AN, Kondo C, Tada T, Toyoda H, Kumada T, Iwakiri K	消化器内科学	Sequential therapy from entecavir to tenofovir alafenamide versus continuous entecavir monotherapy for patients with chronic hepatitis B	JGH Open, 5(1): 34-40, 2020	Original Article
515	Uojima H, Chuma M, Tanaka Y, Hidaka H, Nakazawa T, Iwabuchi S, Kobayashi S, Hattori N, Ogushi K, Morimoto M, Kagawa T, Tanaka K, Kako M, Koizumi W	消化器内科学	Skeletal Muscle Mass Influences Tolerability and Prognosis in Hepatocellular Carcinoma Patients Treated with Lenvatinib	Liver Cancer, 9(2): 193-206, 2020	Original Article
516	Atsukawa M, Tsubota A, Takaguchi K, Toyoda H, Iwasa M, Ikegami T, Chuma M, Nozaki A, Uojima H, Hiraoka A, Fukunishi S, Yokohama K, Tada T, Kato K, Abe H, Tani J, Okubo H, Watanabe T, Hattori N, Tsutsui A, Senoh T, Yoshida Y, Okubo T, Itokawa N, Nakagawa-Iwashita A, Kondo C, Arai T, Michitaka K, Iio E, Kumada T, Tanaka Y, Takei Y, Iwakiri K	消化器内科学	Analysis of factors associated with the prognosis of cirrhotic patients who were treated with tolvaptan for hepatic edema	J Gastroenterol Hepatol, 35(7): 1229-1237, 2020	Original Article
517	Toyoda H, Atsukawa M, Watanabe T, Nakamuta M, Uojima H, Nozaki A, Takaguchi K, Fujioka S, Iio E, Shima T, Akahane T, Fukunishi S, Asano T, Michitaka K, Tsuji K, Abe H, Mikami S, Okubo H, Okubo T, Shimada N, Ishikawa T, Morioka A, Tani J, Morishita A, Ogawa C, Tachi Y, Ikeda H, Yamashita N, Yasuda S, Chuma M, Tsutsui A, Hiraoka A, Ikegami T, Genda T, Tsubota A, Masaki T, Iwakiri K, Kumada T, Tanaka Y, Okanoue T	消化器内科学	Marked heterogeneity in the diagnosis of compensated cirrhosis of patients with chronic hepatitis C virus infection in a real-world setting: A large, multicenter study from Japan	J Gastroenterol Hepatol. 35(8): 1420-1425, 2020	Original Article
518	Tada T, Kumada T, Toyoda H, Yasuda S, Sone Y, Hashinokuchi S, Ogawa S, Oguri T, Kamiyama N, Chuma M, Akita T, Tanaka J	消化器内科学	Liver stiffness does not affect ultrasound-guided attenuation coefficient measurement in the evaluation of hepatic steatosis	Hepatol Res, 50(2): 190-198, 2020	Original Article
519	Toyoda H, Atsukawa M, Watanabe T, Nakamuta M, Uojima H, Nozaki A, Takaguchi K, Fujioka S, Iio E, Shima T, Akahane T, Fukunishi S, Asano T, Michitaka K, Tsuji K, Abe H, Mikami S, Okubo H, Okubo T, Shimada N, Ishikawa T, Morioka A, Tani J, Morishita A, Ogawa C, Tachi Y, Ikeda H, Yamashita N, Yasuda S, Chuma M, Tsutsui A, Hiraoka A, Ikegami T, Genda T, Tsubota A, Masaki T, Tanaka Y, Iwakiri K, Kumada T	消化器内科学	Real-world experience of 12-week direct-acting antiviral regimen of glecaprevir and pibrentasvir in patients with chronic hepatitis C virus infection	J Gastroenterol Hepatol, 35(5): 855-861, 2020	Original Article
520	Ueno M, Nakamori S, Sugimori K, Kanai M, Ikeda M, Ozaka M, Furukawa M, Okusaka T, Kawabe K, Furuse J, Komatsu Y, Ishii H, Sato A, Shimizu S, Chugh P, Tang R, Ioka T	消化器内科学	nal-IRI+5-FU/LV versus 5-FU/LV in post-gemcitabine metastatic pancreatic cancer: Randomized phase 2 trial in Japanese patients	Cancer Med, 9(24): 9396-9408, 2020	Original Article

小計11件

521	Ozeki Y, Hirasawa K, Kobayashi R, Sato C, Tateishi Y, Sawada A, Ikeda R, Nishio M, Fukuchi T, Makazu M, Taguri M, Maeda S	消化器内科学	Histopathological validation of magnifying endoscopy for diagnosis of mixed-histological-type early gastric cancer	World J Gastroenterol, 26(36): 5450-5462, 2020	Original Article
522	Andrisani G, Fukuchi T, Hassan C, Hamanaka J, Antonelli G, Costamagna G, Di Matteo FM, Hirasawa K	消化器内科学	Rectal neoplasia extending to the dentate line: clinical outcomes of endoscopic submucosal dissection	Scand J Gastroenterol, 55(11): 1363-1368, 2020	Original Article
523	Chida K, Watanabe J, Hirasawa K, Inayama Y, Misumi T, Kunisaki C, Endo I	消化器内科学	A novel risk-scoring system for predicting lymph node metastasis of rectal neuroendocrine tumors	Ann Gastroenterol Surg, 4(5): 562-570, 2020	Original Article
524	Sawada A, Hirasawa K, Maeda S	消化器内科学	Endoscopic muscularis dissection for gastrointestinal mesenchymal tumor	Dig Endosc, 32(5): e106-e108, 2020	Original Article
525	Yoshida M, Takizawa K, Nonaka S, Shichijo S, Suzuki S, Sato C, Komori H, Minagawa T, Oda I, Uedo N, Hirasawa K, Matsumoto K, Sumiyoshi T, Mori K, Gotoda T, Ono H	消化器内科学	CONNECT-E Study Group: Conventional versus traction-assisted endoscopic submucosal dissection for large esophageal cancers: a multicenter, randomized controlled trial (with video)	Gastrointest Endosc, 91(1): 55-65. e2, 2020	Original Article
526	Kunishi Y, Kurakami Y, Yoshie K, Yanagibashi T, Oishi R, Tsukamoto M, Niwa K, Kato Y, Ota M, Maeda S	消化器内科学	[Non-surgical management of small bowel diverticulitis with localized perforation:a case report]	Nihon Shokakibyo Gakkai Zasshi, 117(4): 327-333, 2020	Case report
527	Maeda S, Hikiba Y, Fujiwara H, Ikenoue T, Sue S, Sugimori M, Matsubayashi M, Kaneko H, Irie K, Sasaki T, Chuma M	消化器内科学	NAFLD exacerbates cholangitis and promotes cholangiocellular carcinoma in mice	Cancer Sci, 112(4):1471-1480,2021	Original Article
528	Sue S, Sasaki T, Kaneko H, Irie K, Kondo M, Maeda S	消化器内科学	Helicobacter pylori rescue treatment with vonoprazan, metronidazole, and sitafloxacin in the presence of penicillin allergy	JGH Open,23;5(2):307-311,2021	Original Article
529	Matsubayashi M, Kobayashi T, Okabayashi S, Nakano M, Sagami S, Ozaki R, Kiyohara H, Morikubo H, Asonuma K, Miyatani Y, Maeda S, Hibi T	消化器内科学	Determining the usefulness of Capsule Scoring of Ulcerative Colitis in predicting relapse of inactive ulcerative colitis	J Gastroenterol Hepatol,36(4):943-950,2021	Original Article

小計11件

小計1件
計529件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限り。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

計 件

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 委員会の設置、研究機関長、研究者及び研究責任者の業務及び責務、研究責任者による研究実施の準備及び研究の管理に関する業務 など	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 公立大学法人横浜市立大学臨床研究利益相反委員会実施要綱により委員会の設置、所掌事務、組織、自己申告書の審査及び本学が設定する基準額を超える利益関係についてのマネジメントについて定めている。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年13回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年10回
・ 研修の主な内容 臨床研究の倫理に関する講習として、下記の日程で臨床研究セミナーならびに倫理委員向けのセ	

ミナーを行った。

「臨床研究を実施する上でのピットフォール」（講師）須江 聡一郎 2020年5月20日

「研究倫理の近年の動向と課題」（講師）伊吹 友秀 2020年7月2日*

「我が国の臨床研究を 取り巻く環境変化」（講師）中村 健一 2020年7月8日*

「臨床研究の適正な実施のために～最近の動向を踏まえて～」（講師）佐藤 典宏 2020年10月27日

「臨床研究の適正な実施に向けて ー臨床研究等調査委員会報告書からの教訓ー」

（講師）楠岡英雄 2021年1月25日

「臨床研究の品質を確保するために各診療科でできること～小児科の取り組み～」

（講師） 田野島 玲大 2020年12月16日

「責任ある研究活動」（講師）岡野 恵子 2021年1月29日

「臨床研究と利益相反」（講師）中田 はる佳 2021年2月5日*

「指針改正と個人情報保護 指針にみる各担当者の役割・責務から考える」（講師）上杉奈々
2021年2月25日*

「迅速審査のポイント」（講師）三澤 昇 2021年3月31日

*：倫理審査委員向けセミナー

他：臨床研究セミナー

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

本学は20を超す多彩なプログラムを有しており、大学病院の専門診療科及び専門別センターで高度で質の高い医療に従事することができる。また、協力病院をはじめとした地域医療機関での研修によって、臨床研修に引き続きプライマリ・ケアを含めた幅広い研修も行うことができる。研修期間は原則3年間であり、専門医取得に向けた大きな一歩となっている。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	90人
-------------	-----

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
中島 秀明	血液・リウマチ・感染症内科	教授	35年	
金子 猛	呼吸器内科	教授	36年	
田村 功一	腎臓・高血圧内科	教授	34年	
田中 章景	脳神経内科・脳卒中科	教授	35年	
寺内 康夫	内分泌・糖尿病内科	教授	33年	
前田 慎	消化器内科	教授	29年	
中島 淳	消化器内科 (肝胆膵)	教授	33年	
市川 靖史	臨床腫瘍科	教授	36年	
菱本 明豊	精神科	助教	26年	
伊藤 秀一	小児科	教授	29年	
鈴木 伸一	心臓血管外科・小児循環器	准教授	36年	
利野 靖	消化器・一般外科	准教授	36年	
菅沼 伸康	乳腺・甲状腺外科	講師	24年	
石川 善啓	呼吸器外科	講師	21年	
遠藤 格	消化器外科	教授	37年	
稲葉 裕	整形外科	教授	33年	
山口 由衣	皮膚科	教授	22年	
槇山 和秀	泌尿器科	教授	28年	
宮城 悦子	産婦人科	教授	34年	
水木 信久	眼科	教授	33年	
折館 伸彦	耳鼻いんこう科	教授	34年	
宇都宮 大輔	放射線科	教授	26年	
光藤 健司	歯科・口腔外科・矯正歯科	教授	33年	
後藤 隆久	麻酔科	教授	35年	
山本 哲哉	脳神経外科	教授	33年	
中村 健	リハビリテーション科	教授	29年	
前川 二郎	形成外科	教授	36年	
竹内 一郎	救急科	教授	25年	
藤井 誠志	病理診断科	教授	28年	
山崎 悦子	臨床検査部	准教授	30年	
太田 光泰	総合診療科	教授	29年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2). 現状
管理責任者氏名	医療情報部長 根本 明宜
管理担当者氏名	医事課長 深澤 博 / 総務課長 齋藤 龍也

		保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各科
		処方せん	総務課・薬剤部
		手術記録	総務課
		看護記録	総務課
		検査所見記録	総務課
		エックス線写真	総務課
		紹介状	総務課
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	総務課
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	職員課
		高度の医療の提供の実績	医事課（病歴室）
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科
		高度の医療の研修の実績	各診療科
		閲覧実績	各関係部署
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課（病歴室）
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	総務課・薬剤部
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療の質・安全管理部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療の質・安全管理部
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療の質・安全管理部
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療の質・安全管理部

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	職員課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	職員課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	総務課	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	総務課	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課	

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	職員課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	職員課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	職員課
		医療安全管理部門の設置状況	職員課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療の質・安全管理部
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療の質・安全管理部
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療の質・安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療の質・安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	八景キャンパス総務課
		職員研修の実施状況	職員課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療の質・安全管理部
		管理者が有する権限に関する状況	職員課
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	八景キャンパス総務課
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	八景キャンパス企画財務課

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	② 現状
閲覧責任者氏名	医療情報部長 根本 明宜	
閲覧担当者氏名	医事課長 深澤 博 / 総務課長 齋藤 龍也	
閲覧の求めに応じる場所	会議室 病歴室（閲覧室）	
閲覧の手続の概要		
医療スタッフの閲覧は「横浜市立大学附属病院 診療録等管理実施要綱」「診療録等の閲覧・貸出要綱」に基づき手続きを行う。		
患者側からの個人情報開示の請求があった場合、「横浜市立大学附属病院における診療情報の提供に関する実施要綱」「横浜市立大学附属病院における診療情報の提供に関する事務処理要領」に基づき手続きを行う。		
公的監査における診療録の閲覧については、指定を受けた記録について該当記録・書類を病院職員立ち合いのもと開示する。		
カルテレビュー形式で閲覧する場合は、会議室に電子カルテ閲覧の環境を設置する。病院職員が操作し指定の記録あるいは診療内容について開示する。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無
・ 指針の主な内容： 1. 医療安全管理の基本方針 2. 医療安全管理のための組織体制 3. 報告及び再発防止、医療事故発生時の対応 4. 高難度新規医療技術を用いた医療提供及び未承認新規医薬品等を用いた医療の提供 5. 説明同意による患者・家族と医療従事者間の情報共有 6. 患者からの相談等への対応 7. 医療安全のための職員教育・研修 8. 外部監査、内部通報制度 9. その他医療安全の推進	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況 ・ 設置の有無 ((有)・無) ・ 開催状況：年 23 回 ・ 活動の主な内容： 安全管理対策委員会（年12回）：院内医療安全の方針を協議決定 リスクマネジャー会議（年11回）：安全管理対策委員会の方針周知、 医療安全の推進、安全課題検討、情報交換	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 82 回
・ 研修の内容（すべて）：別添①参照	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況 ・ 医療機関内における事故報告等の整備 ((有)・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1. インシデントシステムを用いた院内のインシデント報告の収集を実施。 収集したインシデントの課題・問題点を医療の質・安全管理部内（多職種ミーティング）で分析し、QIミーティング等で報告する体制を構築 2. 医療安全に関する規定（指針・ガイドライン・マニュアル）の改正・周知 3. 他施設の医療安全に関するニュースや機構から発出された情報等をリスクマネジャー会議で紹介すると共に、月間医療安全ニュースで院内の職員全員に周知	

4. 患者確認の２段階プロセス（患者本人の同定、患者本人と対象物の患者情報の照合）などの、院内全体に繰り返し周知すべき行動について、電子カルテのスクリーンセイバーを利用した周知を実施
5. インシデントの件数、事故報告等は医療機能評価機構へ報告し、広く情報共有する

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有) 無
・ 指針の主な内容： 1. 院内感染対策に関する基本的考え方 2. 委員会等の組織に関する基本的事項 3. 職員研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. 院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容： 1. 医療関連感染防止等についての検討（COVID-19対策含む） 2. 感染症発生状況の把握 3. 感染症発生時及び防止のための迅速な対応を行うための審議・検討 4. 感染対策マニュアル等の検討 5. 環境ラウンド・感染対策推進部会の活動把握 6. 分離菌、CLABSI、CAUTI、VAE、SSIサーベイランスの把握	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 28 回
・ 研修の内容（すべて）： 1. Eラーニング：『感染対策の基本と院内ルールについて』（全職員） 2. 講演会：『当院の抗菌薬適正使用に関する取り組みと課題/新型コロナウイルス感染症対策-院内感染対策を中心に』（全職員） 3. 標準予防策、ミキシング、処置別研修（新人看護師・研修医） 4. 静脈注射研修・CVC研修（看護師） 5. 療養環境整備について、抗菌薬等（感染リンクナース会） 6. 動画講義：COVID-19感染対策（全職員） 7. 清掃業者・リネン業者に対する感染対策・工事業者に対する感染対策（委託業者） 8. 部署の感染対策（ACU・放射線部・MEセンター） 9. COVID-19感染対策について（全職種） 10. PPE着脱演習（救急外来担当者・救急科医師）	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有) 無 病棟別検出菌発生頻度、材料別菌発生頻度、主要分離菌の検出と推移などの感染レポートを作成している。院内感染対策が必要な耐性菌やウイルス疾患の検査結果が判明した際には、臨床検査部から感染制御部と担当医師に報告され、また、部門システム上からも感染症発生状況を随時把握できる体制がある。また、部署部門での感染症把握時は、管理者から感染制御部に報告がある。感染制御部部員は、必要時に訪問し状況把握に努め、助言や指導を行い院内感染大防止に努めている。また、COVID-19に関連した本部会議が定期的に開催され情報共有や対策を協議している。 ・ その他の改善のための方策の主な内容： 各部署・部門にて、年間計画に沿った感染対策の取り組み 手指衛生サーベイランス（病棟・外来・中央部門）の実施 感染対策推進部会にて、血液体液曝露の減少に向けた取り組み CLABSI、CAUTI、VAE、SSIの減少にむけた報告や、療養環境整備の取り組み 感染制御部及び感染対策推進部員の院内ラウンドによる感染対策チェック	

(注) 前年度の実績を記入すること

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 6回
- 研修の主な内容： 「医薬品の安全管理」に関する研修（対象：新採用職員及び転入職員） 「麻薬の処方」に関する研修（対象：研修医） 「静脈注射」に関する研修（対象：看護師） - 医薬品安全管理研修「ハイリスク薬について～注射用カリウム製剤を中心に」（対象：全職員） - 新人CRC導入研修（対象：新人CRC）	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
- 手順書の作成 (有・無) - 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： 手順書に基づく業務の実施状況を確認するために、リスクマネージャーを通して各病棟および部門のチェックリストによる定期確認を行っている（3ヶ月毎 6・9・12・3月）	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
- 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) - 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： 【未承認医薬品】 定義：院内で使用したことのない医薬品であって、医薬品の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和35年法律第145号）における承認又は認証を受けていないもの（国内において承認されておらず、かつ国外において医療用として使用されているもの。ただし、当院内において同一の使用目的で使用した経験がある場合、治験目的の場合はこれを除く） 事例：サリドマイド 若年性皮膚筋炎合併の難治性皮下石灰化 【禁忌・適応外使用】 禁忌：40件、適応外：25件 グラニセトロン 術後悪心に対する投与 乾燥人フィブリノゲン 手術時の出血 - その他の改善のための方策の主な内容： 【未承認医薬品】 院内の体制： 未承認新規医薬品等評価部を設置し、未承認新規医薬品等評価部の審査を基に臨床倫理委員会・未承認新規医薬品評価委員会にて審議・承認し、未承認医薬品等評価部が使用を許可する体制としている。また、使用症例については開始報告、経過観察報告、終了報告を受け、部門にて共有している。 薬剤部の関与： 医薬品安全管理責任者、専任の薬剤師（薬剤部兼務）を未承認新規医薬品等評価部に配置し、医薬品情報管理（DI）室と共有して使用の有用性及び安全性に関する情報収集及び評価を行っている。	

価を行っている。

【禁忌・適応外使用】

院内の体制：

R2年度までは臨床倫理委員会で審議していたが、R3年度から未承認新規医薬品等評価部での審議対象とした。未承認医薬品に順じて審議・使用状況の確認等を実施している。

薬剤部の関与：

R2年度までは、DI室にて①薬剤師が把握した情報等をDI室にて情報を一元管理、②有用性・安全性のエビデンスを調査・評価、③医薬品安全管理責任者と共有の上、④臨床倫理委員会、安全管理対策委員会等へ報告している。また、必要に応じて診療科への指導など安全対策も実施した。

R3年度は上記①②③は継続し、④は未承認新規医薬品等評価部へ報告する体制を構築中である。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 73 回
・ 研修の主な内容： 主要7品目(麻酔器を加わえた8品目)を中心とした研修を主に実施 放射線業務従事者向け放射線安全取扱講習会 医療機器の使用方法に関する事項 医療機器の使用に関して特に法令上順守すべき事項 新規導入装置についての研修	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 (有)・無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： 主要7品目(麻酔器を加わえた8品目)を中心とした点検(メーカー点検含)を主に実施 医療機器年間保守点検実施計画によるメーカー点検簿に基づく定期点検実施 汎用機器である中央管理機器点検計画により定期点検を実施	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有)・無) ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例(あれば)： 無 ・ その他の改善のための方策の主な内容： 病棟で使用しているテレメータ送信機のインシデント事例(移動用モニタとして指定病棟外使用や電池切れによるデータ送信不能等)が発生した。 対策として 1. 患者搬送時使用する専用のモニタ(SpO2モニタ)の配置 2. 送信機の電池残量をセントラルモニタ画面上でも表示するようにバージョンアップを実施 3. 看護部の協力を得てテレメータ送信機適正使用キャンペーンを実施 4. 臨床工学技士による病棟ラウンドの際に電池残量アラーム発報があった場合に声掛けを行い、電池交換を促した 5. 看護部の協力のもとにセントラルモニタとテレメータ送信機の使用方法DVDを作成、使用部署に配布した。 上記をおこなった	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
・ 責任者の資格 (医師) 歯科医師) ・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 別紙②組織図のとおり	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (4名) ・ 無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 薬剤部医薬品情報管理室 (DI) に専任担当者を3名配置し、定期的な情報収集・発信を行っている。 【収集・発信情報の例】 ・ 医薬品等安全性情報、添付文書改訂情報、Up to date (適応症の追加などの月刊情報) — 年35回、全診療科あて通知、院内ポータルに掲示 ・ 医薬品適正使用情報 — 随時、昨年は3回発行 ・ 採用医薬品集 — 4月発行、10月追補版発行、マニュアル等一覧に掲示 ・ 薬事委員会速報 — 年12回、奇数月に速報、偶数月に追補版、院内ポータルに掲示 ・ 禁忌適応外医薬品情報収集報告 (DI室で収集した件数) — 65件 ・ 医薬品安全性情報報告書 (PMDAに報告) — 48件 ・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 未承認新規医薬品等評価部を設置し、未承認新規医薬品等評価部の審査を基に臨床倫理委員会・未承認新規医薬品評価委員会にて審議・承認し、未承認医薬品等評価部が使用を許可する体制としている。また、使用症例については開始報告、経過観察報告、終了報告を受け、部門にて共有している。 ・ 担当者の指名の有無 (有) ・ 無) ・ 担当者の所属・職種： (所属：手術部，職種 医師) (所属：看護部，職種 看護師) (所属：MEセンター，職種 臨床工学技士) (所属：薬剤部，職種 薬剤師) (所属：総務課，職種 事務)	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有) ・ 無)	

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：ガイドラインに則した監査の実施及び監査結果の報告

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

☒ 有・無

・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：
ガイドラインに則った監査の実施及び、委員会を通じた監査結果の報告

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

☒ 有・無

・所属職員：専従（４）名、専任（２）名、兼任（１１）名
うち医師：専従（１）名、専任（０）名、兼任（５）名
うち薬剤師：専従（１）名、専任（０）名、兼任（０）名
うち看護師：専従（１）名、専任（１）名、兼任（１）名
(注) 報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：
医療に係る安全管理対策の推進、医療に係る安全管理についての情報収集、分析、評価等に関する業務を行う。

- ・安全管理対策委員会、リスクマネジャー会議等の運営
- ・インシデント、アクシデント発生時の報告管理、再発防止策の検討
- ・医療安全のための職員教育、研修実施
- ・説明同意による患者・家族と医療従事者間の情報共有
- ・患者からの相談等への対応
- ・外部監査受審
- ・医療の質・安全に資するモニタリング実施

中心静脈穿刺同意書取得率、中心静脈穿刺早期合併症発症率、中心静脈穿刺 X 線確認実施率、中心静脈穿刺超音波使用率、死亡症例数、手術関連死亡症例数、手術患者の血栓予防率、術後肺血栓症発生率、アレルギー情報入力率、入院患者転倒転落発生率、入院患者転倒転落レベル別発生件数、重要フラグ付き画像診断報告書患者対応実施率、病理結果未確認率、手術部位マーキング忘れ

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。
※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（9 件）、及び許可件数（8 件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（☒有・無）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（☒有・無）
- ・ 活動の主な内容：
 1. 申請書類の審査
 2. 申請、審査手続きに関する整備
 3. 承認された高難度新規医療技術の実施状況の確認（モニタリング）
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（☒有・無）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（☒有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（1 件）、及び許可件数（1 件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（☒有・無）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（☒有・無）
- ・ 活動の主な内容：
 1. 申請書類の審査
 2. 申請、審査手続きに関する整備
 3. 承認された未承認新規医薬品等の実施状況の確認（モニタリング）
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（☒有・無）
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（☒有・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 262 件（死産除く）

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 481 件（オカレンス 468 件、3b 事例 13 件） ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容 全死亡患者の診療記録を原則 24 時間以内に医療の質・安全管理部で確認し、病院長に報告を行う。医療事故に該当する可能性のある死亡及び 3 b 事例に関しては院内医療事故会議を開催し、事例の検討を行い、安全管理対策委員会で報告する。
⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況 ・他の特定機能病院等への立入り（有）（病院名：東京医科歯科大学医学部附属病院）・無） ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有）（病院名：千葉大学医学部附属病院）・無） ・技術的助言の実施状況 特になし
⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 ・体制の確保状況 患者相談窓口を設置し、平日時間内の相談に適宜応じている。当事者や部署責任者への連絡を行い、患者説明の調整を行っている。QI ミーティングにて改善に向けた報告を定期的に行っている。
⑫ 職員研修の実施状況 ・研修の実施状況 平成 28 年度に「教職員研修委員会」を設置し、研修年間計画を策定するほか、病院として研修受講歴の一元的な管理に取り組んでいる。 中でも、医療安全講演会(研修会)は年 4 回開催しており、医療安全の基本的な考え方やインシデント事例をふまえた具体的対策・改善等に関して研修を実施している。各講演会では参加者アンケートを実施しており、学習効果の測定も合わせて行っている。 また、多職種による連携と協働を推進するための取組としては、平成 26 年度から TeamSTEPPS 研修を開催しており、毎年新採用職員を中心に、当院で働くすべての教職員が受講できるようにして

いるが、令和2・3年度については、COVID-19の影響により集合研修は中止している。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

公益財団法人日本医療機能評価機構主催研修(11～2月開催)を受講

後藤 隆久(管理者/病院長) 初回 10.5時間

前田 慎(医療安全管理責任者) 初回 10.5時間

佐橋 幸子(医薬品安全管理責任者) 継続5時間

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

2022年1月に日本医療機能評価機構の病院機能評価一般病院3受審予定

(2017年3月に病院機能評価一般病院2認定)

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

当院ホームページで公表しています。

・評価を踏まえ講じた措置

医師を安全管理指導者及び看護師・薬剤部を専従の安全管理者とし、病棟ラウンドやカンファレンスを実施するなどし、また各部署のリスクマネージャーを中心として部署単位での医療安全活動を行うなど、医療安全に向けた取り組みを引き続き積極的に継続して行っています。

(注) 記載時点の状況を記載すること

令和2年度安全管理研修の開催状況
附属病院

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
新入職研修	4/1～ (e-L)	医師 研修医 薬剤師 その他医療 職員	246人	2.0時間	①知っておきたい医療安全の知識 ②感染対策について ③医療機器総論 ④医薬品の安全管理 ⑤放射線診療における医療安全 ⑥手術における医療安全 ⑦コンプライアンス・個人情報保護について ⑧臨床倫理について ⑨診療記録の記載について ⑩特定機能病院と地域連携について ⑪保健医療機関の義務について ⑫患者対応・接遇・患者の権利について ⑬附属病院の組織・労務管理・ハラスメントについて ⑭臨床研究について ⑮研修医の指導について
		多職種	60人		
復職者（看護師）	4/1～ (e-L)	復職者	23人	1.0時間	①知っておきたい医療安全の知識 ②感染対策について ③医療機器総論 ④医薬品の安全管理 ⑤放射線診療における医療安全 ⑥手術における医療安全 ⑦コンプライアンス・個人情報保護について ⑧臨床倫理について ⑨診療記録の記載について ⑩附属病院の組織・労務管理・ハラスメントについて
第1回 医療安全講演会	4/2～ (e-L)	新採用・転 入者	855人	1.0時間	附属病院の医療安全の歩み
第2回 医療安全講演会	4/27～ (e-L)	全職員必須	2109人	1.0時間	・新型コロナウイルス感染症に携わる全職員のためのメン タルサポート ・医療安全マニュアル改正のポイント
第3回 医療安全講演会	9/8～ (e-L)	全職員	3348人	1.0時間	・医療放射線安全研修 診療用放射線の安全利用のための 研修 ・医薬品安全管理研修 ハイリスク薬について～注射用カ リウム製剤を中心に
第4回 医療安全講演会	2/15～ (e-L)	全職員	529人	1.0時間	・医療における安全文化に関する調査結果 ・院内AEDの機種変更と操作説明 ・組織横断的医療チームの活動報告（R2年立上げ）
中心静脈カテーテ ル講習会	6/8	医師・ 研修医	18人	1.5時間	講義、シミュレーターを使用した実技演習
	6/8		11人	1.5時間	
新人CRC導入研修	4/17	CRC	1人	1.0時間	治験薬の交付と整理～当院における治験薬担当者の業務～
血管確保研修	9/28	看護師	75人	.4時間	薬剤の基礎知識と管理
	9/30				
人工心肺及び 補助循環装置 定期研修第1回	6/1-7/31 (e-L)	医師 看護師 臨床工学 技士	206人	e-ラーニン グ	補助循環装置 SP-200でのVV ECMO
	-			資料配布	

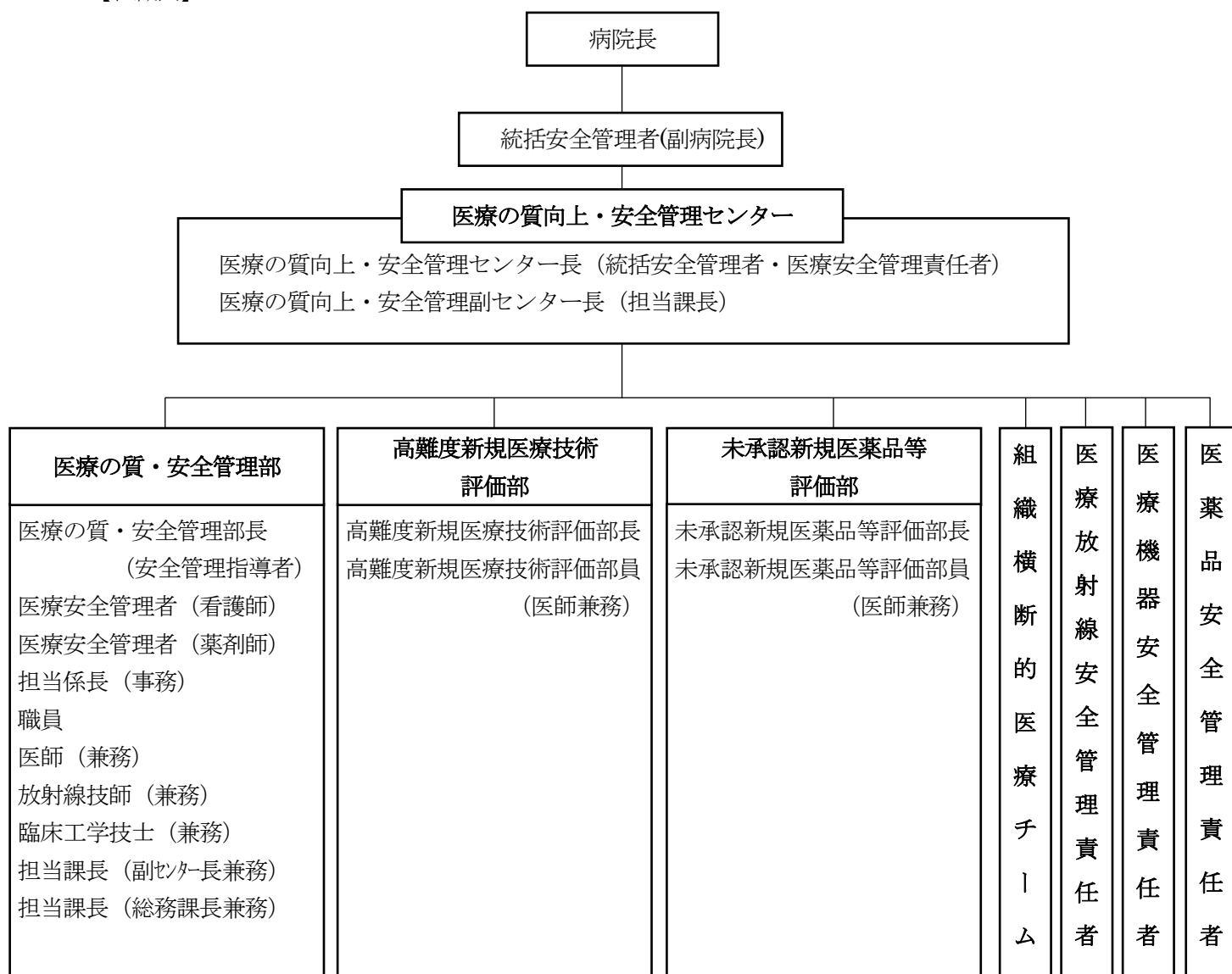
研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
人工心肺及び補助循環装置 定期研修第2回	1/1-3/31 (e-L)	医師 看護師 臨床工学技士	191人	e-ラーニング	補助循環装置 CARDIO SAVEについて
人工呼吸器 定期研修第1回	7/1-3/31 (e-L)	医師 看護師 臨床工学技士	487人	e-ラーニング	SERVO-i、SERVO-U基本操作
	-			資料配布	
人工呼吸器 定期研修第2回	1/1-3/31 (e-L)	医師 看護師 臨床工学技士	469人	e-ラーニング	SERVO-i、SERVO-Uグラフィックモニタの見方
人工呼吸器(小児・新生児) 定期研修第1回	7/1-9/30 (e-L)	医師 看護師 臨床工学技士	50人	e-ラーニング	小児用人工呼吸器VN-500について
人工呼吸器(小児・新生児) 定期研修第2回	1/1-2/28 (e-L)	医師 看護師 臨床工学技士	48人	e-ラーニング	小児用人工呼吸器SERVO-i、SERVO-Uについて
血液浄化装置 定期研修第1回	6/1-7/31 1/27-2/28 (e-L)	医師 看護師 臨床工学技士	212人	e-ラーニング	血液透析療法(HD)と透析装置について
	-			資料配布	
血液浄化装置 定期研修第2回	11/1-1/31 (e-L)	医師 看護師 臨床工学技士	201人	e-ラーニング	持続的血液濾過透析(CHDF)とJUN-55Xについて
	-			資料配布	
	2/2-2/4			実機研修	
除細動装置 定期研修第1回	6/1-7/31 (e-L)	医師 看護師 臨床工学技士	304人	e-ラーニング	除細動機能と除細動装置使用方法
	-			資料配布	
除細動装置 定期研修第2回	11/1-3/31 (e-L)	医師 看護師 臨床工学技士	279人	SafetyPlus	ペーシング機能と除細動装置使用方法
閉鎖式保育器 定期研修第1回	6/1-7/31 (e-L)	医師 看護師 臨床工学技士	74人	e-ラーニング	Incu iについて
閉鎖式保育器 定期研修第2回	12/1-1/31 (e-L)	医師 看護師 臨床工学技士	71人	e-ラーニング	V-2100G, Incu iについて
麻酔器 定期研修第1回	7/1~9/30 (e-L)	医師 看護師 臨床工学技士	66人	e-ラーニング	ドレーゲル社製麻酔器について
	-			資料配布	
麻酔器 定期研修第2回	1/1~3/31 (e-L)	医師 看護師 臨床工学技士	65人	e-ラーニング	Aisysについて

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
新採用職員研修 補助循環装置	11/6	看護師	7人	1時間	補助循環装置 ECMO・IABP・補助人工心臓について
	11/9				
新採用職員研修 血液浄化装置	6/1	看護師	8人	1時間	血液浄化装置 DBG-03取り扱い
	6/4				
新採用職員研修 血液浄化装置	6/9	看護師	8人	1時間	多用途血液処理用装置 JUN-55X取り扱い
	6/12				
新採用職員研修 手術室勉強会	5/25	看護師	5人	1時間	手術室設備、使用機器等について
新規導入機器研修 人工呼吸器	7/21	医師 看護師 臨床工学技士	49人	30分	新規導入機器 人工呼吸器VN500取り扱い
	7/27				
	7/30				
	8/20				
	資料配付				
新規導入機器研修 人工呼吸器	1/18～3/22	医師 看護師 臨床工学技士	168人	30分	新規導入機器 人工呼吸器Servo Air取り扱い
新規導入機器研修 高流量酸素療法器具	8/27～9/30	医師 看護師 臨床工学技士	81人	30分	新規導入機器 高流量酸素療法器具comfort Air取り扱い
新規導入機器研修 除細動器	6/1～7/31	医師 看護師 臨床工学技士	206人	e-ラーニング	新規導入機器 除細動器TEC-5631取り扱い
放射線部新採用職員 医療安全研修	4/3	放射線技師	2人	3.0時間	患者確認方法、インシデント、ドクターコール、感染、職場改善情報等の運用されている取り組み
	4/6				
放射線業務従事者 向けの放射線安全 取り扱い講習会	6/15	放射線技師	7人	1.0時間	放射線の取り扱いについて
	6/16				
危険予知トレーニング	7/10	放射線技師	2人	1.0時間	一般撮影時の危険予知トレーニング
危険予知トレーニング	12/4	放射線技師	2人	1.0時間	安全確認ポイントの確認。新採用職員のヒヤリハット事例紹介
新人研修ステップ 1	4/3	新人看護師	71	1.0時間	病院・看護部概要、看護部方針・体制、社会人への目見、新人教育体制、医療安全・感染体制、病棟配属への心理的準備
新人研修ステップ I	4/6	新人看護師	71	1.0時間	看護部の体制、教育方針、接遇、病院・看護部概要・看護部教育方針・体制・教育
	4/7		68	1.0時間	看護部管理職紹介、部署師長／部署紹介、所属配置、PNS看護体験
	4/8		67	1.0時間	PNS看護体験共有、夜勤従事者としての心構え、チーム医療、院内の仕組み
	4/9		67	1.0時間	演習：薬剤調剤・清潔操作、輸液管理、針刺し・標準予防策の基本技術
新人研修ステップ 2 パート①	4/16	新人看護師	67	1.0時間	ステップⅡ－①（酸素療法・吸引）
				3.0時間	ステップⅡ－①（内服管理）
				3.0時間	ステップⅡ－①（輸液管理）
	4/17			4.0時間	ステップⅡ－①（感染管理）
新人研修ステップ 2 パート② 静脈血採血	5/15	新人看護師	67	1日	静脈血採血に必要な基本的知識と技術 ステップⅡ－②看護技術（静脈採血）

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
新人研修ステップ3 看護記録	5/15	新人看護師	67	1日	1. 看護記録における倫理的配慮・法的責任 2. 看護記録の意義やルール（講義・演習）
新人研修ステップ4 業務分担・タイムマネジメント	6/26	新人看護師	67	1日	1. 患者を取り巻く多職種と連携 2. 業務遂行上の適切な時間管理（講義とグループワーク）
新人研修ステップ6：フィジカルアセスメント1	7/10	新人看護師	68	1日	フィジカルアセスメントの基礎知識、患者情報の収集、報告・相談を理解する（講義と演習）
新人研修ステップ7 リスクアセスメント	11/25	新人看護師	63	1日	看護場面におけるリスクについて学び、安全な看護を考えることができる。
新人研修ステップ8 看護倫理	12/7	新人看護師	65	1日	専門職として看護実践に必要な倫理的概念を知り、看護倫理についての基礎知識を学ぶ。身近な出来事から起こる倫理的課題を考える機会となる。（講義 グループワーク）
ステップ9 看護と安全1	2～3月 WEB研修	新人看護師	65	1日	看護に必要な医療安全の基礎を学び、実践に活かすインシデント発生時の対応、発生要因がわかる
専門領域 摂食嚥下（食事介助）	5/14	新人 クリニカルラダーⅠ以上	67	1日	1. 栄養に関する基本的知識 2. 摂食嚥下の基本的知識、（講義と演習）
CVC管理研修（復職者対象）	5/25	復職者	8	3.0時間	2020年度 CVC技術承認研修 講義、演習、知識確認テスト、実技テスト
BLS ～ベッドサイドの急変時のケア～	7/13	2年目必須 クリニカルラダーⅠ以上	64	1日	ベッドサイドの急変時対応がイメージでき、根拠に基づいた行動がとれる（講義、演習）
フィジカルアセスメント2	7/13	2年目必須 クリニカルラダーⅠ以上	58	1日	フィジカルアセスメントを理解し、根拠に基づいた情報を看護に繋げる（講義、演習）
急変予兆：フィジカルアセスメント3	7/30	クリニカルラダーⅡ以上	25	0.5日	急変に結びつく危険徴候に気付き、フィジカルエグザミネーションにより身体状態を把握する（講義、演習）
災害拠点病院における災害時の対応	9/25	看護管理者	22	3.0時間	看護管理者が、災害拠点病院役割を理解し、本部役割を理解する
静脈注射（血管確保）	9/28	新人 クリニカルラダーⅠ以上	75	0.5日	1. 静脈注射の関連法規を理解する。2. 静脈注射を実施するためのチーム医療での役割分担と連携がわかる
	9/30			0.5日	
看護倫理Ⅱ	10/12	クリニカルラダーⅡ～Ⅲ	16	0.5日	臨床倫理・看護倫理の基礎知識を学び、倫理的問題のある事例検討を通して、解決の糸口を見つける
高齢者の理解と看護	10/15	クリニカルラダーⅡ以上	14	2.0時間	高齢者の身体的・精神的・社会的特徴、高齢者に特徴的な環境整備や生活支援を検討する。（講義、演習）
スキンケアを見直そう	10/23	クリニカルラダーⅠ以上	57	1日	スキンケアの基本的な必要な基礎知識を理解し、自身の日常のスキンケアを見直し活かすことができる
CVC管理研修	10/29	クリニカルラダーⅠ以上	74	2日	中心静脈栄養カテーテル管理の基本的知識、技術を学ぶ
CVC管理研修（新人・継続承認対象）	11/10	クリニカルラダーⅠ以上	136	1.5時間	2020年度 CVC技術承認研修 中心静脈カテーテル管理の基本的な知識、技術を習得する 講義、演習、知識確認テスト、実技テスト
	11/24			1.5時間	
	12/8			1.5時間	
	12/22			1.5時間	
	1/12			1.5時間	
	1/26			1.5時間	
	2/9			1.5時間	
がん看護新人看護職員研修	1/19	新人	65	1日	当院におけるがん看護に必要な基本知識を習得する 講義、演習
フィジカルアセスメントⅣ 臨床推論	1/25	クリニカルラダーⅢ以上	4	0.5日	臨床推論プロセスを看護の実践で活用できる。 講義、事例検討

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
CVポート管理研修	2/2	クリニカル ラダーⅡ以 上	25	1.0時間	CVポート管理の基本的知識、穿刺・抜針の技術を習得する

【組織図】



規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準

・ 基準の主な内容

公立大学法人横浜市立大学附属病院長候補者選考基準に関する規程により規定している。

(選考基準)

第2条 候補者となることのできる者は、次に掲げる要件を満たす者とする。

- (1) 医師免許を有している者
- (2) 医療安全の確保のために必要な資質及び能力を有している者
- (3) 組織管理能力等の当該病院を管理運営するうえで必要な資質及び能力を有している者
- (4) 横浜市立大学附属病院（以下「当院」という。）の使命を遂行するために必要な資質及び能力を有している者

(医療安全)

第3条 前条第2号に定める医療安全の確保のために必要な資質及び能力とは、医療安全管理業務の経験及び患者の安全を第一に考える姿勢及び指導力等をいう。

2 前項に定める医療安全管理業務とは、次のいずれかの業務をいう。

- (1) 医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の業務
- (2) 医療安全管理委員会の構成員としての業務
- (3) 医療安全管理部門における業務
- (4) その他上記に準ずる業務

(管理運営)

第4条 第2条第3号に定める組織管理能力等の当該病院を管理運営するうえで必要な資質及び能力とは、当院又は当院以外での組織管理経験等、高度な医療を司る特定機能病院を管理運営するうえで必要な資質、能力及び経営改善能力等の資質、能力をいう。

(使命遂行)

第5条 第2条第4号に定める当院の使命を遂行するために必要な資質及び能力とは、当院の理念及び基本方針に掲げる事項を継続的かつ確実に推進する姿勢及び指導力等をいう。

- ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 公表の方法
大学ホームページにて公開

規則第 7 条の 3 第 1 項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				有 ☒ 無
・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有 ・ 無 ） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有 ・ 無 ） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有 ・ 無 ） ・ 公表の方法				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
				有 ・ 無
				有 ・ 無
				有 ・ 無
				有 ・ 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無		☒ 有 ☐ 無	
・ 合議体の主要な審議内容 病院運営の重要事項に関すること、病院の中期計画、年度計画に関すること、病院の予算・決算に関すること、その他病院長が必要と認めた事項。 ・ 審議の概要の従業者への周知状況 学内（院内）グループウェアへ会議資料（議事録含む）を掲載、各診療科・部門の長へメールで同資料を送付。 ・ 合議体に係る内部規程の公表の有無（ ☒ 有 ☐ 無 ） ・ 公表の方法 ・ 外部有識者からの意見聴取の有無（ ☒ 有 ☐ 無 ）			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
後藤 隆久	○	医師	病院長
田村 功一		医師	副病院長/腎臓・高血 圧内科部長
山本 哲哉		医師	副病院長/脳神経外科 部長
前田 慎		医師	副病院長/消化器内科 部長
濱崎 登代子		看護師	副病院長/看護部長
佐橋 幸子		薬剤師	薬剤部長
林 健一		事務	医学・病院統括部長

規則第 15 条の 4 第 1 項第 1 号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・**無**）
- ・ 公表の方法

- ・ 規程の主な内容

- ①公立大学法人横浜市立大学教員管理職規程
- ②横浜市立大学附属病院規程

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

- ①副院長 役割：病院長を補佐する役割
- ②病院長補佐 役割：特定の業務に関して病院長を補佐する役割
※現在の病院長補佐は 2 名任命している。
1 名は、医療安全に関する業務を補佐する役割を担い、
もう 1 名は検査体制（臨床検査・病理・輸血）を統括する役割として病院長を補佐している。

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

平成 30 年度から本学で「病院経営の変革に取り組む人材を育成するプログラム」を開始し、令和 2 年度も当院から将来の病院幹部候補者として 6 名が参加している。令和 3 年度は 8 名が履修した。

また、一般社団法人日本病院経営支援機構が主催する病院経営者（事務長）育成塾に令和 2 年度から事務職の副課長級が参加している。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況					(有)・無
・ 監査委員会の開催状況：年 2 回 ・ 活動の主な内容： 前回指摘事項に対する対応状況について 医療に係る安全管理の業務状況について 医療を受ける立場の方からの視点に基づく監査について 医療安全管理部門の体制比較について 公表を行った医療事故の経過について ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（(有)・無） ・ 委員名簿の公表の有無（(有)・無） ・ 委員の選定理由の公表の有無（(有)・無） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（(有)・無） ・ 公表の方法： 病院のホームページ上で公開					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
相馬 孝博	千葉大学医学部 附属病院 医療 安全管理部	○	医療に係る安全管理 に識見を有する者	有・(無)	1
水地 啓子	森法律事務所		医療に係る法律に識 見を有する者	有・(無)	1
足立 雅子	病院ボランティア ランパスの会		医療を受ける立場の 者	有・(無)	2
益田 宗孝	本学医学部長		その他の学識経験を 有する者(内部委員)	(有)・無	1
田中 靖	法人事務局副局 長		その他の医療従事者 以外の者(内部委員)	(有)・無	2

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

- ・ 専門部署の設置の有無 (☒ 有 ☐ 無)
- ・ 内部規程の整備の有無 (☒ 有 ☐ 無)
- ・ 内部規程の公表の有無 (☐ 有 ☒ 無)
- ・ 公表の方法

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 法人の理事長、副理事長および理事により構成される経営審議会を設置しており、法人の経営に関する重要事項を審議している。月 1 回の開催を原則としており、病院長も理事として参画している。 ・ 会議体の実施状況（ 年11回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ ☒ 有・無 ）（ 年11回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有 ☒ 無 ） ・ 公表の方法			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（☒有・無） ・ 通報件数（年 0 件） ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（☒有・無） ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（☒有・無） ・ 周知の方法
「医療安全マニュアル」「医療安全マニュアルポケット版」に掲載

(様式第 8-3)

附総 第 7943 号
令和 3 年 10 月 4 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 公立大学法人 横浜市立大学
理事長 小山内 いづ美

公立大学法人横浜市立大学附属病院の第三者による評価を受審する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1 受審予定である第三者評価

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">① 公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価のうち、一般病院 3 による評価2 Joint Commission Internationalが実施する、J C I 認証による評価3 ISO 規格に基づく、ISO 9001 認証による評価 |
|---|

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○を付けること。

2 第三者評価を受けるための予定措置

令和4年1月に訪問受審を受ける予定です。機構に申込み済みで、現在院内で受審準備中です。
